

ハイブリッドルーフ HA型 IIXIL 基本・Y合掌・ベースプレート

E445

取付説明書

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- ・施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
- ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

補足

- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

< 施工の前に >

⚠ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・日よけ・雨よけ以外の目的に本製品を使用しないでください。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・設置場所の確認をしてください。
 - ※ 施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
 - ※ 建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
 - ※ 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取付けてください。



お願い

- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- ・AC100V電線の埋設工事、配線作業については電気工事店の有資格者に依頼してください。

< 基礎工事について >

⚠ 注意

- ・基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根部に水抜き穴をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

< 施工上のご注意 >

⚠ 注意

- ・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- ・シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
- ・製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締め付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント 72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール 380
ダウ・東レ(株)	SE960

※φ4ネジ : 2.5N・m±0.5N・m
※M6ボルト : 12.0N・m±0.5N・m

※φ5ネジ : 3.0N・m±0.5N・m
※M8ボルト : 20.0N・m±0.5N・m

お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- ・取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ・腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- ・シーリングの完了した箇所にはチェック欄にチェックを入れて、シーリング漏れがないようにしてください。シーリングが不十分の場合、雨漏れの原因となります。

< 施工の後に >

⚠ 注意

- ・ボルト、ネジを増し締めしてください。ただし緩み止め付きボルトは、硬化前に増し締めしてください。

INDEX

■ 表示マーク	3	■ 8 縦樋の取付け	34
■ 施工の流れ	3	■ 9 後桁枠の取付け	37
■ 梱包明細表	4	■ 10 垂木小口カバーの取付け	42
■ 各部の名称	11	■ 11 キャップの取付け・シーリング	43
■ 基本の施工	12	■ Y合掌の施工	44
■ 姿図	12	■ 姿図	44
■ 1 基礎の墨出し	14	■ 1 基礎の施工	44
■ 2 柱の建て込み	16	■ 2 柱・梁の組立て	45
■ 3 柱、梁の組立て	17	■ 3 Y合掌棟木の取付け	46
■ 4 後桁の取付け	19	■ 4 Y合掌柱廻りカバーの取付け	48
■ 5 前桁の取付け	21	■ 5 シーリング	48
■ 6 対角寸法の確認	22		
■ 7 屋根まわりの取付け	23		

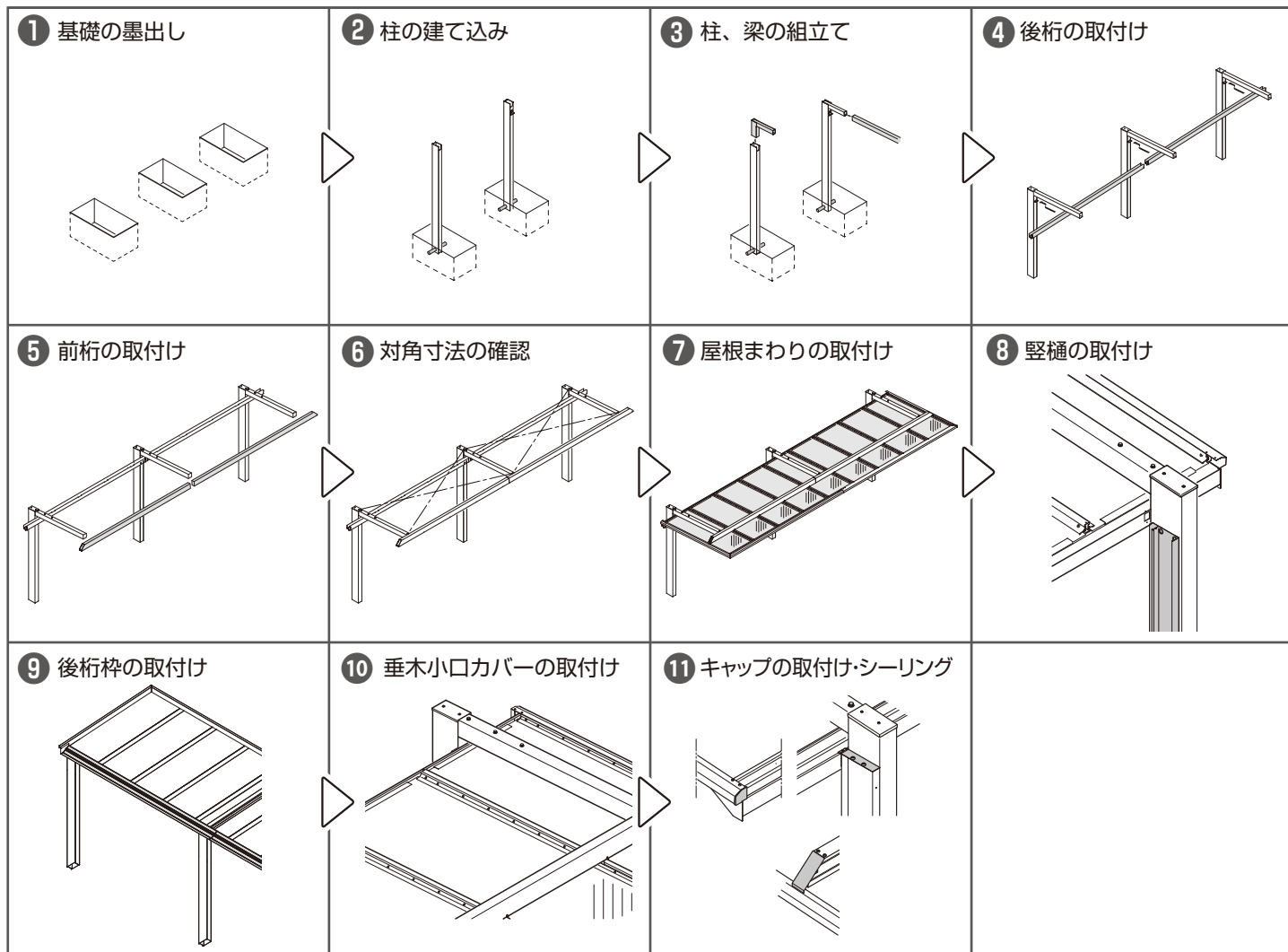
表示マーク



お願い












シーリングが完了した箇所は、□にチェックを入れてシーリング漏れがないようにしてください。雨漏れの原因になります。

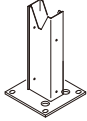
施工の流れ

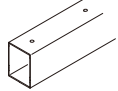


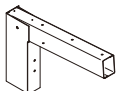
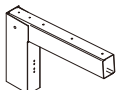
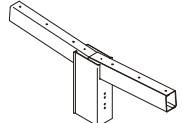
梱包明細表

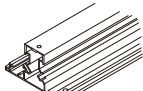
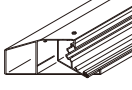
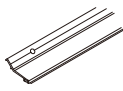
※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

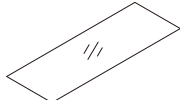
【1】 柱		員数				
名称	略図	埋込み柱			ベースプレート柱	
		600・700用	1500用	Y合掌用	600・700用	1500用
柱		1	1	1	1	1
柱カバー内側上		1	1	2	1	1
柱カバー内側		1	1	2	1	1
柱カバー外側		1	1	—	1	1
柱キャップ		1	1	1	1	1
クッション材		2	2	2	2	2
600・700用 後桁ブラケット		2	—	—	2	—
1500・背面合掌用 後桁ブラケット		—	2	4	—	2
【1-1】φ5×14 トラスタッピンネジ 3種(樹脂座金付)		2	2	2	2	2
【1-2】M8×20 六角ボルトPW (緩み止め付)		4	—	—	8	—
【1-3】M8×25 六角ボルトPW (緩み止め付)		—	6	12	—	10

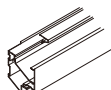
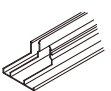
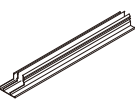
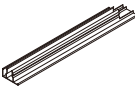
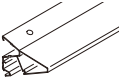
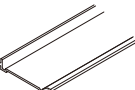
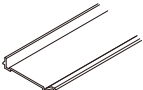
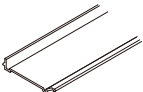
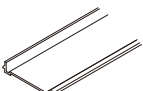
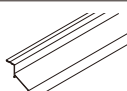
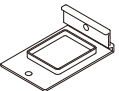
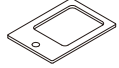

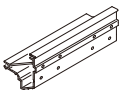
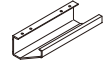
【2】 ベースプレート		員数
名称	略図	
ベースプレート		1

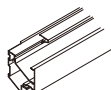
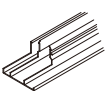
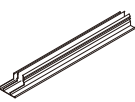
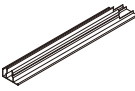
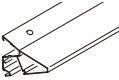
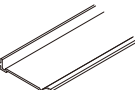
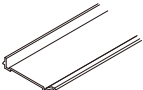
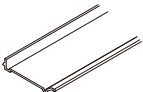
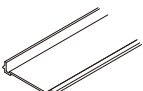
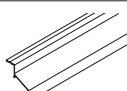
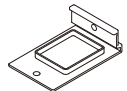
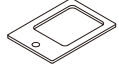

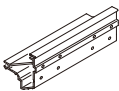
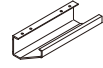
【3】 梁		員数
名称	略図	
梁		1

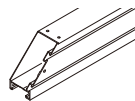
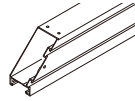
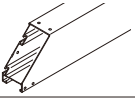
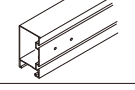
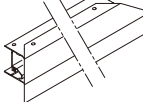
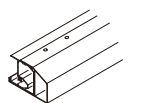
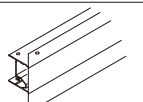
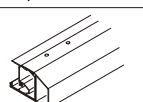
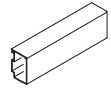
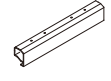
【4】 柱・梁ブラケット		員数
名称	略図	
600・700用 柱・梁ブラケット		1
1500用 柱・梁ブラケット		1
Y合掌用 柱・梁ブラケット		1




【5】 垂木セット		員数			
名称	略図	600・1500用		700用	
		基本	連棟	基本	連棟
垂木		4	4	3	3
端部垂木		左右各1	—	左右各1	—
垂木カバー		10	8	8	6


【6】 屋根材		員数	
名称	略図	1枚入り	2枚入り
屋根材		1	2


【7】後桁セット		員数							
名称	略図	600・1500用							
		照明無用				照明付用			
		単独用	中間用	右端用	左端用	単独用	中間用	右端用	左端用
後桁		1	1	1	1	1	1	1	1
後桁カバー		1	1	1	1	1	1	1	1
後桁カバー右端部		1	—	1	—	1	—	1	—
後桁カバー左端部		1	—	—	1	1	—	—	1
後桁枠		1	1	1	1	1	1	1	1
後桁枠カバー (照明無)		1	1	1	1	—	—	—	—
後桁カバー (照明付A) L=1414.5		—	—	—	—	2	—	1	1
後桁カバー (照明付B) L=1039.5		—	—	—	—	—	2	1	1
後桁カバー (照明付C) L=664.5		—	—	—	—	—	—	—	—
垂木小口カバー		1	1	1	1	1	1	1	1
孔ふさぎ		1	—	1	—	1	—	1	—
止水パッキン		1	—	1	—	1	—	1	—
【7-1】φ4×10 サラタッピン ネジ3種		2	—	2	—	2	—	2	—
後桁スリーブ		—	1	1	—	—	1	1	—
樋スリーブ		—	1	1	—	—	1	1	—

【7】後桁セット		員数							
名称	略図	700用							
		照明無用				照明付用			
		単独用	中間用	右端用	左端用	単独用	中間用	右端用	左端用
後桁		1	1	1	1	1	1	1	1
後桁カバー		1	1	1	1	1	1	1	1
後桁カバー右端部		1	—	1	—	1	—	1	—
後桁カバー左端部		1	—	—	1	1	—	—	1
後桁枠		1	1	1	1	1	1	1	1
後桁枠カバー (照明無)		1	1	1	1	—	—	—	—
後桁カバー (照明付A) L=1414.5		—	—	—	—	—	—	—	—
後桁カバー (照明付B) L=1039.5		—	—	—	—	2	—	1	1
後桁カバー (照明付C) L=664.5		—	—	—	—	—	2	1	1
垂木小口カバー		1	1	1	1	1	1	1	1
孔ふさぎ		1	—	1	—	1	—	1	—
止水パッキン		1	—	1	—	1	—	1	—
【7-1】φ4×10 サラタッピン ネジ3種		2	—	2	—	2	—	2	—
後桁スリーブ		—	1	1	—	—	1	1	—
樋スリーブ		—	1	1	—	—	1	1	—

【8】前桁前枠セット		員数			
名称	略図	単独用	右端用	左端用	中間用
前桁単独		1	—	—	—
前桁右端部		—	1	—	—
前桁左端部		—	—	1	—
前桁連棟		—	—	—	1
前枠単独		1	—	—	—
前枠右端部		—	1	—	—
前枠左端部		—	—	1	—
前枠連棟		—	—	—	1
前桁スリーブ		—	1	—	1
前枠スリーブ		—	1	—	1

【9】 縦樋セット		員数
名称	略図	
縦樋		1
縦樋カバー		1
配線カバー		1


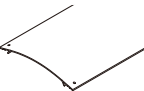





【10】 雨樋部品セット		員数	
名称	略図	600・700用	1500・Y合掌用
雨樋アタッチメント		1	1
止水パッキン		1	1
エルボ		1	1
600・700用 縦樋受けキャップ		1	—
1500・Y合掌用 縦樋受けキャップ		—	1
縦樋上キャップ		1	1

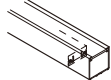
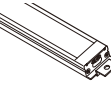

【10】 雨樋部品セット(つづき)		員数	
名称	略図	600・700用	1500・Y合掌用
プッシュボタン		3	3
接着剤		1	1
【10-1】φ4×10 トラスタッピンネジ 3種		2	2
【10-2】φ4×10WH タッピンネジ 2種(樹脂座金付)		14	14
【10-3】φ4×30 ナベタッピンネジ 2種		3	—
【10-4】φ4×70 ナベタッピンネジ 1種		—	3

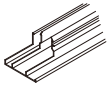
【11】屋根組立て部品セット		員数					
名称	略図	600用		700用		1500用	
		基本	連棟	基本	連棟	基本	連棟
後桁裏板		2	1	2	1	2	1
600・700用 前桁金具		2	1	2	1	—	—
1500用 前桁金具		—	—	—	—	2	1
後桁キャップ右		1	—	1	—	1	—
後桁キャップ左		1	—	1	—	1	—
前桁キャップ右		1	—	1	—	1	—
前桁キャップ左		1	—	1	—	1	—
端部垂木キャップ右		1	—	1	—	1	—
端部垂木キャップ左		1	—	1	—	1	—
コーナーキャップ		2	—	2	—	2	—
端部吊金具		2	—	2	—	2	—
中間吊金具		4	4	3	3	4	4
端部垂木 スペーサー		2	—	2	—	2	—
取付説明書		1	—	1	—	1	—

【11】屋根組立て部品セット(つづき)		員数					
名称	略図	600用		700用		1500用	
		基本	連棟	基本	連棟	基本	連棟
雪下ろしシール		2	—	2	—	2	—
アンカー棒		2	1	2	1	2	1
【11-1】M8×20 六角ボルト (緩み止め付)		4	2	4	2	8	4
【11-2】M8×20 六角ボルトPW (緩み止め付)		18	9	18	9	6	3
【11-3】M8×25 六角ボルトPW (緩み止め付)		—	—	—	—	12	6
【11-4】M8ナット		4	2	4	2	8	4
【11-5】M8平座金		4	2	4	2	8	4
【11-6】φ4×12 トラスタッピンネジ 3種		12	—	12	—	12	—
【11-7】φ4×13 ナベドリルネジ		4	4	4	4	4	4
【11-8】φ5×10 トラスタッピンネジ 3種		130	106	106	82	130	106
【11-9】φ5×12 トラスタッピンネジ 3種		20	4	19	3	20	4
【11-10】φ5×13 ナベドリルネジ		30	53	24	47	30	53

※シーリング材／コーキング材は付属していません。P.2の表の物を別途ご用意ください。

【12】 Y合掌棟木		員数	
名称	略図	基本	連棟
Y合掌棟木A		2	2
Y合掌棟木B		1	1
Y合掌棟木 端部カバー		2	—
Y合掌柱廻りカバー		4	2
【12-1】φ4×13 ナベドリルネジ		36	20
【12-2】φ4×10 トラスタッピンネジ 2種		4	—
【12-3】φ5×16 ナベドリルネジ		8	4

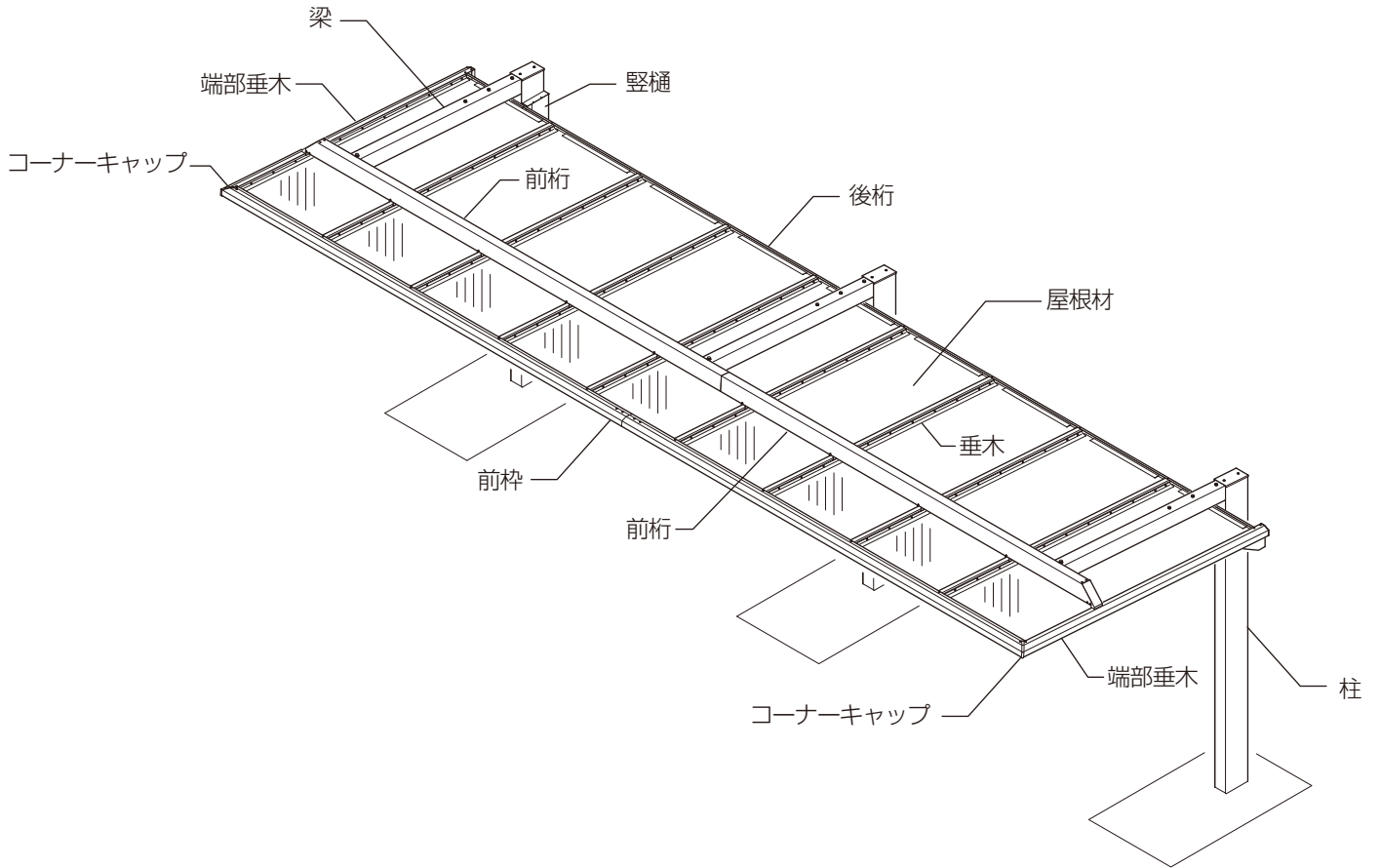
【13】 照明		員数	
名称	略図	直接照明	間接照明
直接照明		1	—
間接照明		—	1
【13-1】φ4×13 ナベドリルネジ		2	2

【14】 柱移動用後桁カバー		員数
名称	略図	1枚入り
柱移動用 後桁カバー		1

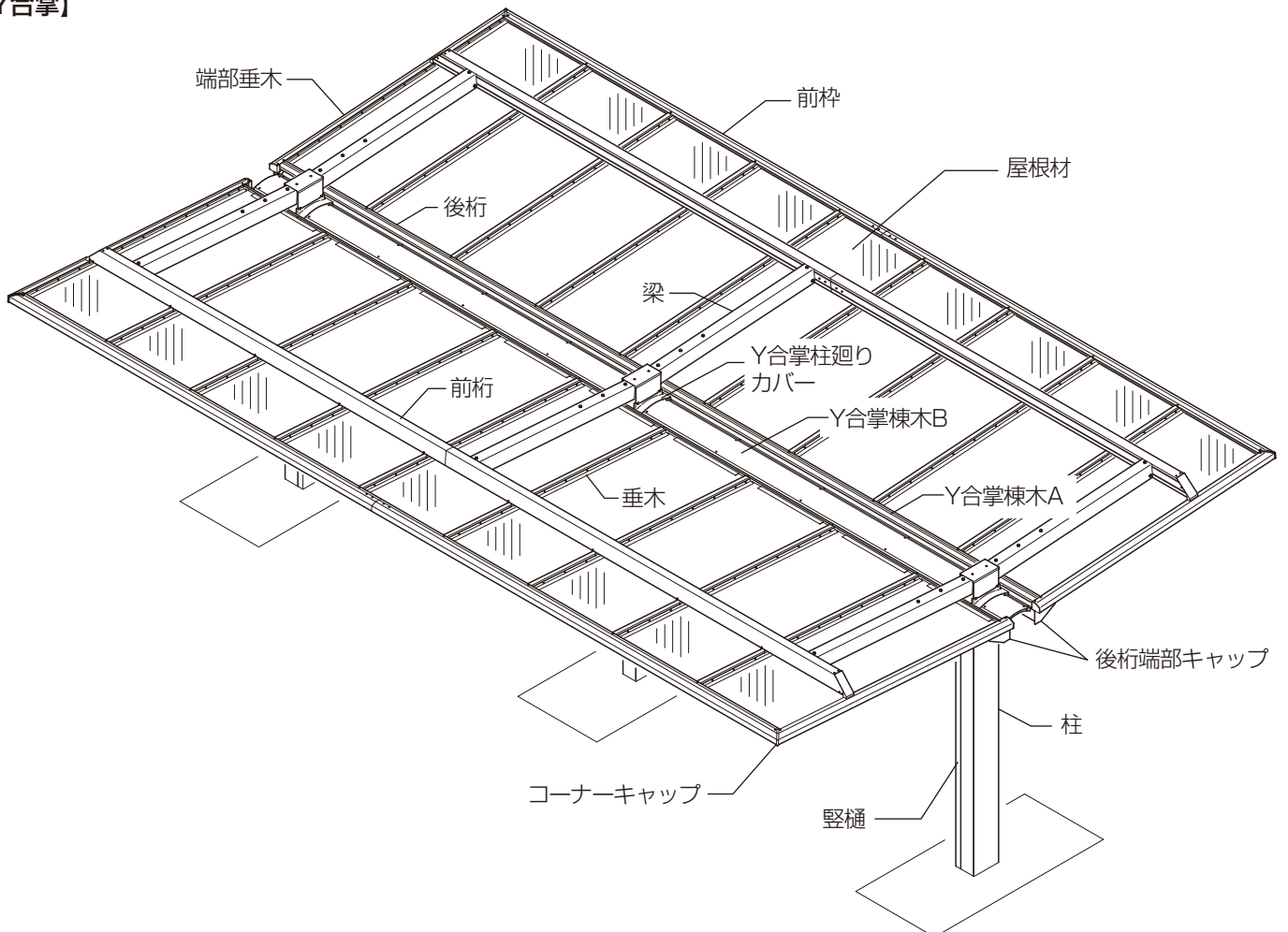
【15】 柱移動用雨樋部品		員数
名称	略図	
孔ふさぎ		1
止水パッキン		1
雨樋アタッチメント 取付金具		1
【15-1】φ4×10 サラタッピンネジ 3種		2
【15-2】M6×12 ナベ小ネジ		2

各部の名称

【基本】



【Y合掌】



姿図

⚠ 注意



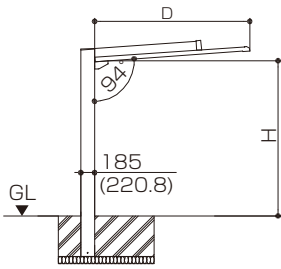
柱移動
柱移動の場合の
作業です。

【柱移動】をする場合

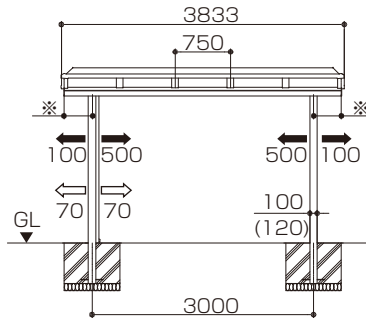
- ・柱芯々寸法+200mm、-1000mm以内で柱移動してください。
- ・堅樋設置の左端部柱は、柱外側70mm、柱内側70mmの範囲は移動できません。
- ・堅樋設置の中間柱は、柱外側70mm、柱内側240mmの範囲は移動できません。
- ・屋根端部(※)寸法は、-100mm、+500mm以内で柱移動してください。
- ・柱芯々寸法が600・1500用:3200mm、700用:2450mmを超えないようにしてください。
- ・Y合掌の場合は柱移動できません。

□ 600・1500用

【側面図】



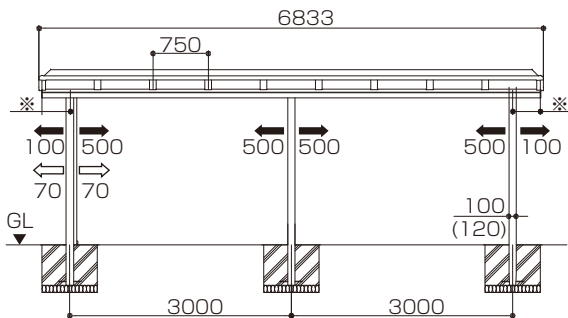
【単体38型正面図】



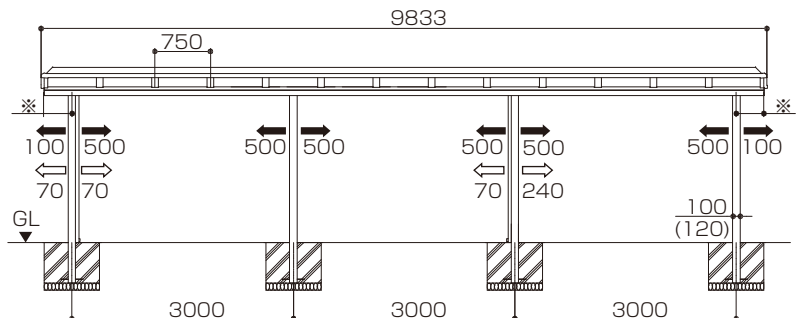
補足

- ← 印は【柱移動範囲】を示します。
- ↔ 印は柱移動できない範囲を示します。
- () 寸法は、1500用です。

【単体68型正面図】

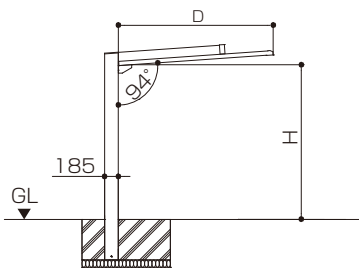


【連棟68+30×1型 正面図】

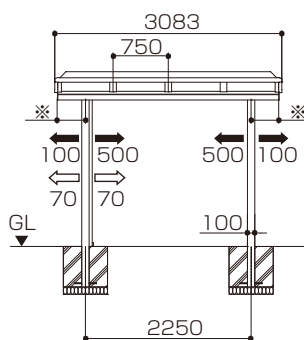


□ 700用

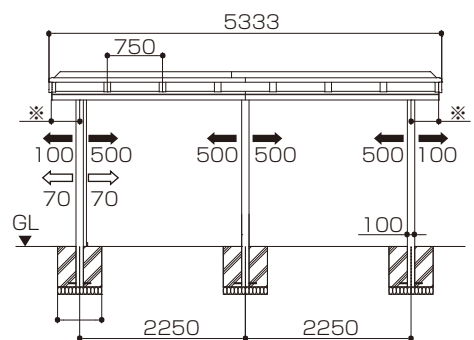
【側面図】



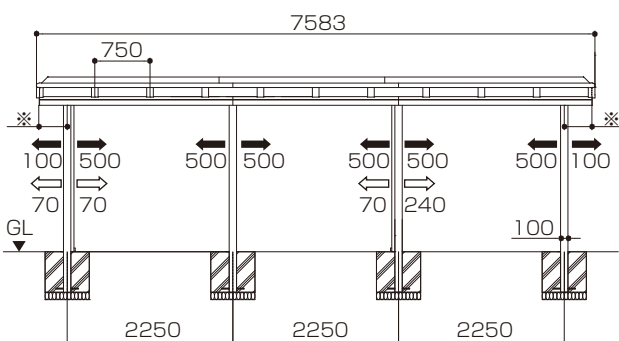
【単体31型正面図】



【単体53型正面図】

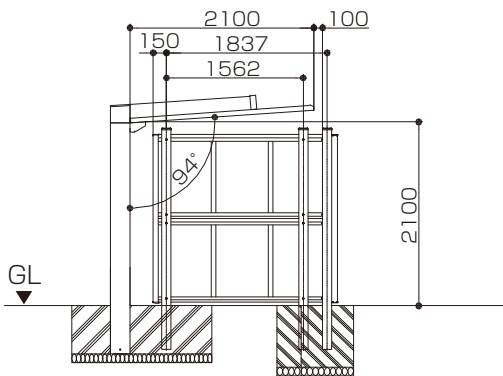


【連棟53+22×1型 正面図】

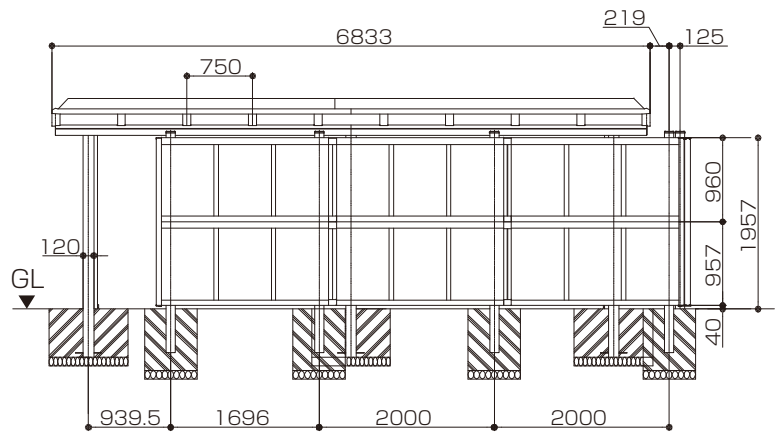


□ オブリークフェンスRE型付き

【側面図】



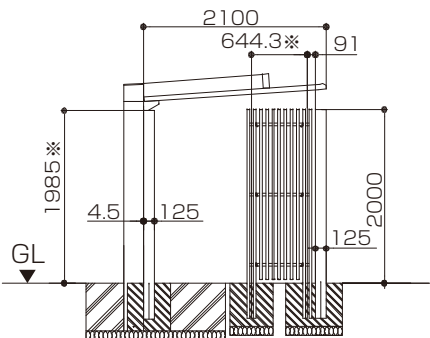
【単体68型正面図】



※オブリークフェンスの柱割り付け寸法は参考寸法です。

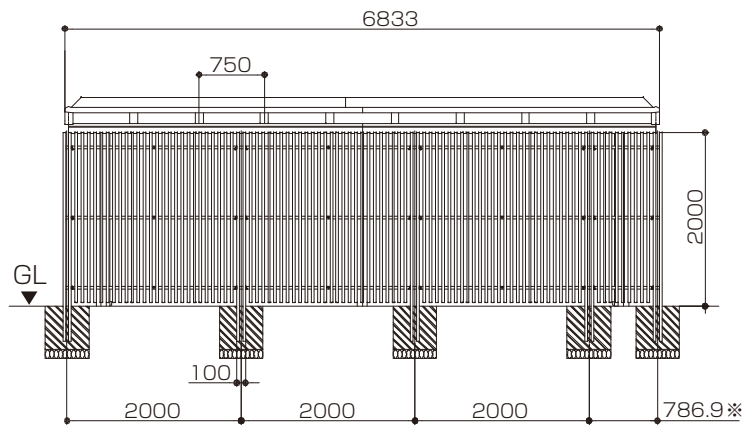
□ アーキラインスクリーンフェンス付き

【側面図】



※スクリーンフェンスの柱ピッチ寸法は切り詰めを行った寸法です。

【単体68型正面図】

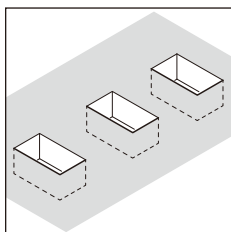


※スクリーンフェンスの柱ピッチ寸法は切り詰めを行った寸法です。

お願い

- ・後桁との干渉を避けるため、屋根下背面側にアーキラインスクリーンフェンスを施工する場合は、柱埋め込み深さを15mm調整する必要があります。

1 基礎の墨出し



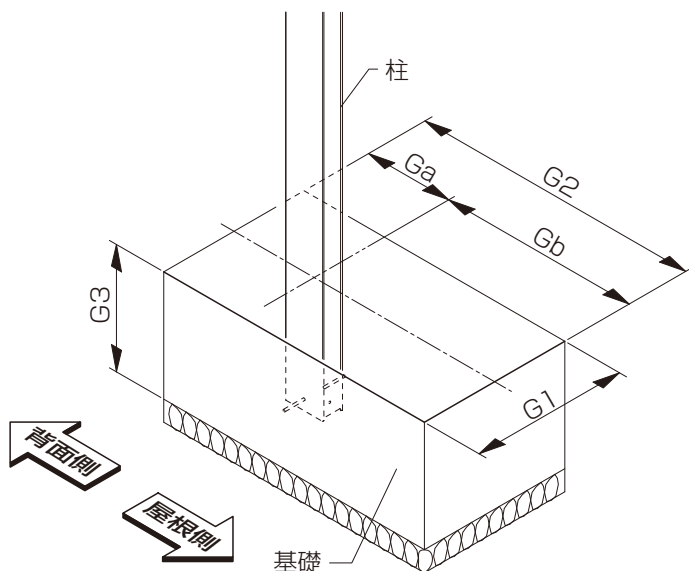
①柱の埋込み位置を出して、基礎寸法表の寸法で基礎を掘ってください。

※屋根を切り詰めた場合は、柱ピッチが変わります。

オプリークフェンス、およびアーキ
ラインスクリーンフェンスの取付け
については、各商品の取付説明書を
参照してください。

補 足

基礎は基準風速34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度50kN/m²の時の参考寸法です。



【単体68型】

基礎寸法表

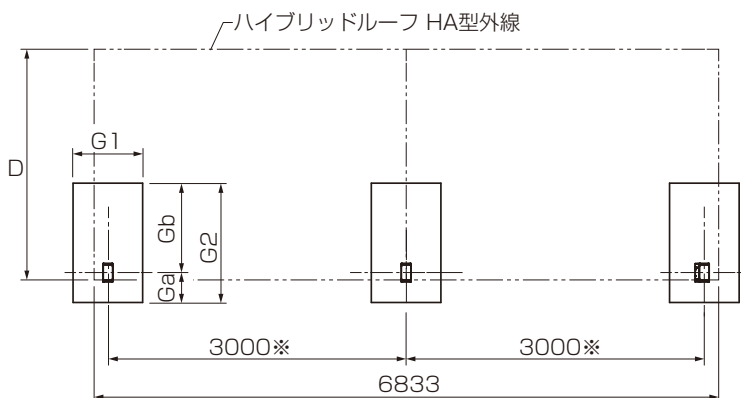
600用	H	D	G1	G2	G3	Ga	Gb
オプション無し	2100	2100	700	1300	550	400	900
	2300	750	1300	550	400	900	
サイドパネル付き	2100	2100	700	1400	550	450	950
	2300	750	1400	550	450	950	
サイドパネル付き	2100	2100	700	1400	550	450	950
	2300	800	1400	550	450	950	
サイドパネル付き	2100	2100	700	1500	550	500	1000
	2300	800	1500	550	500	1000	

700用	H	D	G1	G2	G3	Ga	Gb
オプション無し	2100	2100	600	1200	550	400	800
	2300	600	1200	550	400	800	
サイドパネル付	2100	2100	650	1200	550	400	800
	2300	650	1200	550	400	800	
サイドパネル付	2100	2100	650	1300	550	400	900
	2300	650	1300	550	400	900	
サイドパネル付	2100	2100	650	1300	550	400	900
	2300	650	1300	550	400	900	

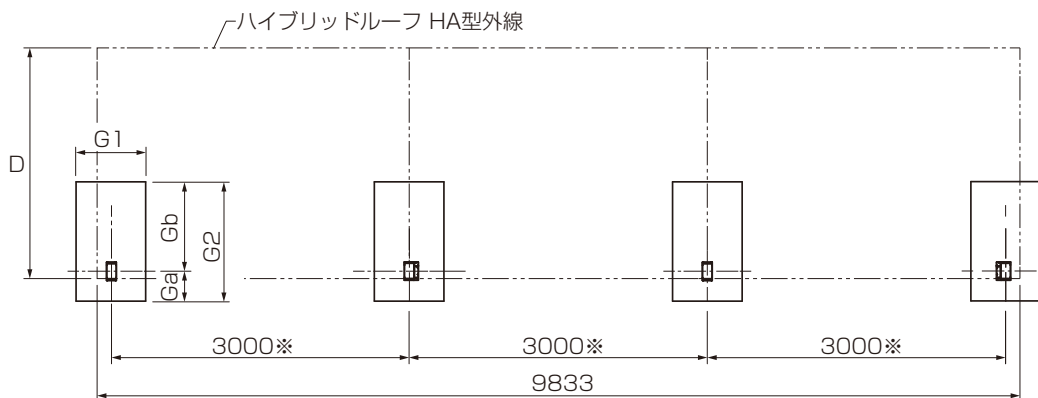
1500用	H	D	G1	G2	G3	Ga	Gb
オプション無し	2100	2100	750	1500	550	450	1050
	2620	2100	850	1500	550	450	1050
サイドパネル付	2100	2100	850	1600	550	500	1100
	2620	2100	900	1600	550	500	1100
コーディネート商品付き(*)	2100	2100	900	1600	550	550	1050

※コーディネート商品

- ・アーキラインスクリーンフェンス縦格子間仕切タイプ
- ・オプリークフェンスRE型(ポリカパネルタイプ)



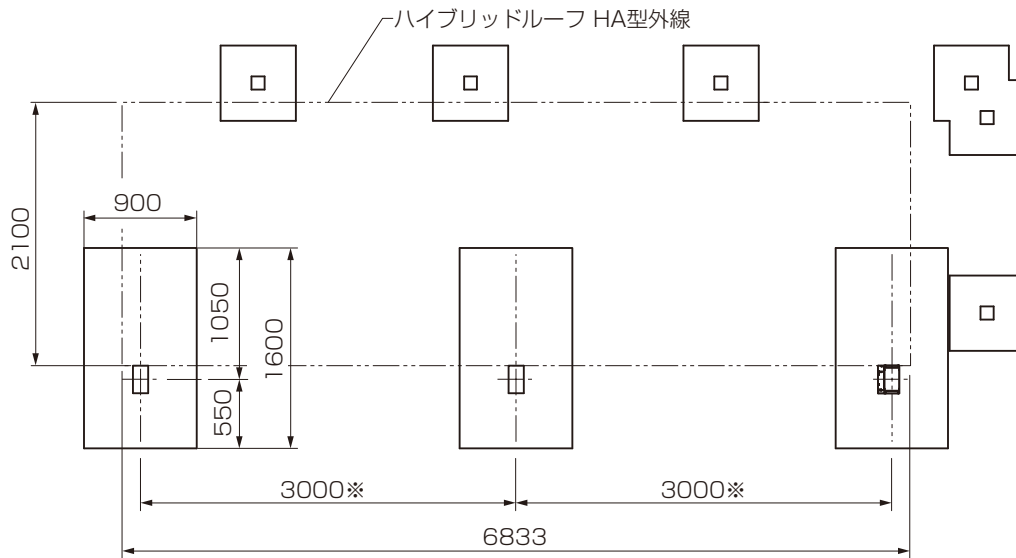
【連棟68+30×1 型】



オブリークフェンスRE型付き

補 足

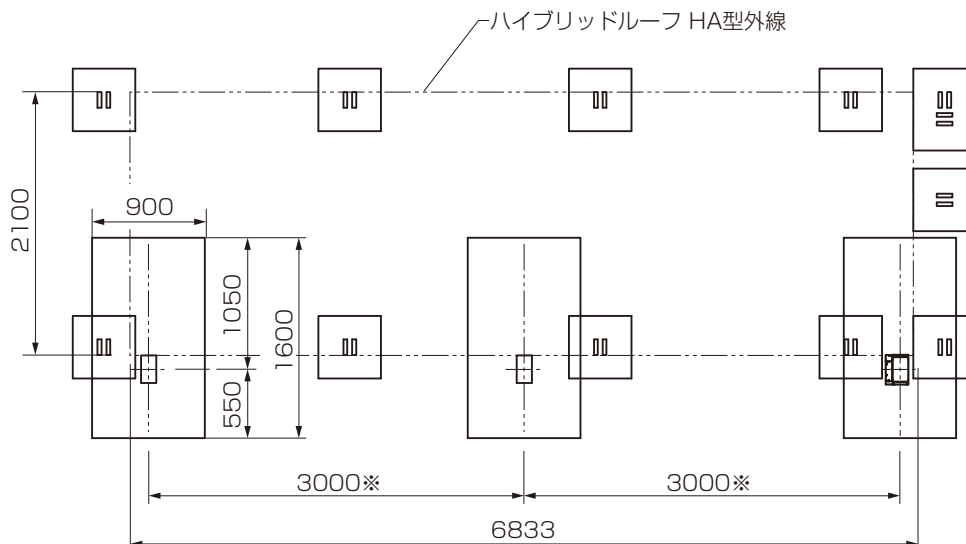
基礎は基準風速34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度50kN/m²の時の参考寸法です。



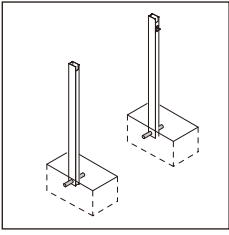
アーキラインスクリーンフェンス付き

補 足

基礎は基準風速34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度50kN/m²の時の参考寸法です。



2 柱の建て込み



- ①アンカー棒を柱に差込んでください。
- ②基礎コンクリートを打設してください。
- ③柱のGL付近(地上側)にφ6の水抜き穴をあけてください。

お願い

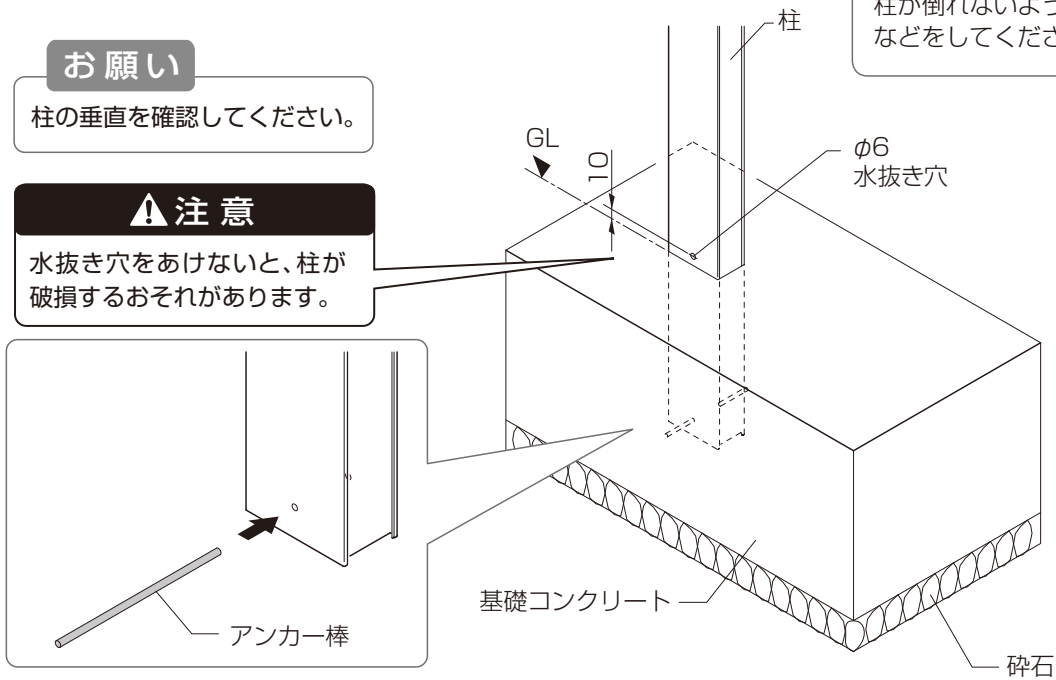
柱の垂直を確認してください。

⚠ 注意

水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。

補足

コンクリートが固まるまで、柱が倒れないように添え木などをしてください。

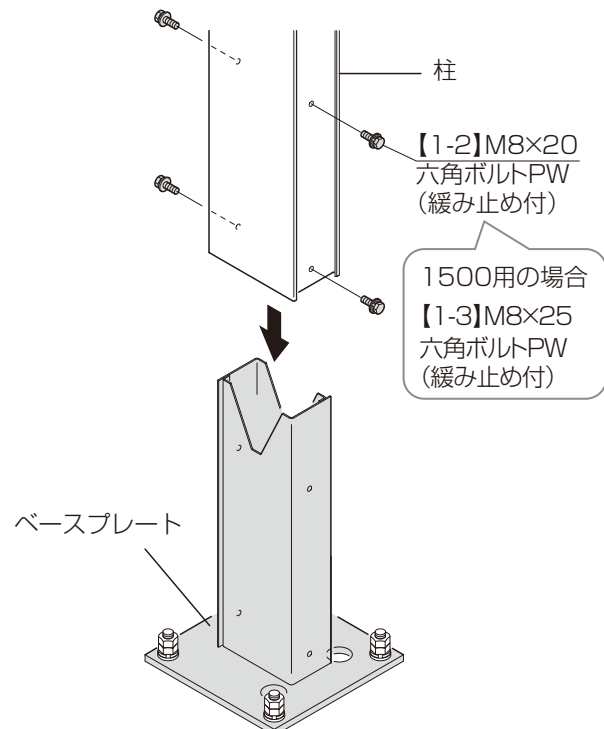
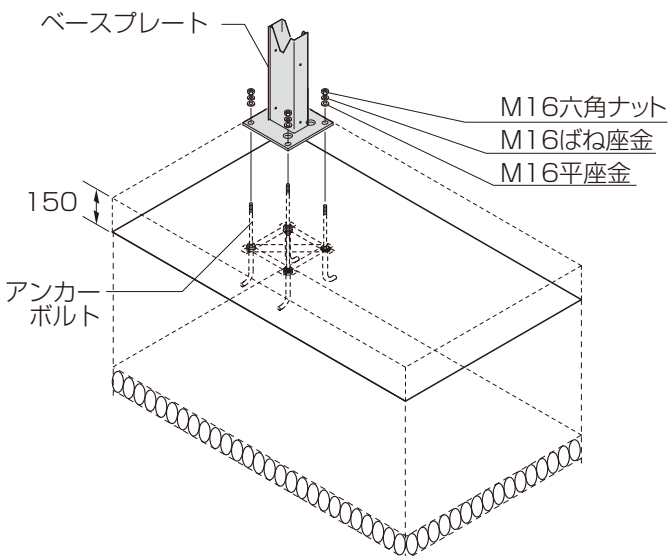


□ ベースプレート仕様の場合

- ①ベースプレートをアンカーボルトに差込みM16六角ナット、M16ばね座金、M16平座金で固定してください。
- ②ベースプレートに柱を差込み【1-2】または【1-3】で取付けてください。

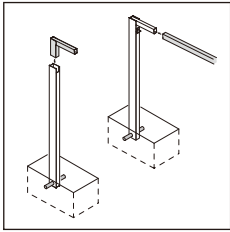
お願い

- アンカーボルトは別途アンカーセットで施工してください。
- アンカーボルトの施工時には、必ずアンカーセットの取付説明書(E452)をお読みください。
- 基礎のレベルが出ているか確認してください。レベルが出ていないと桁の取付けが困難になります。



3 柱、梁の組立て

1 ブラケットと梁の取付け

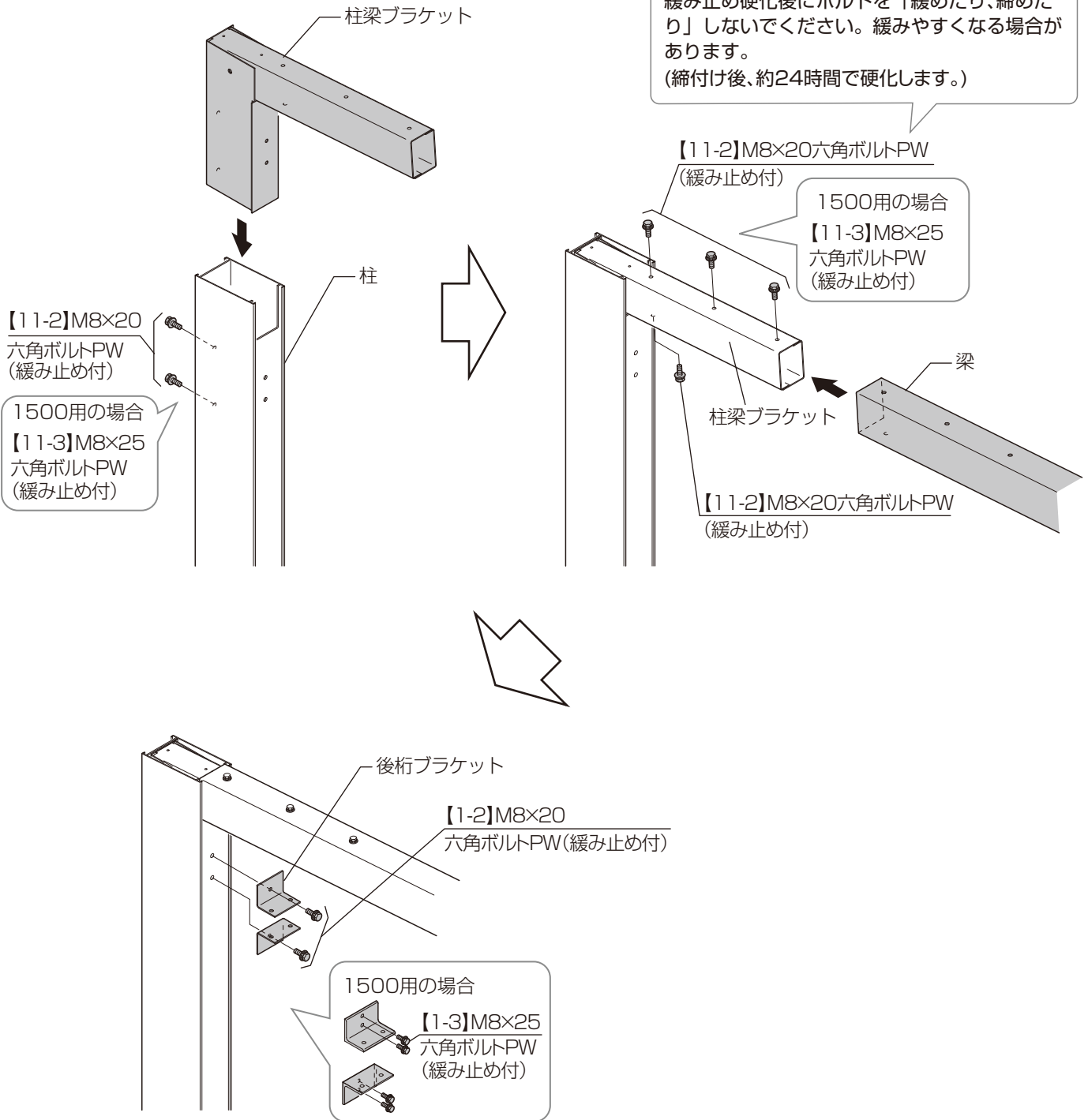


【Y合掌】の場合は、対応したページも参照してください。

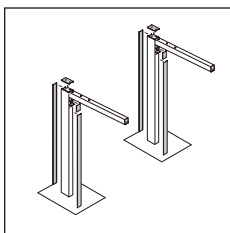
- ① 柱梁ブラケットを柱に差込み【11-2】で仮止めしてください。
- ② 梁を柱梁ブラケットに差込み【11-2】または【11-3】で仮止めしてください。
- ③ 後桁ブラケットと柱梁ブラケットを【1-2】または【1-3】で仮止めしてください。

お願い

緩み止め硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。
(締付け後、約24時間で硬化します。)



2 柱キャップ・柱カバーの取付け



- ①柱の背面側からボルトを本締めしてください。
- ②クッション材を200mmの長さでカットしてください。
- ③柱にクッション材を貼り付けてください。
- ④柱カバーを柱に取付けてください。
- ⑤柱キャップを柱に【1-1】で取付けてください。
- ⑥クッション材を柱カバーに合わせてカットしてください。
- ⑦柱キャップおよび柱・梁の接合部、ボルト頭にシーリングを
してください。

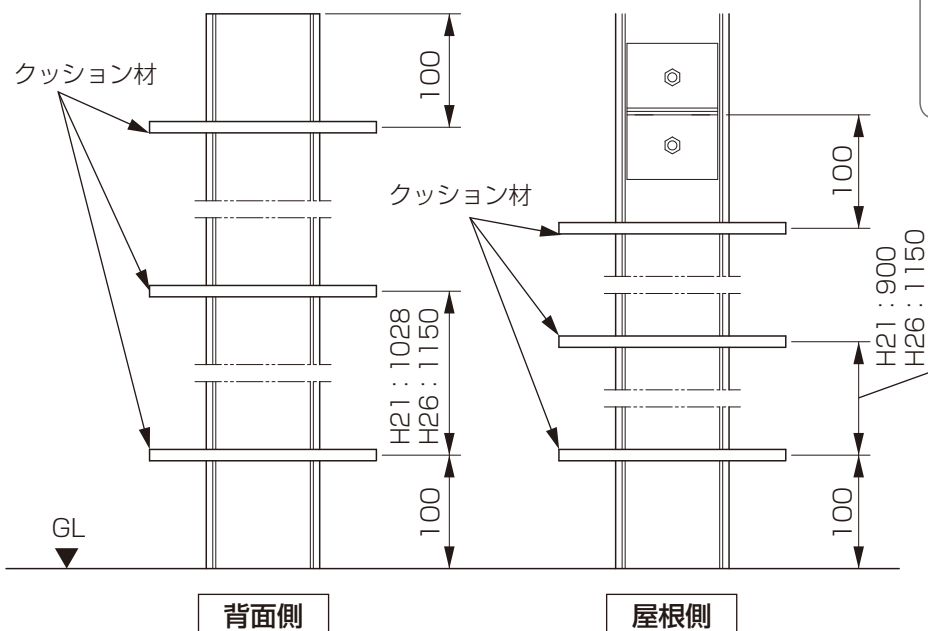
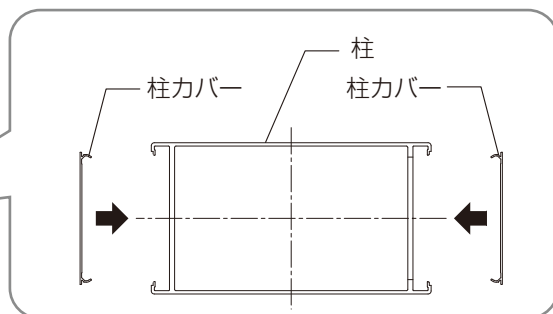
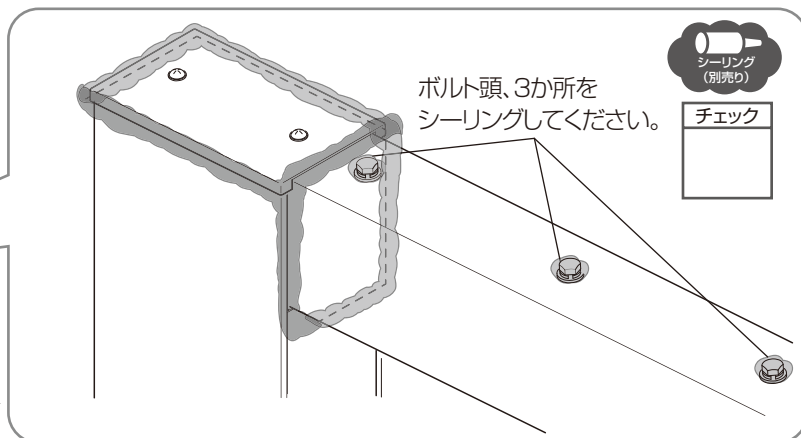
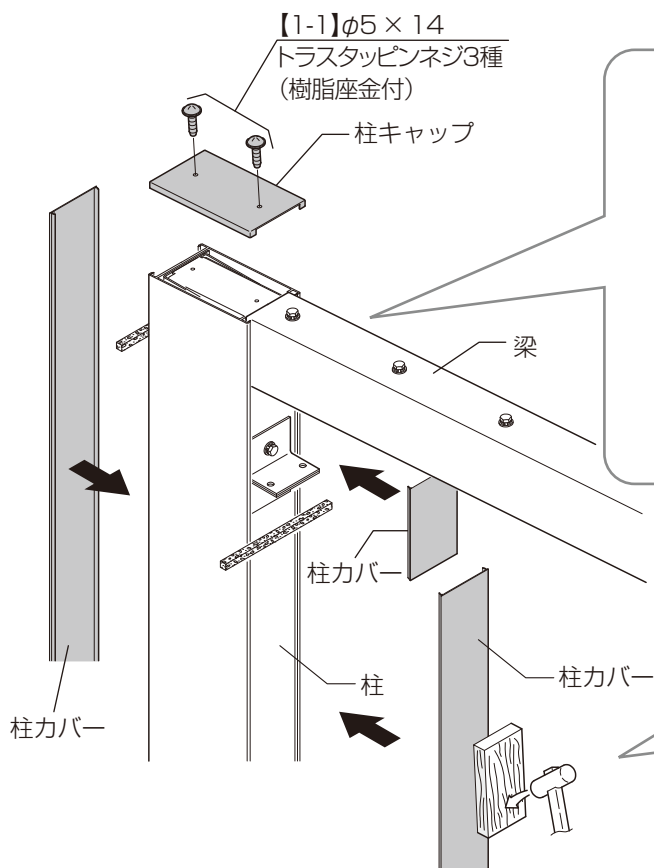
OP
オプション

P.8
▶

サイドパネルを取付ける場合は、
サイドパネル取付説明書(E446)
も参照してください。
柱カバーの切断加工が必要と
なります。

お願い

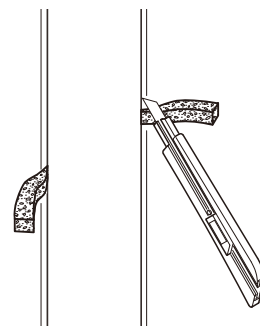
シーリングが完了した箇所は、にチェックを
入れてシーリング漏れがないようにしてください。
雨漏れの原因になります。



お願い

クッション材をカットする際は、柱および
柱カバーにキズをつけないように注意して
ください。

●クッション材のカット



4 後桁の取付け

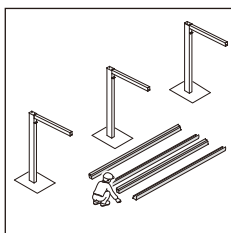


【柱移動】の場合の作業です。

▲ 注意

・Y合掌の場合は柱移動できません。

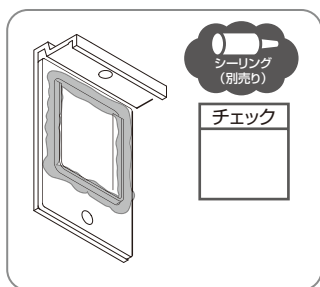
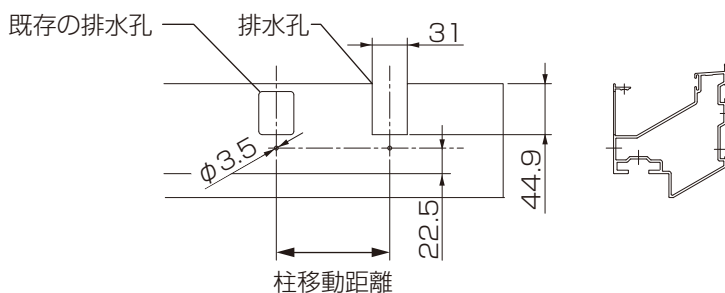
1 柱移動時の追加工



- ① 柱移動をする場合、排水孔の加工を移動距離分のところにしてください。
- ② 既存の排水孔は、孔ふさぎに止水パッキンを貼り付け、シーリングをしてから【15-1】で取付けてください。

お願い

シーリングが完了した箇所は、にチェックを入れてシーリング漏れがないようにしてください。雨漏れの原因になります。



【15-1】 $\phi 4 \times 10$
サラタツピンネジ3種

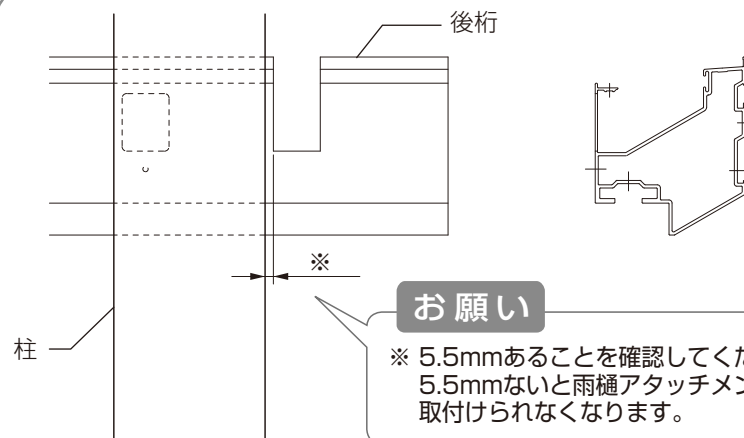
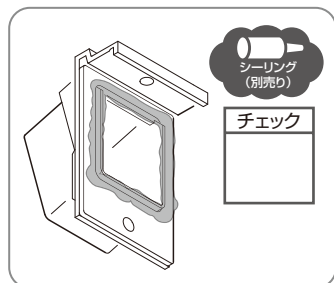
孔ふさぎ
止水パッキン

【15-1】 $\phi 4 \times 10$
サラタツピンネジ3種

【15-2】M6 \times 12
ナベ小ネジ

既存の排水孔
雨樋アタッチメント
取付金具
後桁

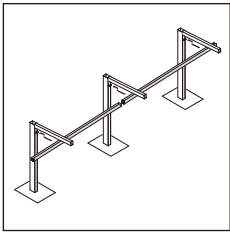
【10-1】 $\phi 4 \times 10$
トラスツピンネジ3種



お願い

※ 5.5mmあることを確認してください。5.5mmないと雨樋アタッチメントが取付けられなくなります。

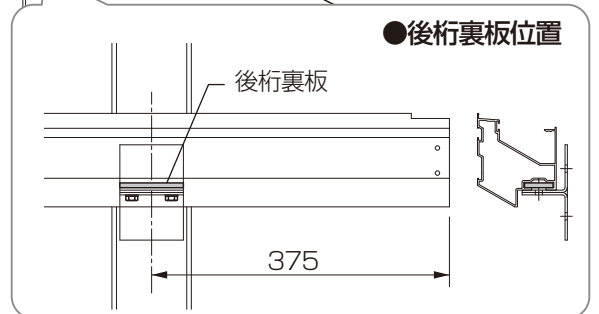
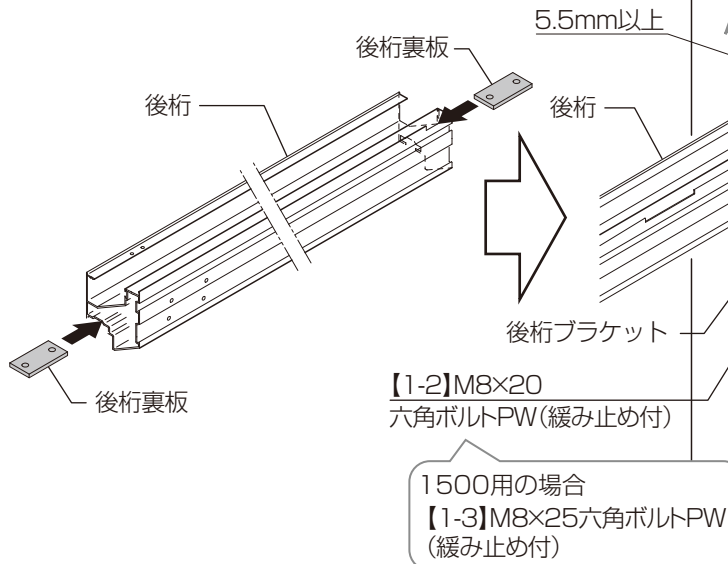
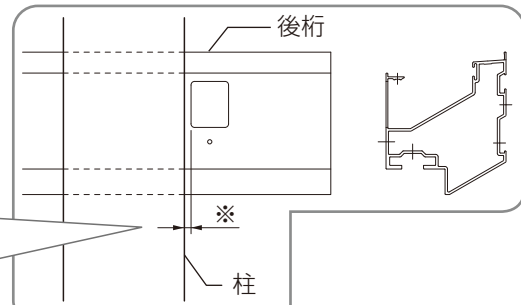
2 後桁の取付け



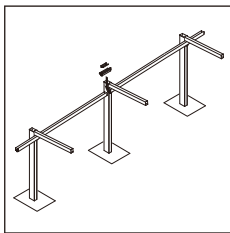
- ①後桁に後桁裏板を差込んでください。
- ②後桁を後桁ブラケットに【1-2】または【1-3】で取付けてください。

お願い

※ 5.5mmあることを確認してください。
5.5mmないと雨樋アタッチメントが
取付けられなくなります。



3 後桁の連結 (連棟の場合)



- ①後桁スリーブを後桁に差込み、【11-10】で取付けてください。
- ②後桁スリーブ樋部を後桁の連結部よりも奥に差込み、後桁の連結部をシーリングしてください。
- ③連結する後桁を後桁スリーブに差込み【11-10】で取付けてください。
- ④②で差込んだ後桁スリーブ樋部を連結部までスライドして【11-7】で取付けてください。
- ⑤後桁と後桁スリーブ樋部の接合部および後桁の連結部にシーリングをしてください。

お願い

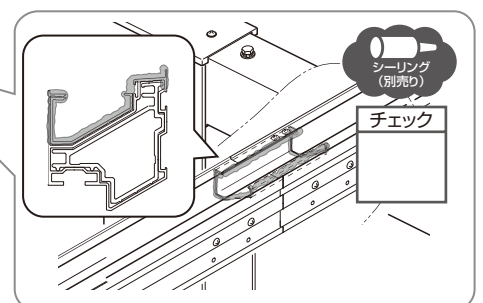
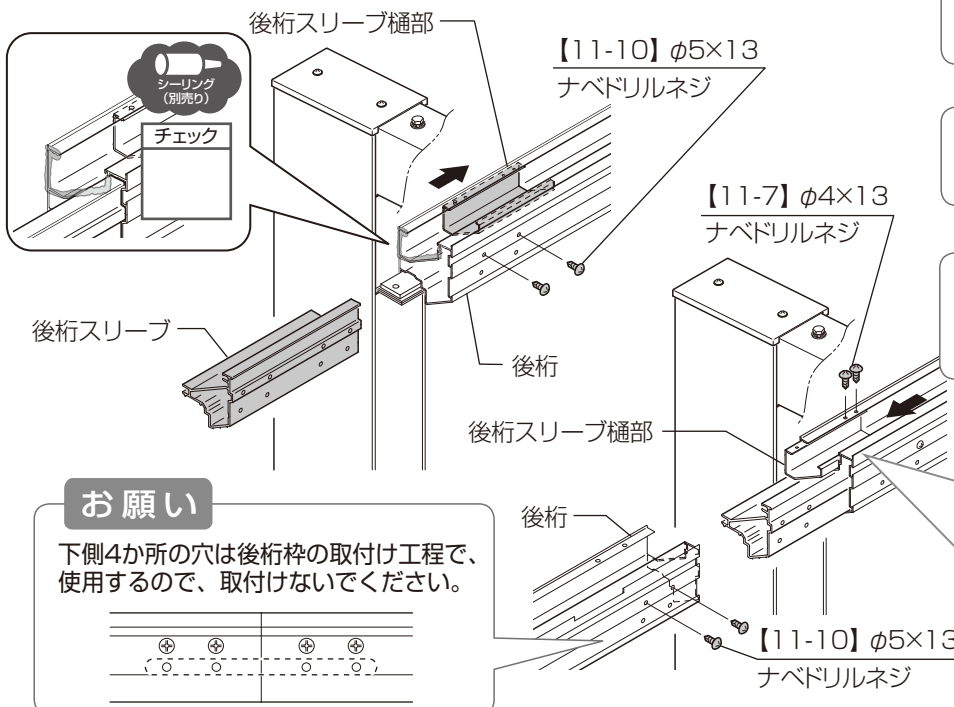
取付時に付着した切粉等は、取り除いて
ください。

補足

シーリングが不要な箇所につかないように
マスキングしてください。

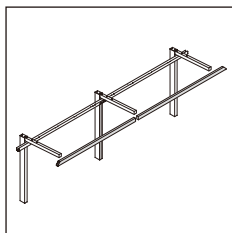
お願い

シーリングが完了した箇所は、にチェック
を入れてシーリング漏れがないようにして
ください。雨漏れの原因になります。

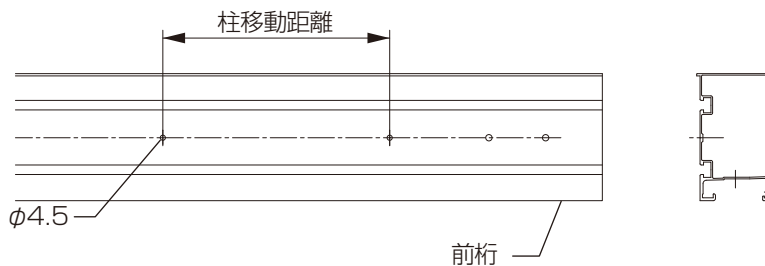


5 前桁の取付け

1 柱移動時の追加工



①前桁に下記の穴加工を行なってください。柱移動する場合、前桁金具を取付けるφ4.5の下穴を移動距離分の箇所にあけてください。



2 前桁の取付け

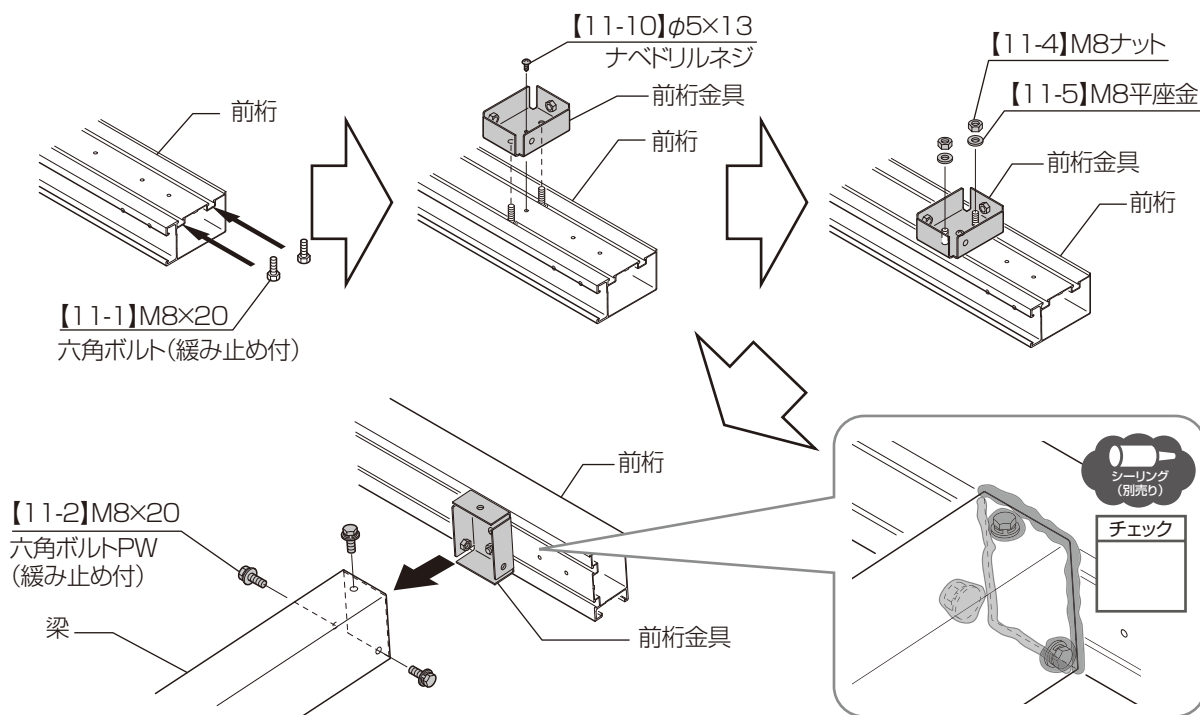
①前桁下面部材中央にφ6の水抜き穴をあけてください。



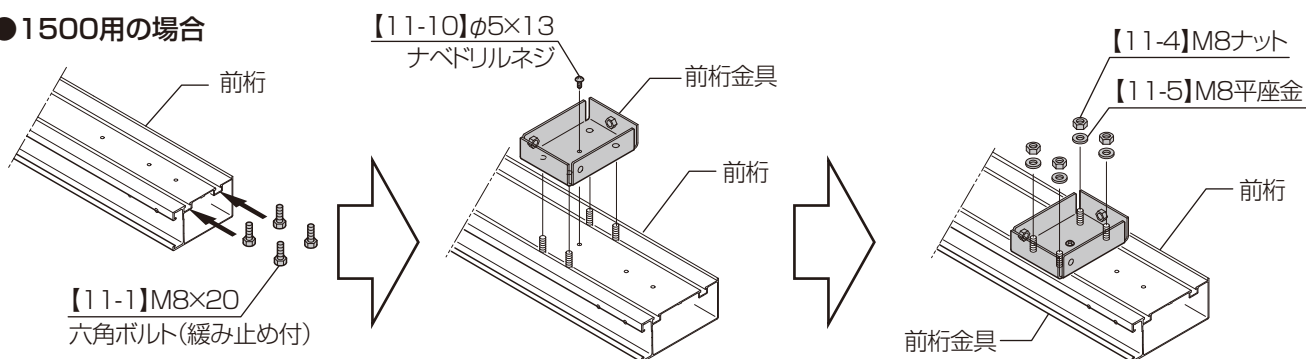
- ②前桁に【11-1】を差込んでください。
- ③前桁金具を【11-10】で締めつけてください。
- ④前桁と前桁金具の垂直を確認し、【11-4】【11-5】で取付けてください。
- ⑤前桁を梁に【11-2】で取付けてください。
- ⑥前桁と梁の接合部、ボルト頭をシーリングしてください。

お願い

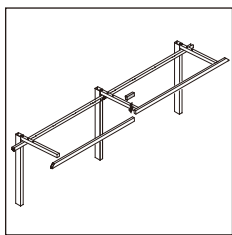
シーリングが完了した箇所は、にチェックを入れてシーリング漏れがないようにしてください。雨漏れの原因になります。



●1500用の場合



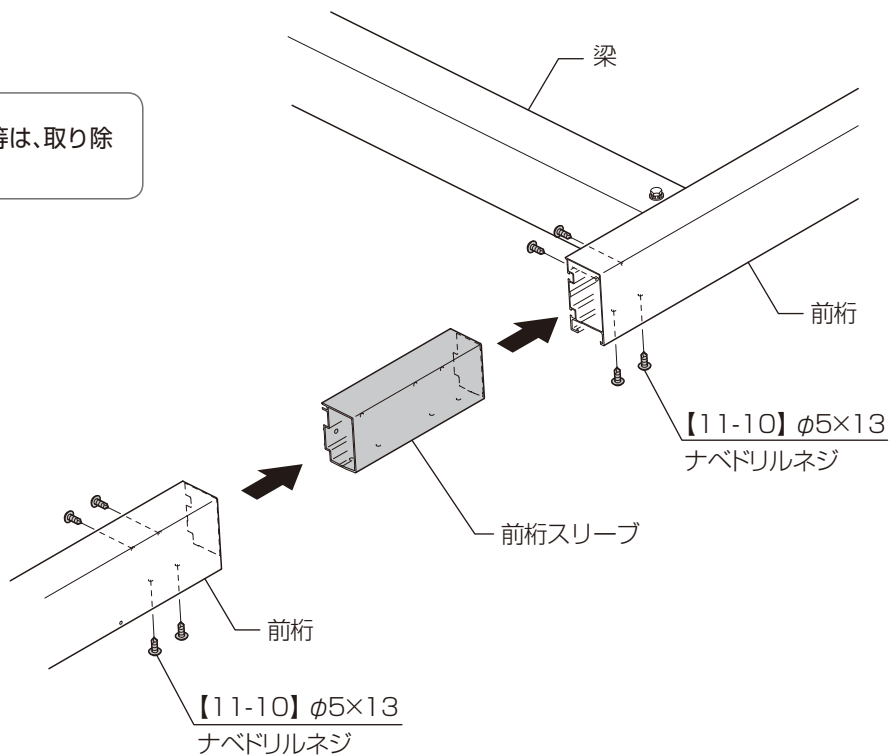
3 前桁の連結（連棟の場合）



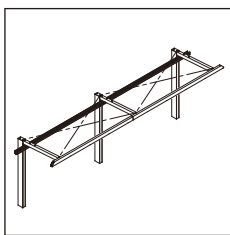
- ①前桁スリーブを前桁に差込み、【11-10】で取付けてください。
- ②もう一方の前桁を差込み、【11-10】で取付けてください。

お願い

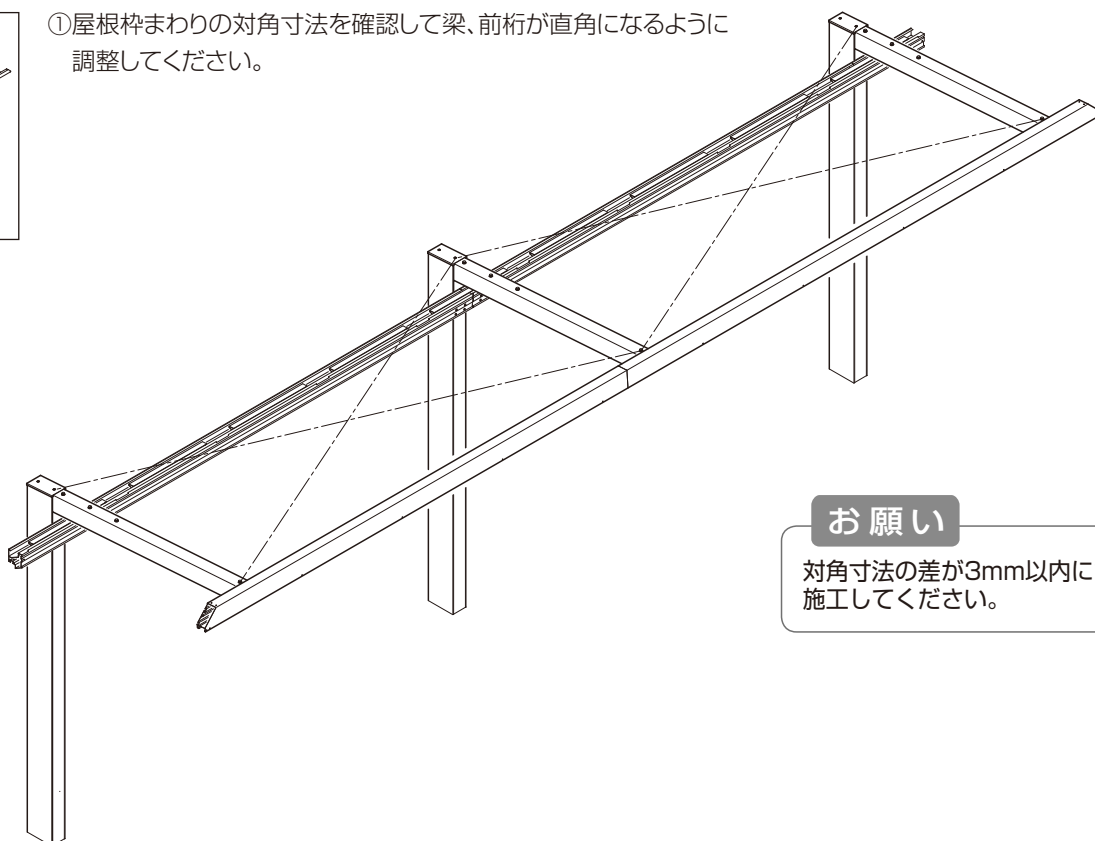
取付時に付着した切粉等は、取り除いてください。



6 対角寸法の確認



- ①屋根枠まわりの対角寸法を確認して梁、前桁が直角になるように調整してください。



お願い

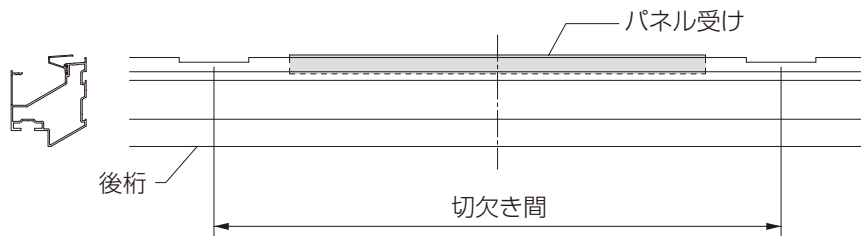
対角寸法の差が3mm以内になるように施工してください。

7 屋根まわりの取付け

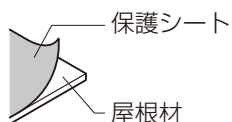
お願い

屋根材の取付けにあたりすべての屋根材で下記項目を確認してください。
※本イラストは600用単体68型での施工イメージです。

①パネル受けは、後桁の各切欠き間の中心にくるように移動してください。



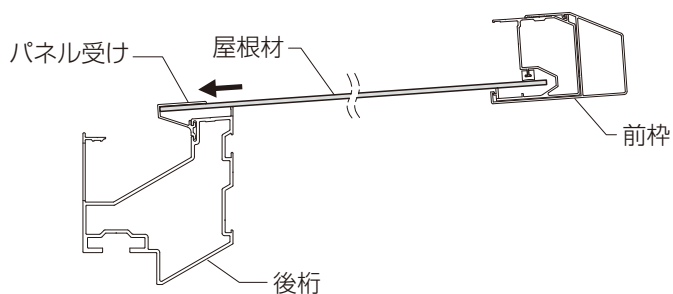
②屋根材は必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。



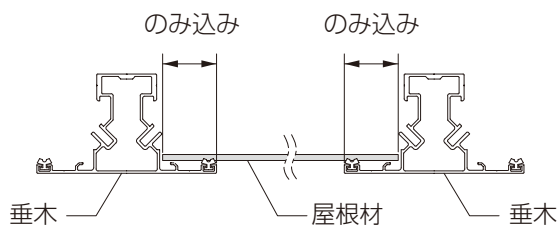
補足

アルミ樹脂複合屋根材は両面に保護シートが貼ってあります。

③屋根材はパネル受けに突き当ててください。

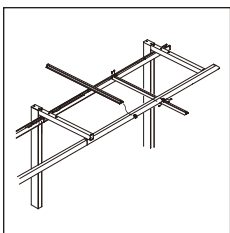


④垂木部のみ込み寸法は、左右均等にしてください。



⑤屋根材を均等に取付けられない場合は、対角や水平を計って調整してください。

1 1スパン目の取付け



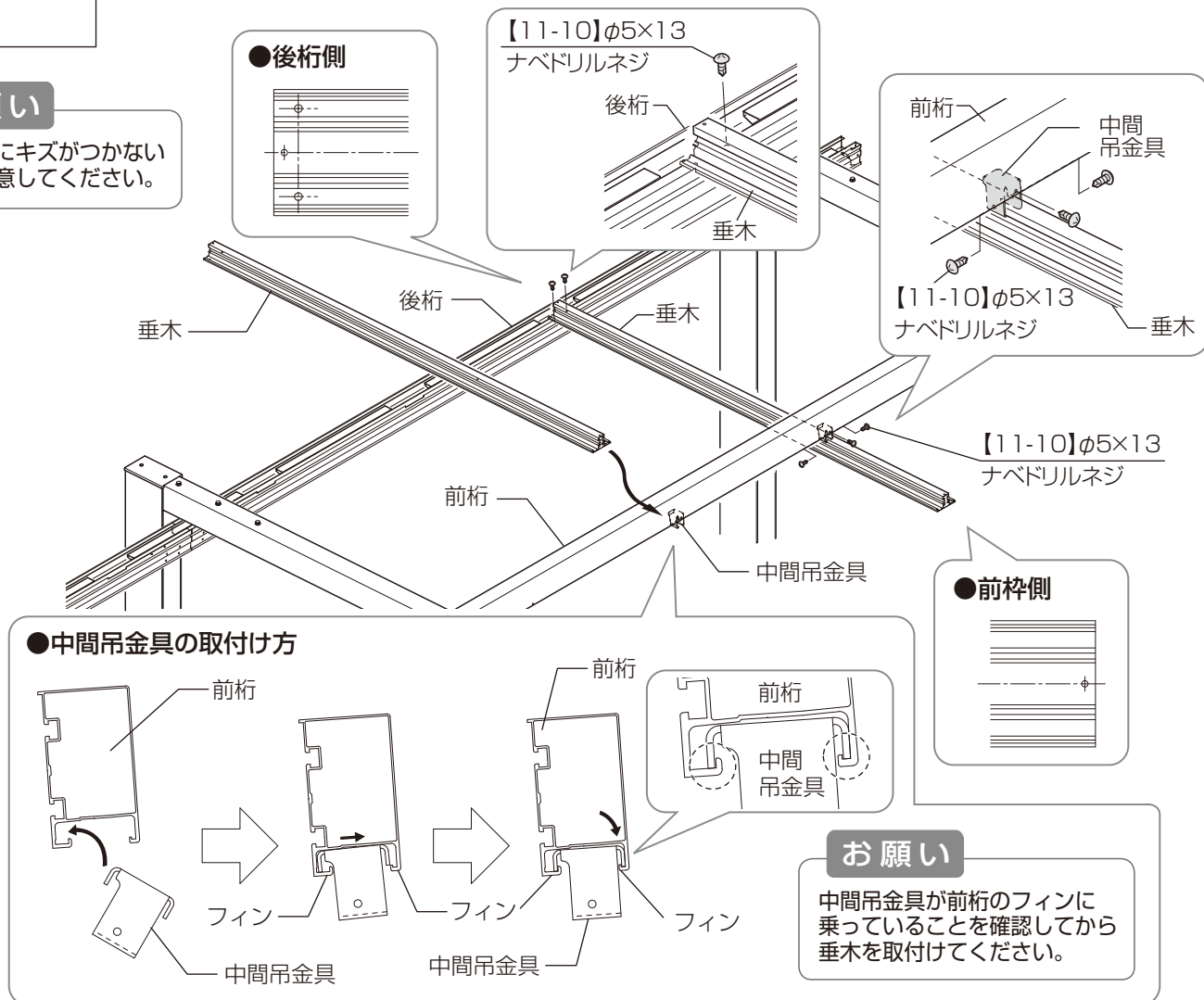
- ①前桁に中間吊金具を【11-10】で取付けてください。
- ②垂木を中間吊金具に差込んでください。
- ③垂木を後桁、中間吊金具に【11-10】で固定してください。

補足

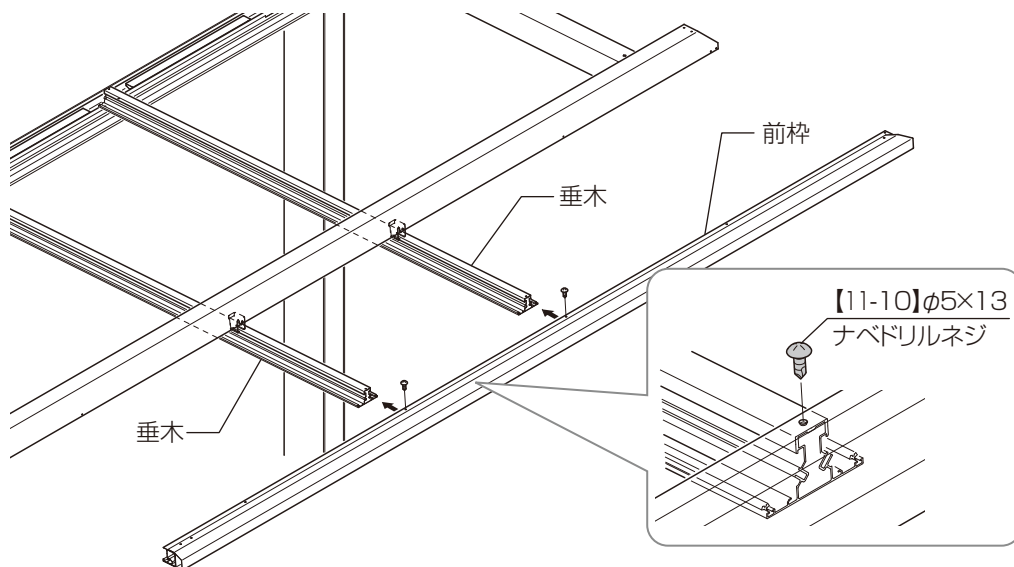
柱スパン真ん中の垂木2本を取付けます。
700用の場合は、中央と端部と反対側の垂木2本を取付けます。
端部と逆側の垂木は3スパン目取付け時に取り外します。

お願い

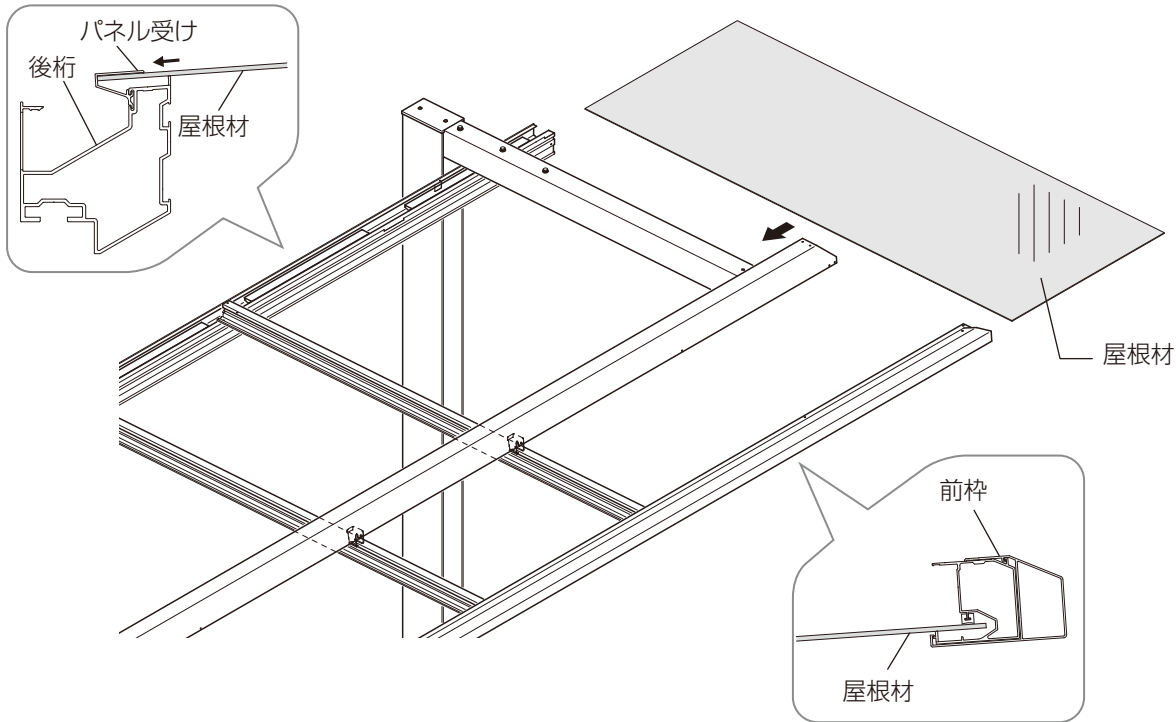
垂木下面にキズがつかないように注意してください。



- ④前枿を垂木に【11-10】で取付けてください。



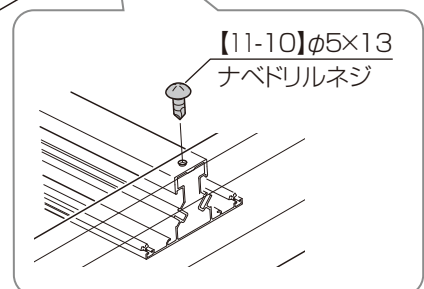
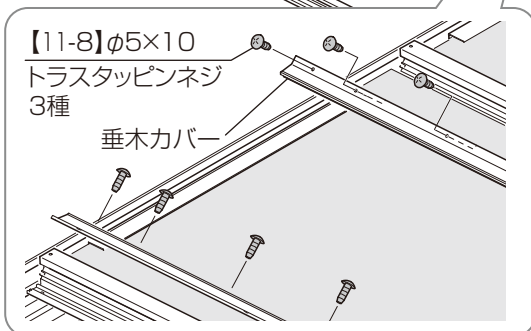
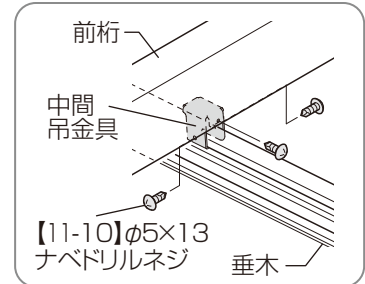
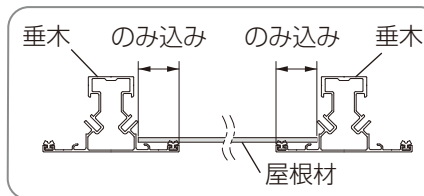
⑤端部側の垂木に屋根材をのせ、後桁と前枠に差し込んでください。



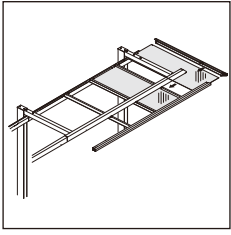
- ⑥垂木を【11-1】①～③の手順で取付けてください。
- ⑦垂木を前枠に【11-10】で固定してください。
- ⑧垂木カバーを【11-8】で取付けてください。

お願い

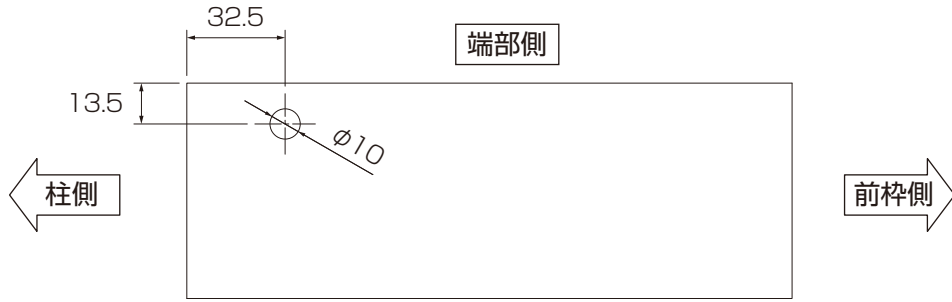
垂木を取付ける際は、屋根材を浮かして垂木のフィンが屋根材の下にもぐりこむように取付けてください。



2 スパン目(端部)の取付け



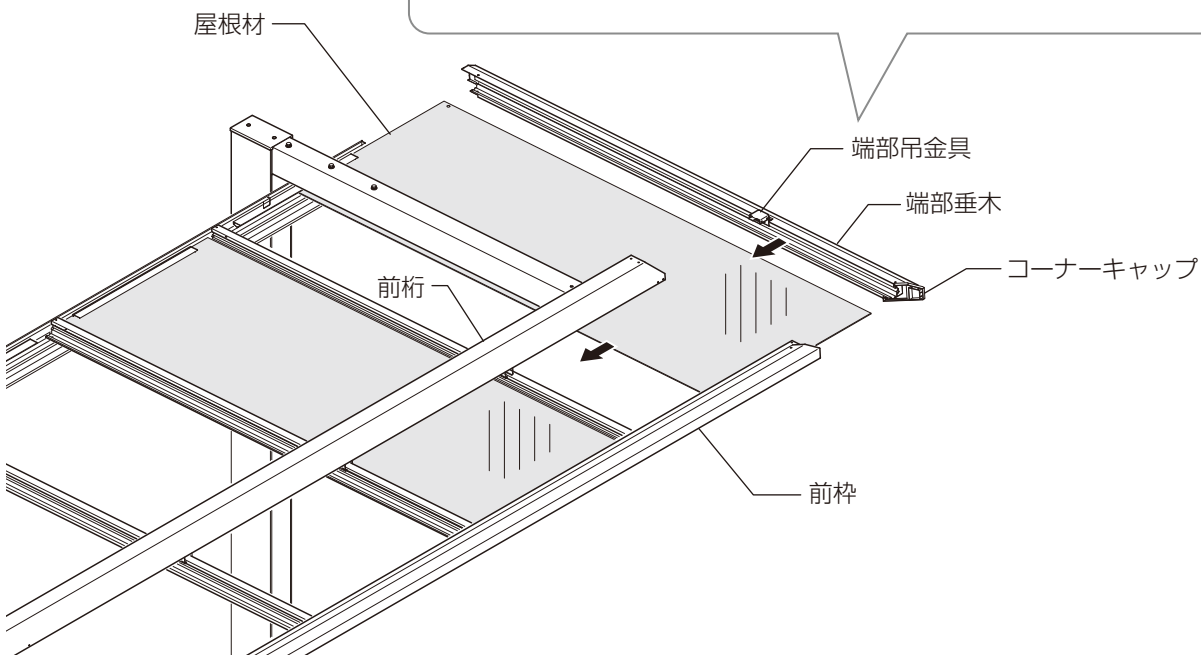
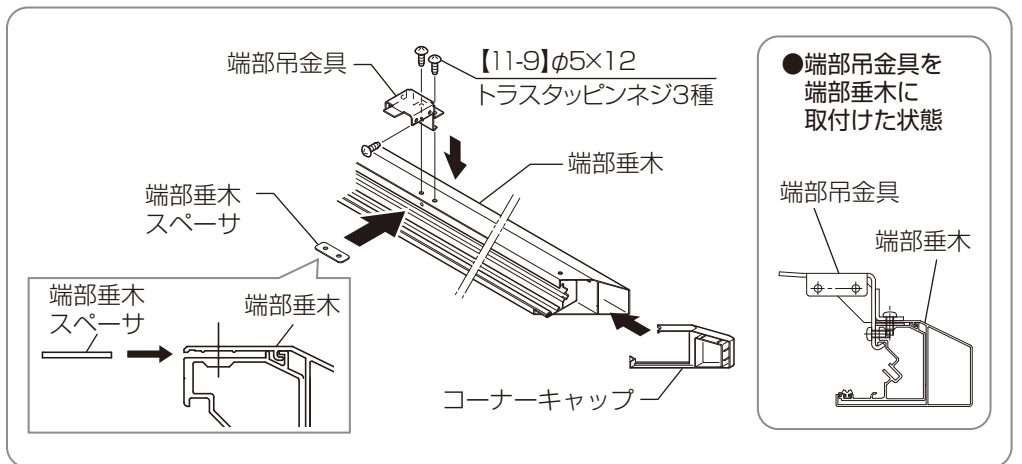
①屋根材にφ10の穴をあけてください。



- ②屋根材を垂木にのせ、後桁と前枠に差込んでください。
- ③端部垂木に端部垂木スペーサを差込み、端部吊金具を【11-9】で取付けてください。
- ④端部垂木にコーナーキャップを差込んでください。
- ⑤コーナーキャップを前枠に、端部吊金具を後桁に差込んでください。

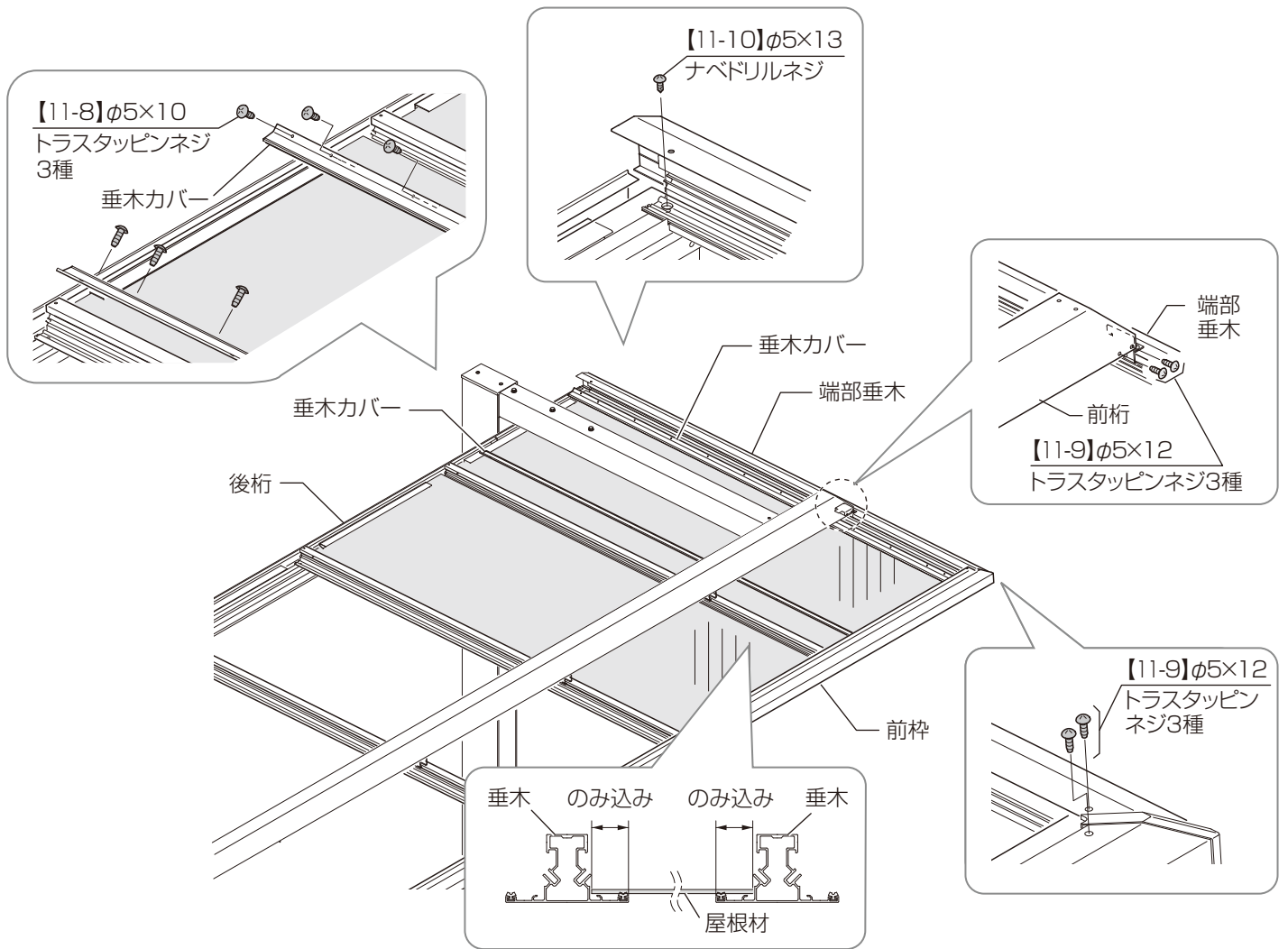
お願い

垂木下面にキズがつかないように注意してください。

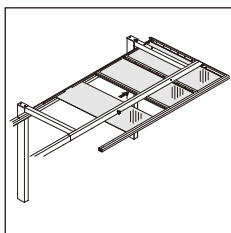


⑥端部垂木を後桁、前桁、前枠に【11-9】および【11-10】で固定してください。

⑦垂木カバーを【11-8】で取付けてください。



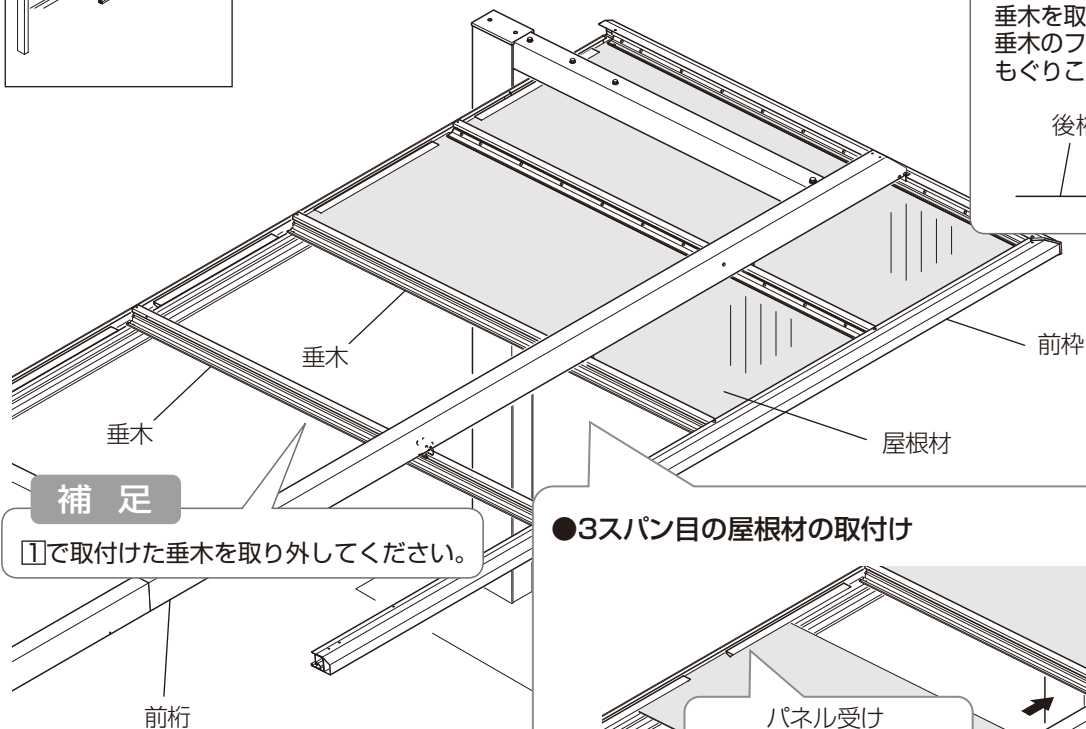
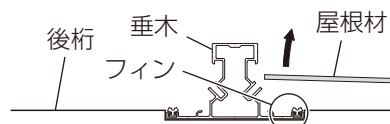
3 3スパン目の取付け



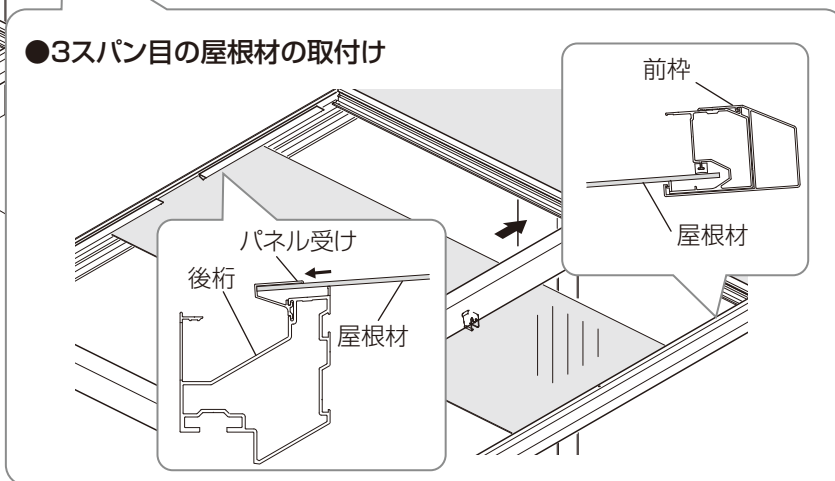
- ① 1スパン目で取付けた垂木のうち屋根材が取付いていないほうを取り外してください。
- ② 屋根材を垂木にのせ、後桁と前枠に差込んでください。
- ③ 取り外した垂木を①①～③の手順で取付けてください。

お願い

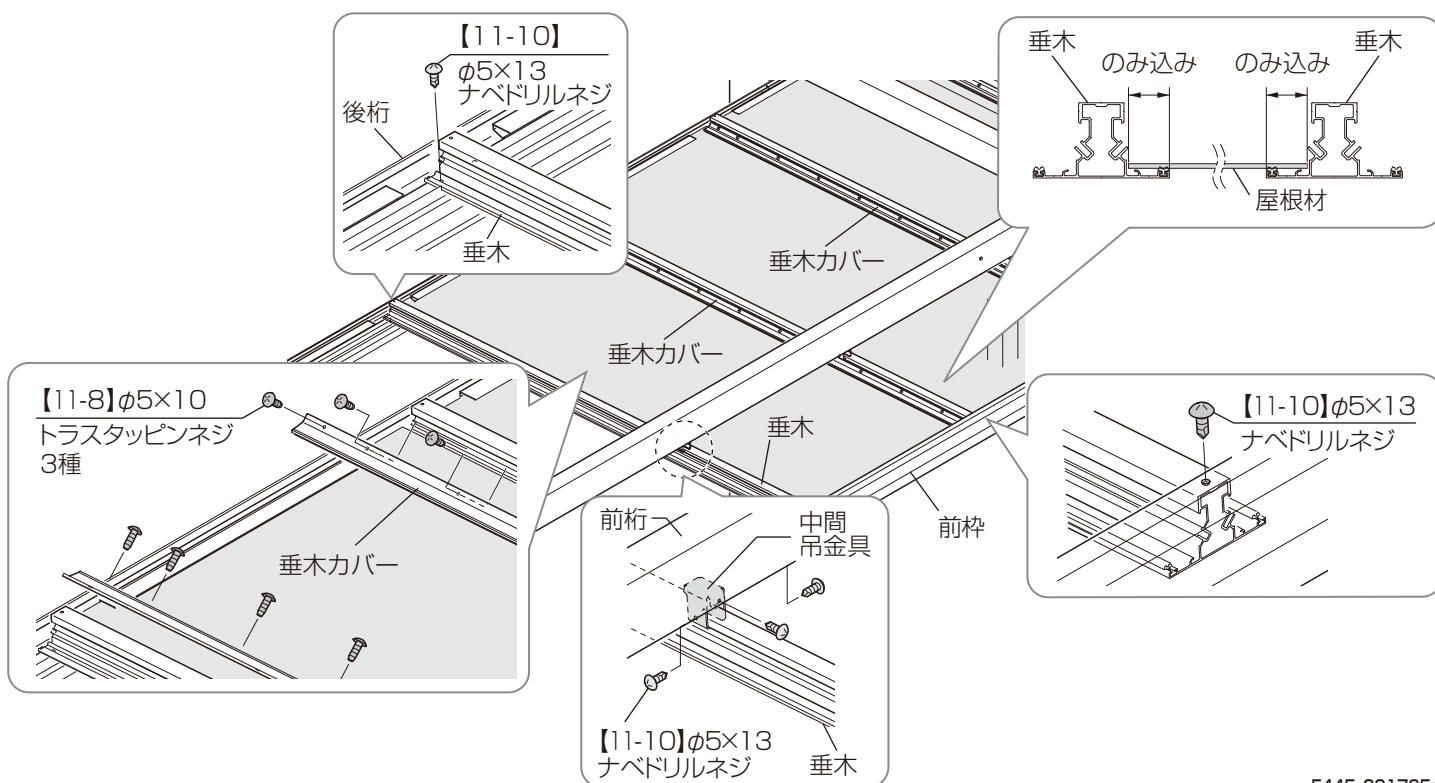
垂木を取付ける際は、屋根材を浮かして垂木のフィンが屋根材の下にもぐりこむように取付けてください。



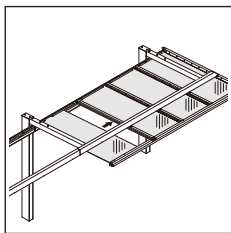
●3スパン目の屋根材の取付け



- ④ 垂木を前枠に【11-10】で固定してください。
- ⑤ 垂木カバーを【11-8】で取付けてください。



4 4スパン目の取付け



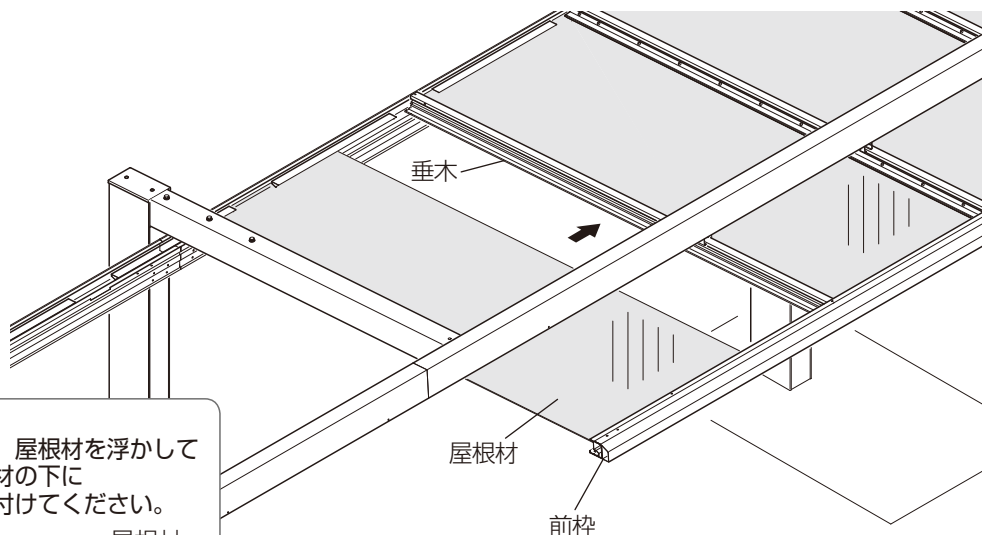
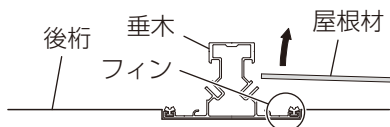
- ①屋根材を取付けてください。
- ②垂木を①①～③の手順で取付けてください。

補足

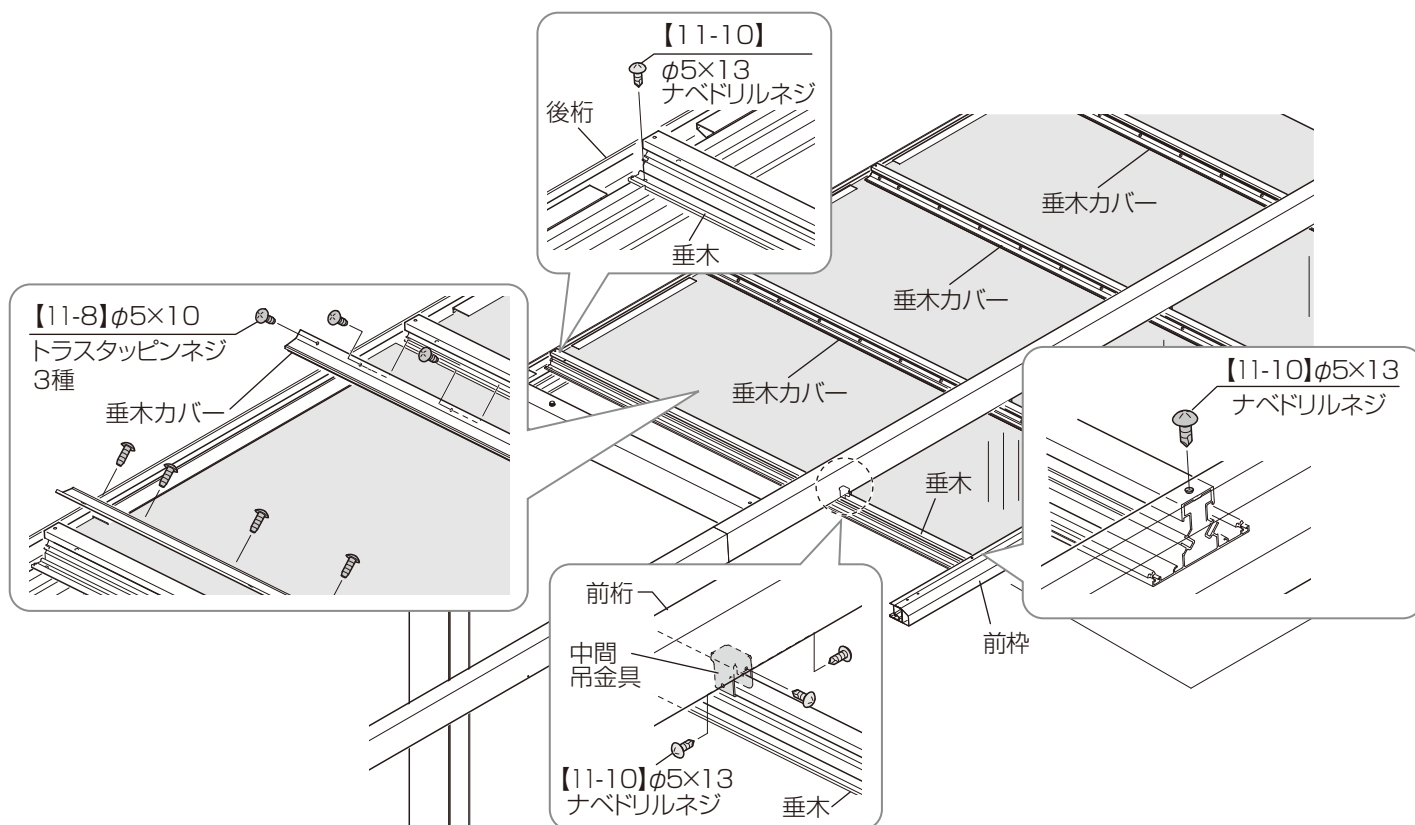
700用の場合は、⑤5スパン目の取付けを4スパン目と読みかえてください。
以降⑧最終スパンの取付けまで同様の作業となります。

お願い

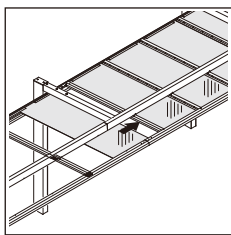
垂木を取付ける際は、屋根材を浮かして垂木のフィンが屋根材の下にもぐりこむように取付けてください。



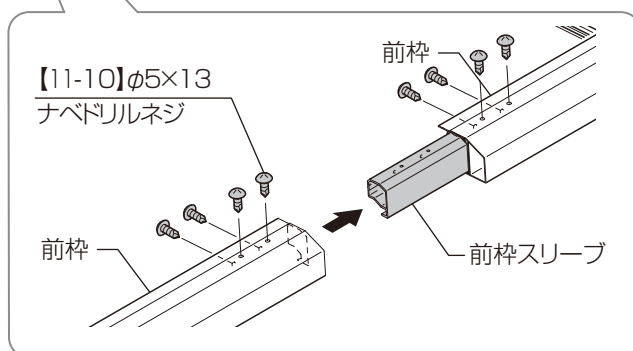
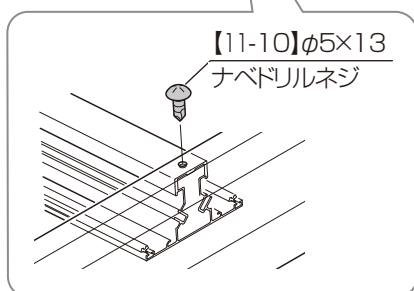
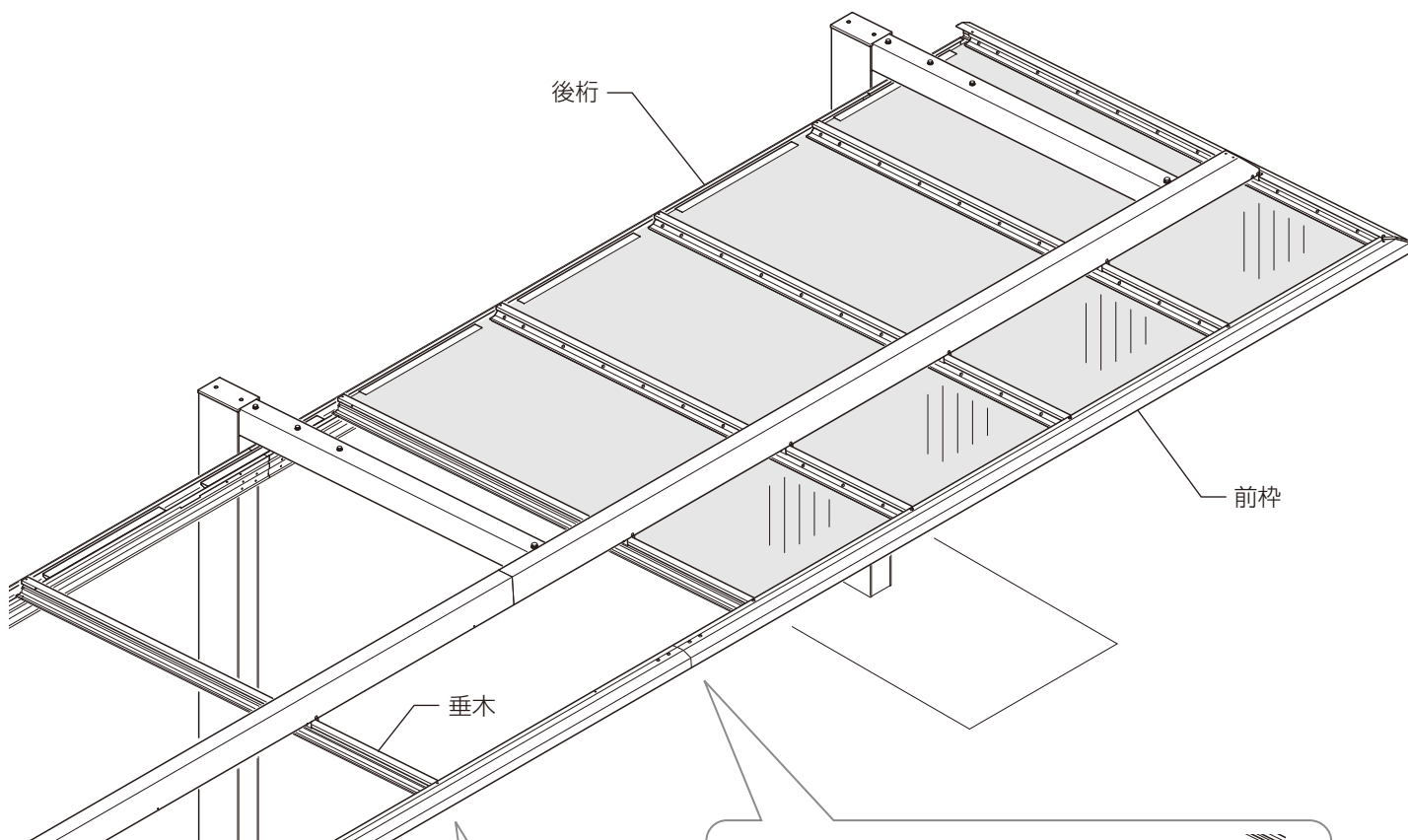
- ③垂木を前枠に【11-10】で取付けてください。
- ④垂木カバーを【11-8】で取付けてください。



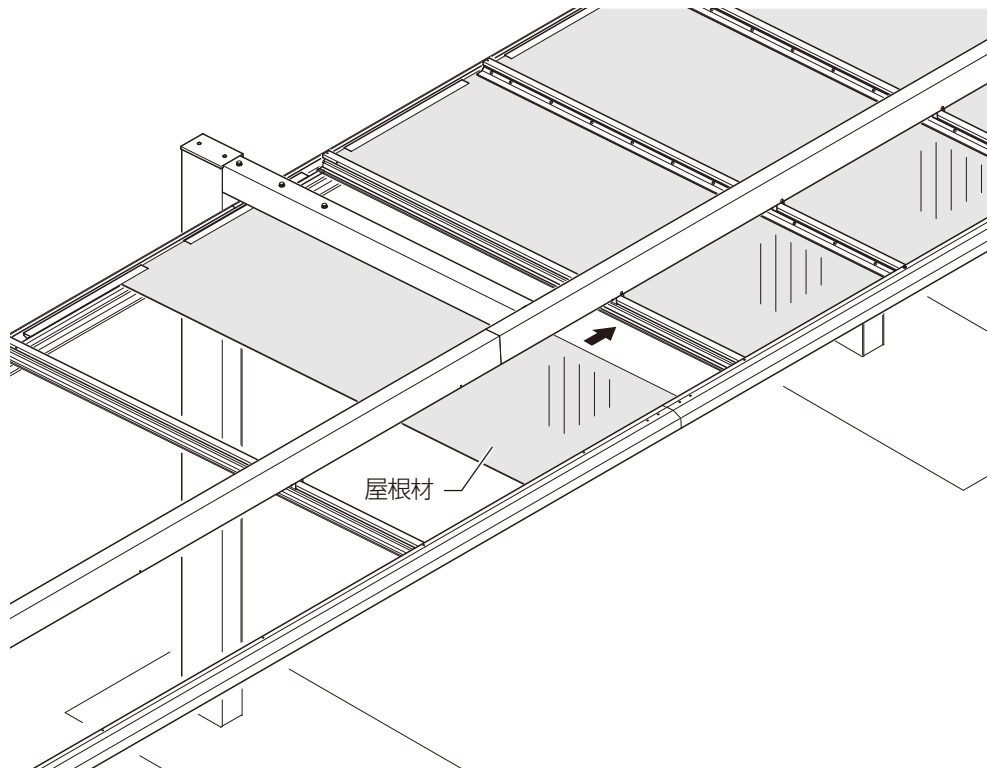
5 5スパン目の取付け(連棟使用の場合)(700用は4スパン目)



- ① 次の柱スパン真ん中の垂木を【11-10】①～③の手順で取付けてください。
700用の場合は、柱スパン中央と屋根材を取付けていない側の垂木の2本を【11-10】①～③の手順で取付けてください。
- ② 前枠に前枠スリーブを差込み【11-10】で仮固定してください。
- ③ 連結する前枠を前枠スリーブに差込み【11-10】で固定し、①で取付けた垂木を【11-10】で固定してください。



④屋根材を取付けてください。



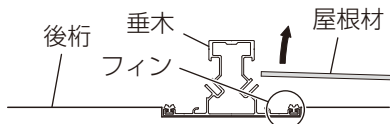
⑤垂木を①①～③の手順で取付けてください。

⑥垂木を前枠に【11-10】で取付けてください。

⑦垂木カバーを【11-8】で取付けてください。

お願い

垂木を取付ける際は、屋根材を浮かして垂木のフィンが屋根材の下にもぐりこむように取付けてください。



【11-10】

φ5×13
ナベドリルネジ

後桁

垂木

【11-8】φ5×10

トラスタッピンネジ
3種

垂木カバー

垂木

前枠

前桁

中間
吊金具

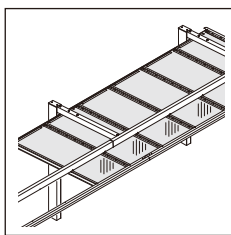
【11-10】φ5×13
ナベドリルネジ

垂木

【11-10】φ5×13

ナベドリルネジ

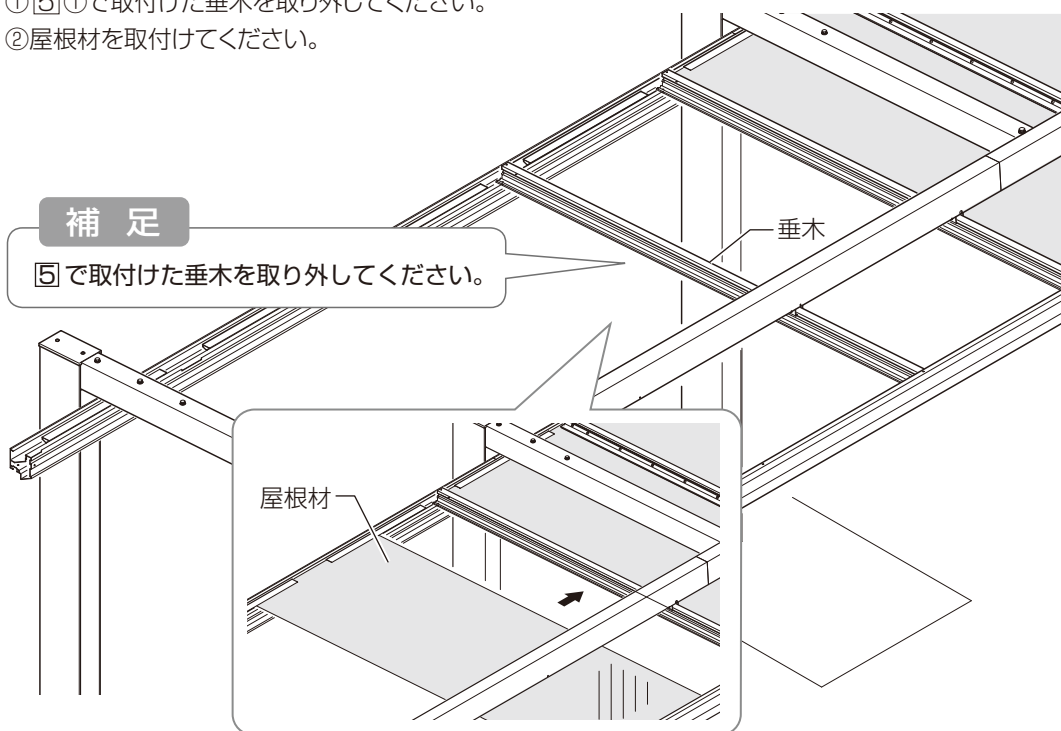
6 6スパン目の取付け(700用は5スパン目)



- ① ⑤①で取付けた垂木を取り外してください。
- ② 屋根材を取付けてください。

補足

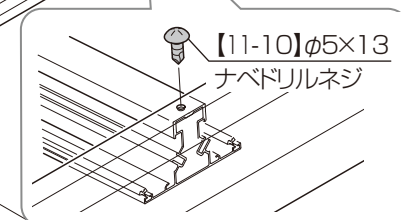
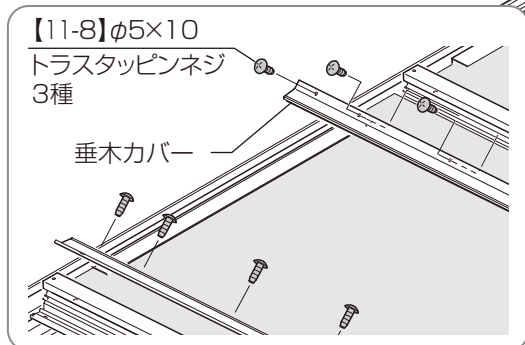
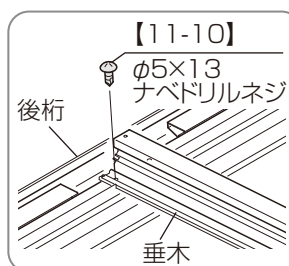
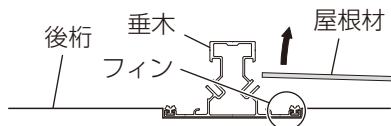
- ⑤で取付けた垂木を取り外してください。



- ③ 取外した垂木を ①①～③の手順で取付けてください。
- ④ 垂木を前枠に【11-10】で取付けてください。
- ⑤ 垂木カバーを【11-8】で取付けてください。

お願い

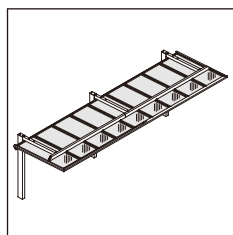
垂木を取付ける際は、屋根材を浮かして垂木のフィンが屋根材の下にもぐりこむように取付けてください。



7 7スパン目の取付け(700用は6スパン目)

- ① 屋根材を取付けてください。
- ② 垂木を ①①～③の手順で取付けてください。
- ③ 垂木を前枠に【11-10】で取付けてください。
- ④ 垂木カバーを【11-8】で取付けてください。
- ⑤ 以降 ④～⑦を繰り返してください。

8 最終スパンの取付け



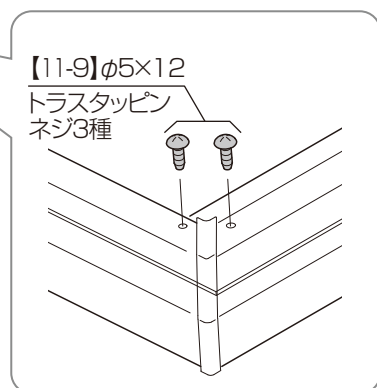
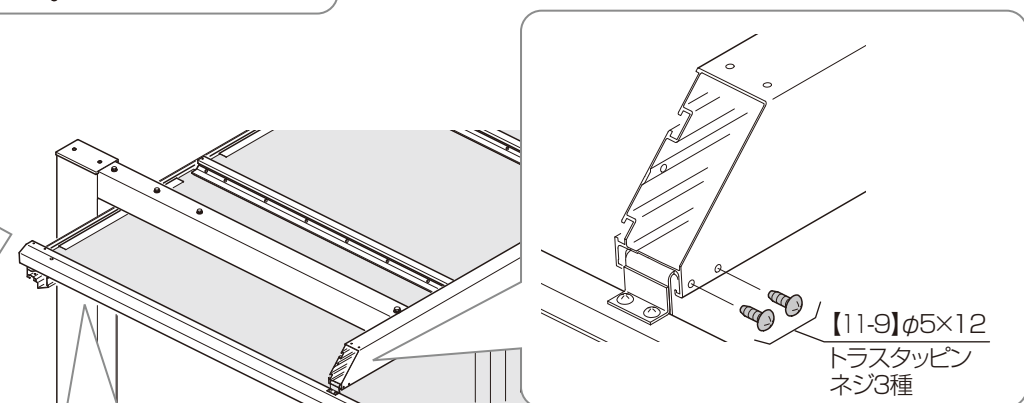
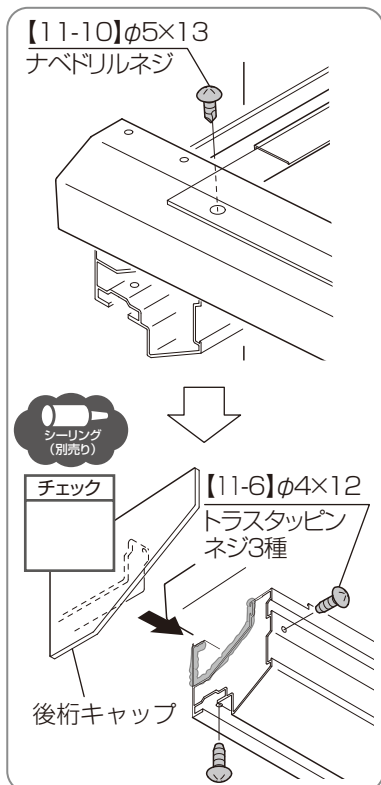
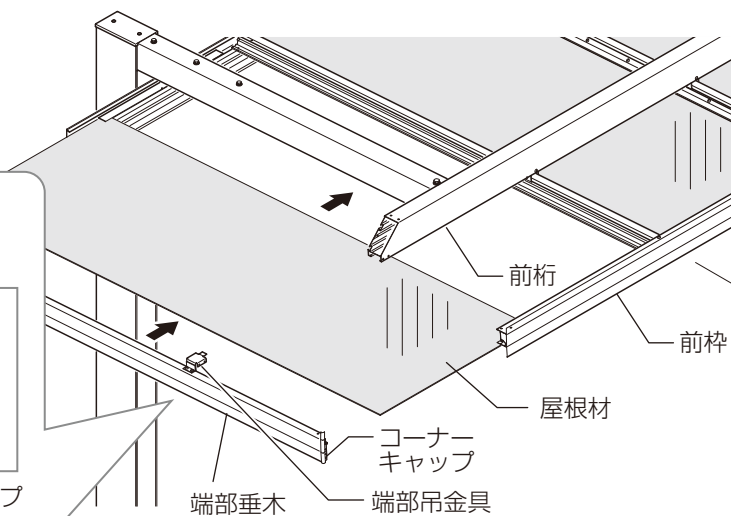
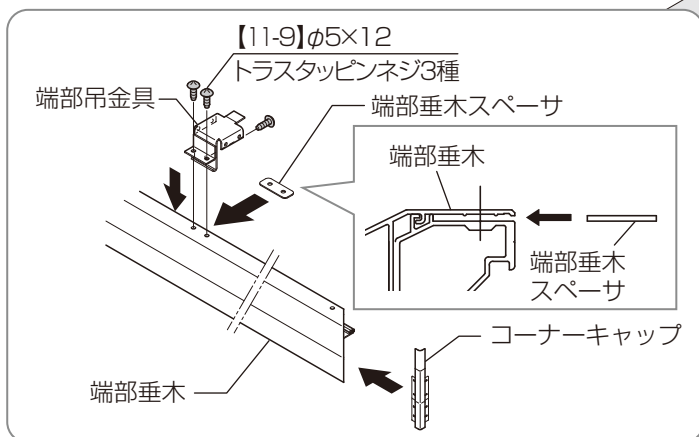
①屋根材にφ10の穴をあけてください。



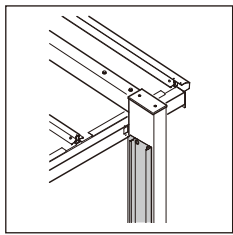
- ②屋根材を垂木にのせ、後桁と前枠に差込んでください。
- ③端部垂木に端部垂木スペーサを差込み、端部吊金具を【11-9】で取付けてください。
- ④端部垂木にコーナーキャップを差込んでください。
- ⑤端部垂木のコーナーキャップは前枠に、端部吊金具は前枠に差込み、【11-10】で後桁、【11-9】で前枠に取付けてください。
- ⑥後桁にシーリングをしてから後桁キャップを【11-6】で取付け、後桁と後桁キャップの接合部をシーリングしてください。
- ⑦垂木と後桁の接合部をシーリングしてください。

お願い

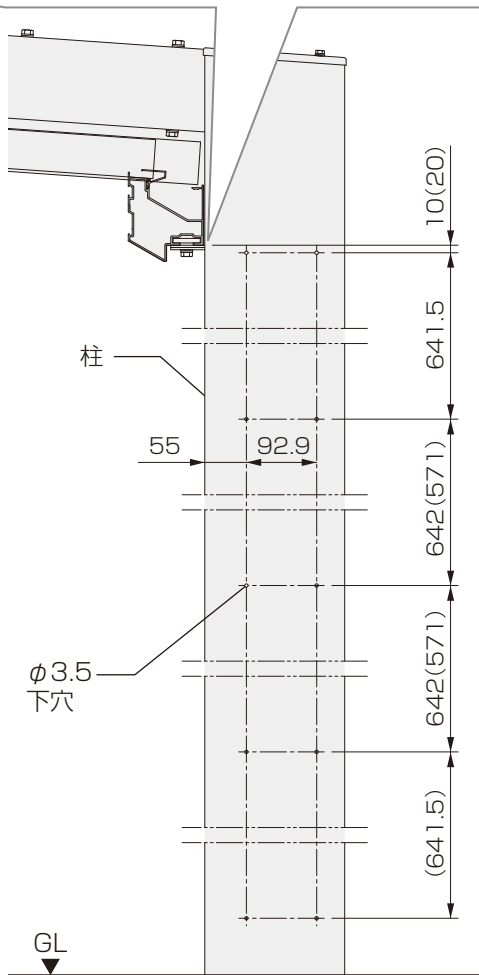
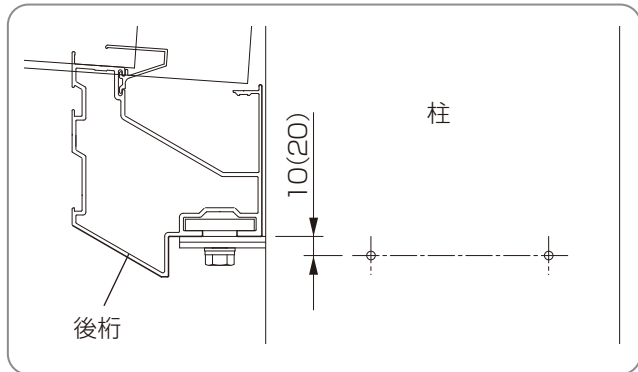
シーリングが完了した箇所は、□にチェックを入れてシーリング漏れがないようにしてください。雨漏れの原因になります。



8 縦樋の取付け

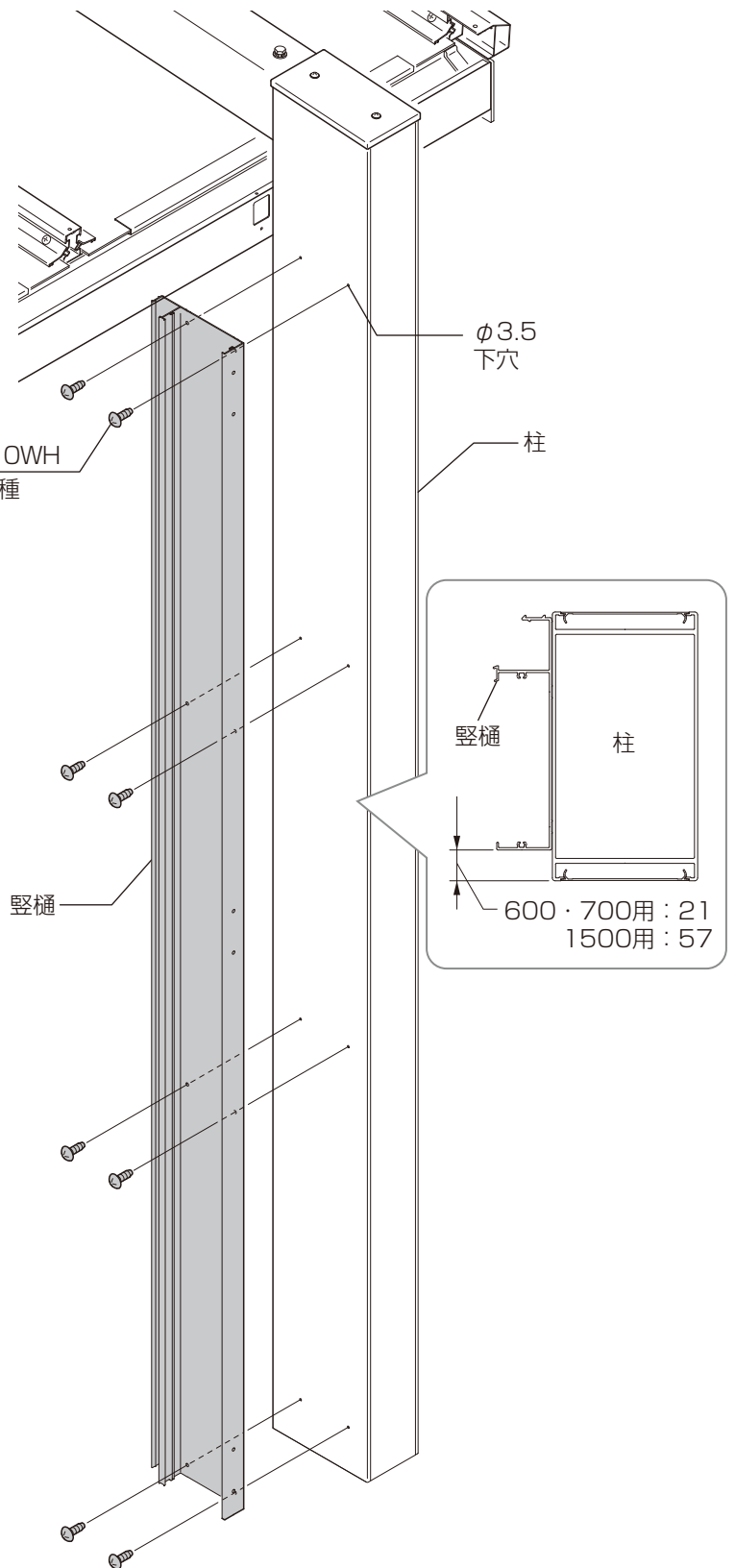


- ① 柱に縦樋取付用の下穴をあけてください。
- ② 縦樋を柱に【10-2】で取付けてください。



() 寸法はH26

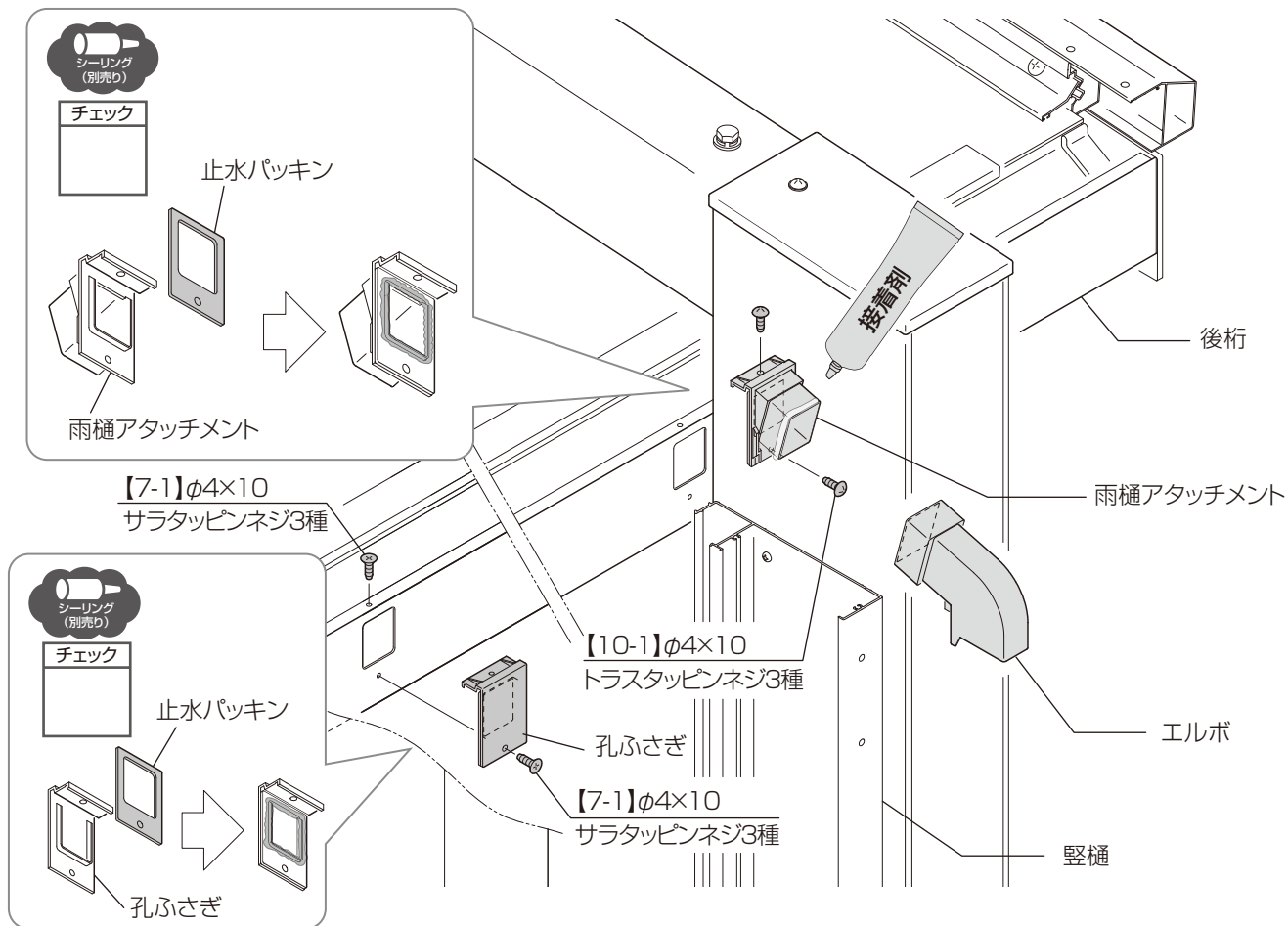
【10-2】φ4×10WH
タッピンネジ2種
(樹脂座金付)



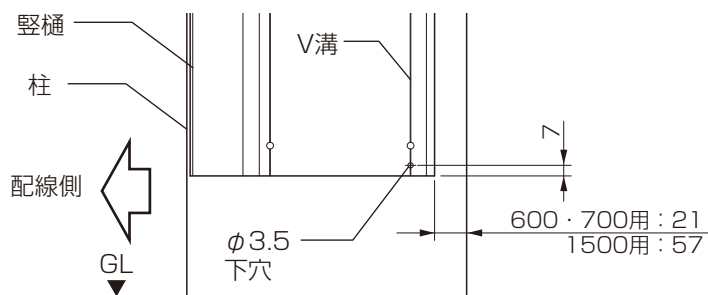
- ③ 止水パッキンを雨樋アタッチメントに貼り付け、シーリングしてください。
- ④ 雨樋アタッチメントを後桁に【10-1】で取付けてください。
- ⑤ エルボを雨樋アタッチメントに接着剤で取付けてください。
- ⑥ 止水パッキンを孔ふさぎに貼り付け、シーリングしてください。
- ⑦ 孔ふさぎを後桁に【7-1】で取付けてください。

お願い

シーリングが完了した箇所は、にチェックを入れてシーリング漏れがないようにしてください。雨漏れの原因になります。

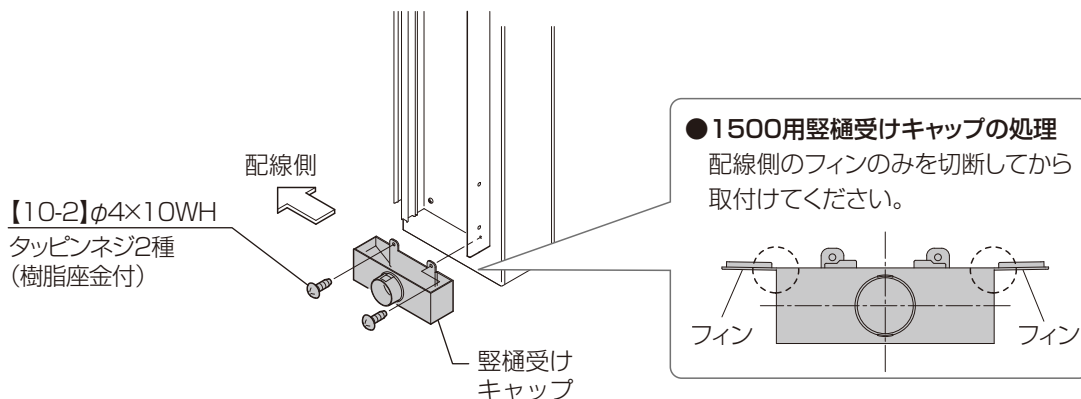


- ⑧ 縦樋の配線側とは反対のV溝にφ3.5の下穴をあけてください。
- ⑨ 縦樋受けキャップを柱に【10-2】で取付けてください。



補足

●エルボ、丸樋の取付け可能な径はφ40です。



⑩ 縦樋カバーを縦樋に【10-3】または【10-4】で取付け、プッシュボタンをはめてください。

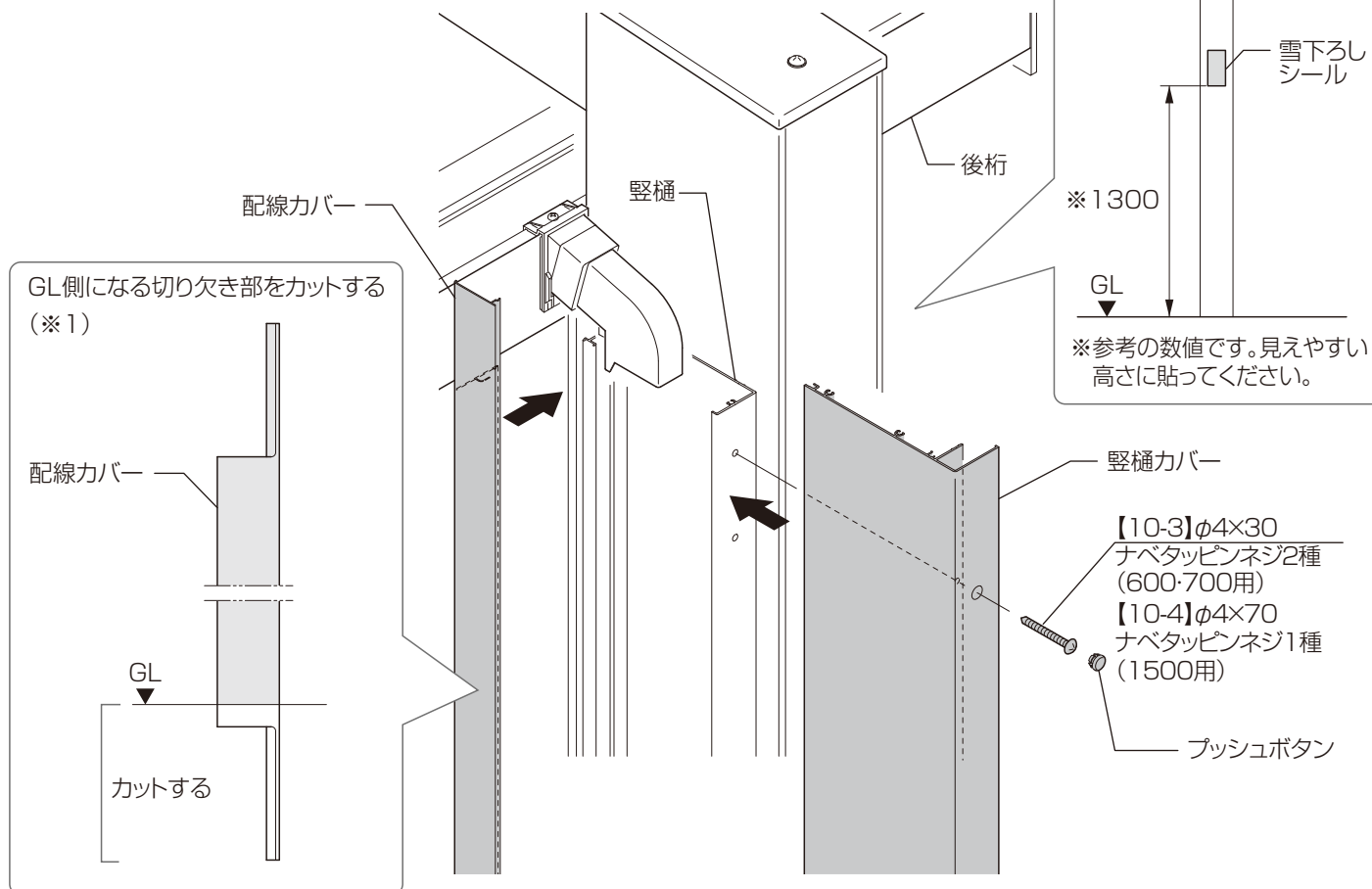
⑪ 縦樋が取付く方向にあわせて配線カバーをカットしてください(※1)。

⑫ 配線カバーを縦樋に取付けてください。

お願い

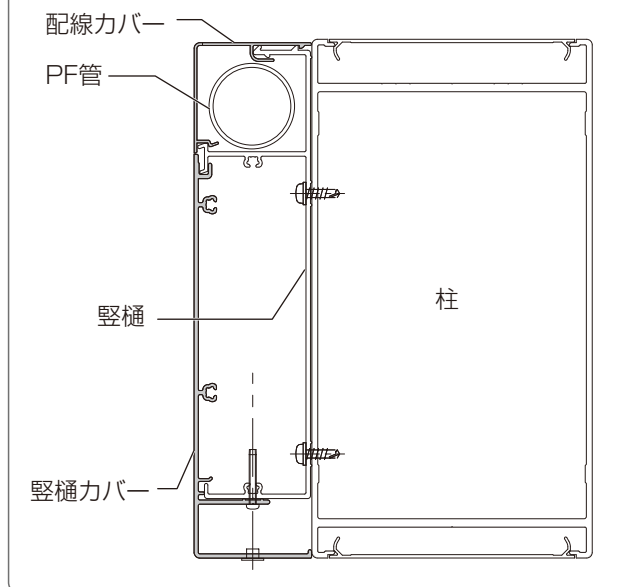
照明を取付ける場合は、配線カバーの取付けは照明取付後になります。

⑬ 縦樋施工完了後、柱の見やすい位置に雪下ろしシールを貼付けてください。



● 縦樋カバー・配線カバー 施工イメージ

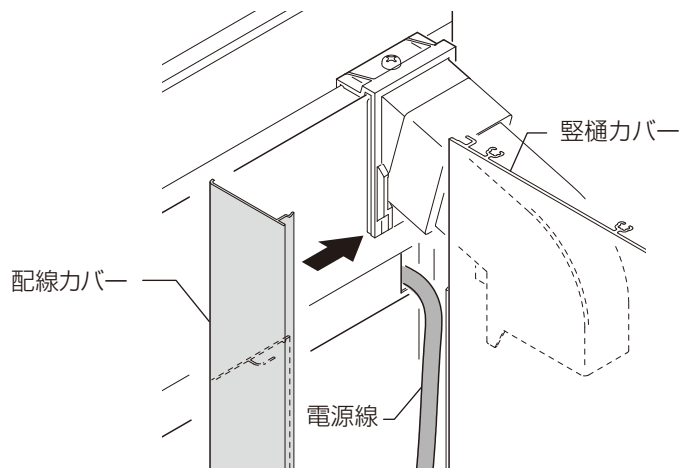
下記イラストは、600・700用のイメージです。



⚠ 注意

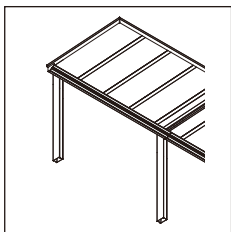
● 直接照明・間接照明の場合

配線カバーを取付けるときに、電源線を挟まないように注意してください。

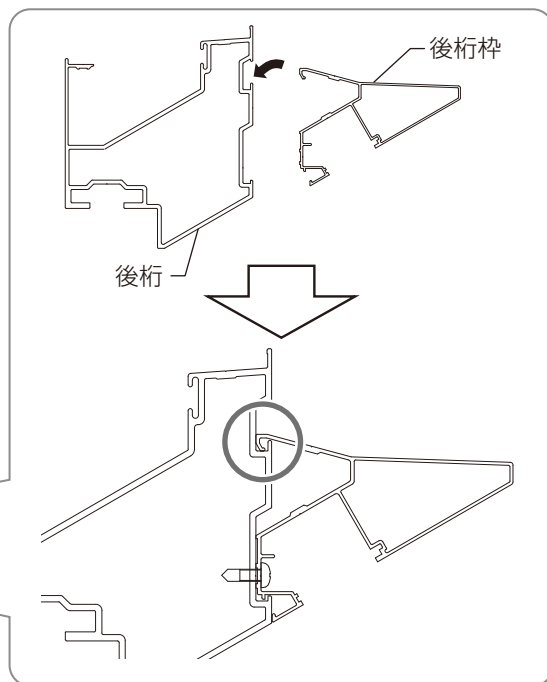
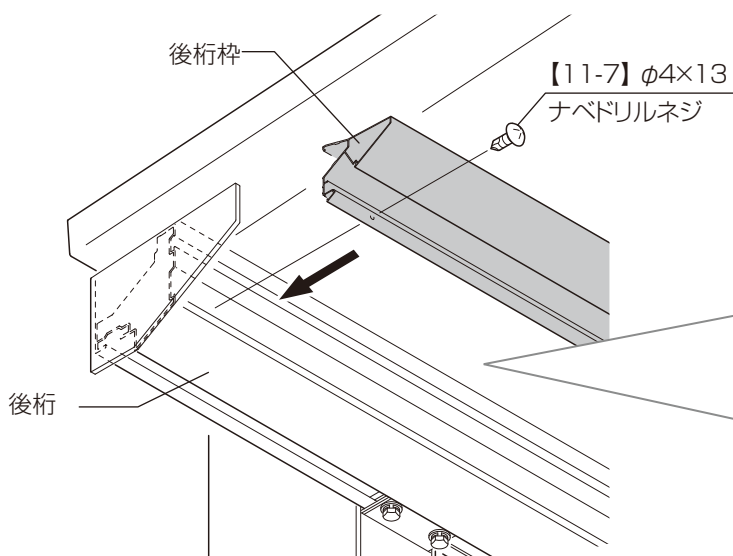


9 後桁枠の取付け

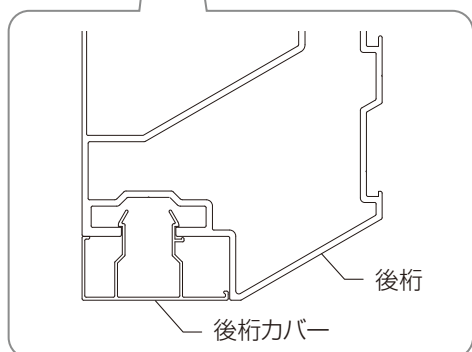
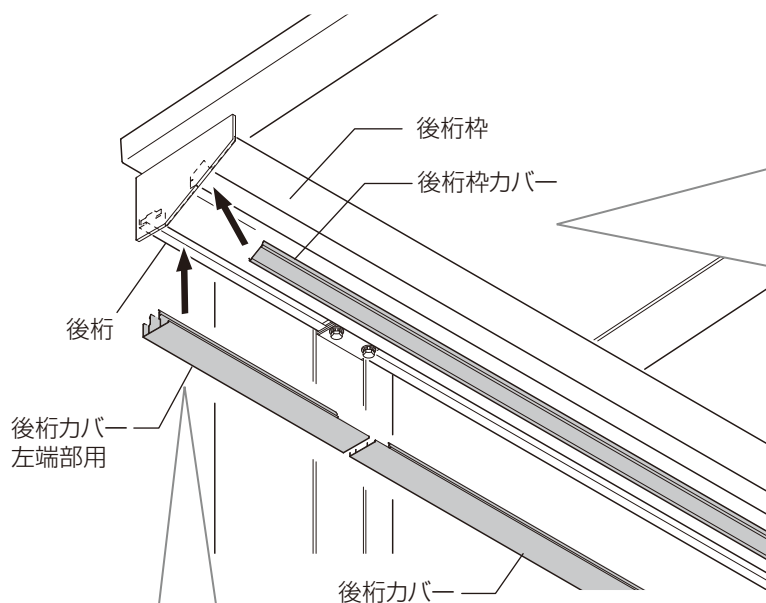
1 照明なしの場合



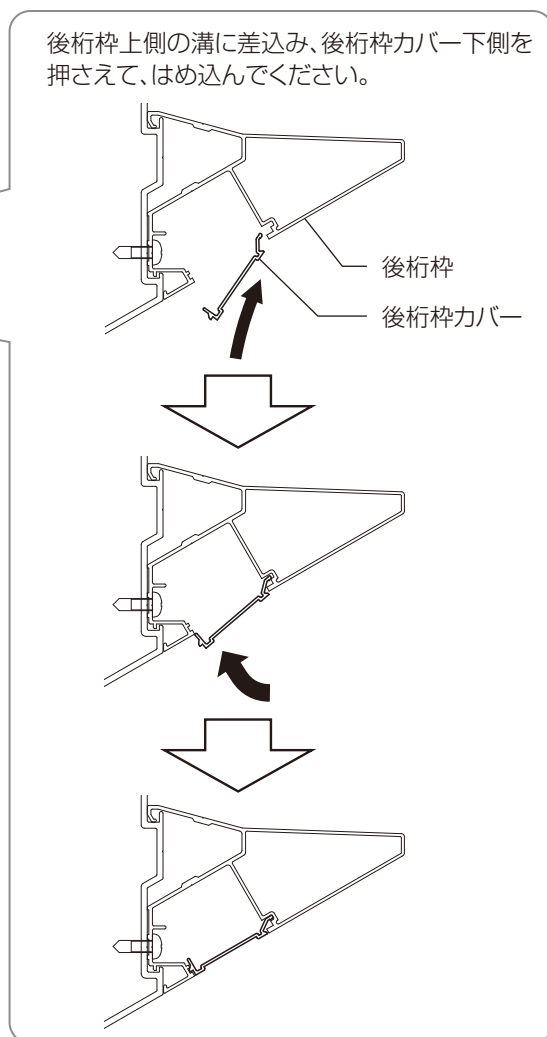
①後桁に後桁枠を引っ掛けてから【11-7】で取り付けてください。



②後桁枠カバー、後桁カバーをはめ込んでください。



後桁枠上側の溝に差込み、後桁枠カバー下側を押さえて、はめ込んでください。



2 直接照明の場合

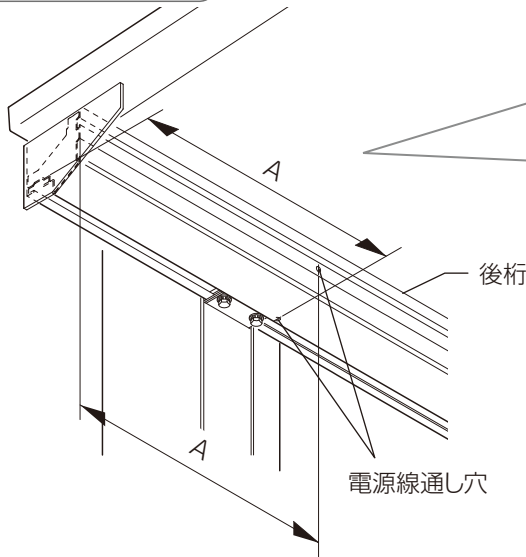
- ①後桁および後桁枠に $\phi 10\text{mm}$ の電源線通し穴を2か所あけてください。
下記イラストは、左端部での加工イメージです。

A：電源線を通す穴位置

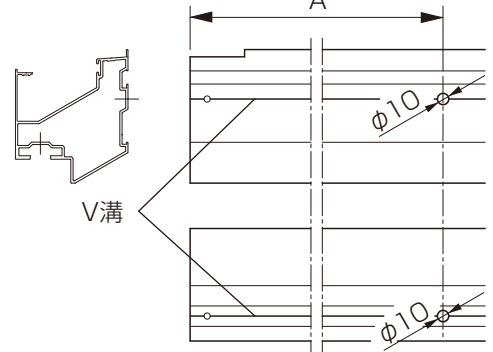
A寸法	左右端部	連棟部
600用	446	71
700用	446	71
1500用	456	81

補 足

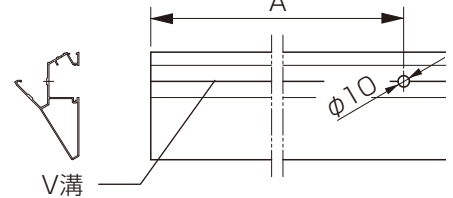
照明の最大連結数は5本です。



●後桁(左端部)

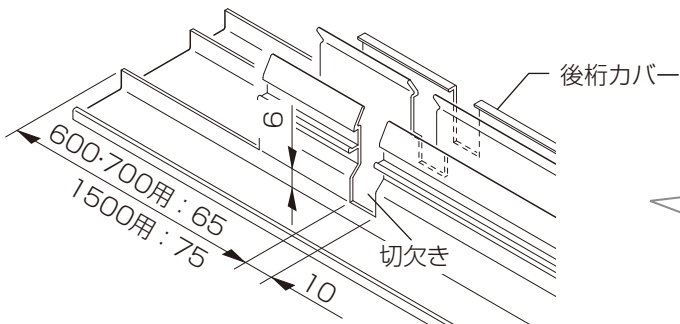


●後桁枠(左端部)

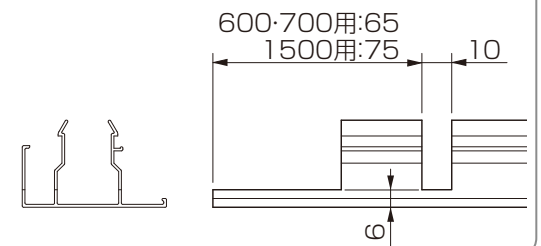


※右端部、連棟部の場合は上記イラストと対象の位置に穴加工が必要です。

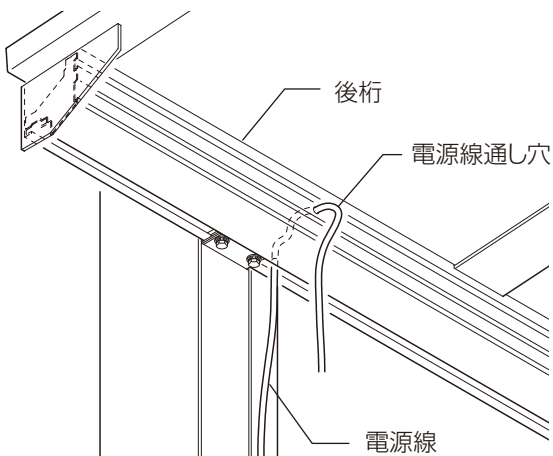
- ②電源線通し穴をあけたところに取り付ける後桁カバーの端部から65mmまたは75mmのところに、10mmの切欠きを追加してください。



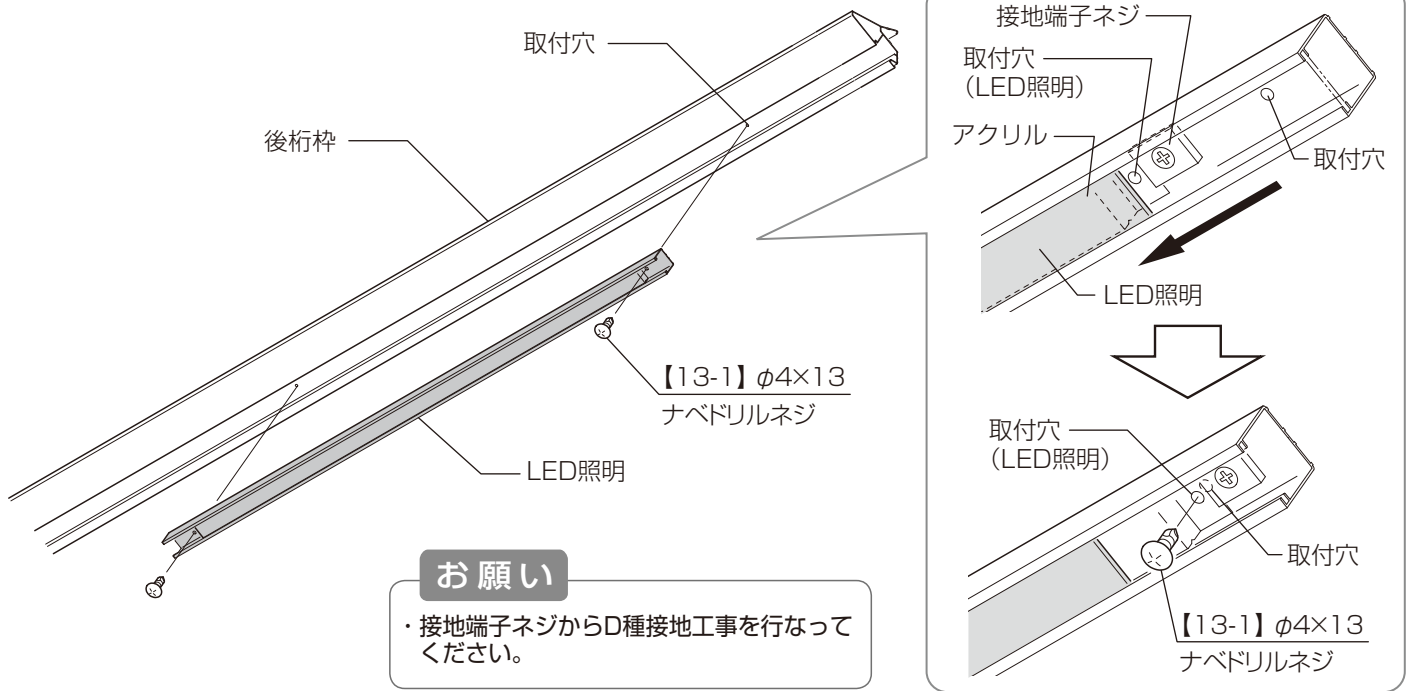
●後桁カバー



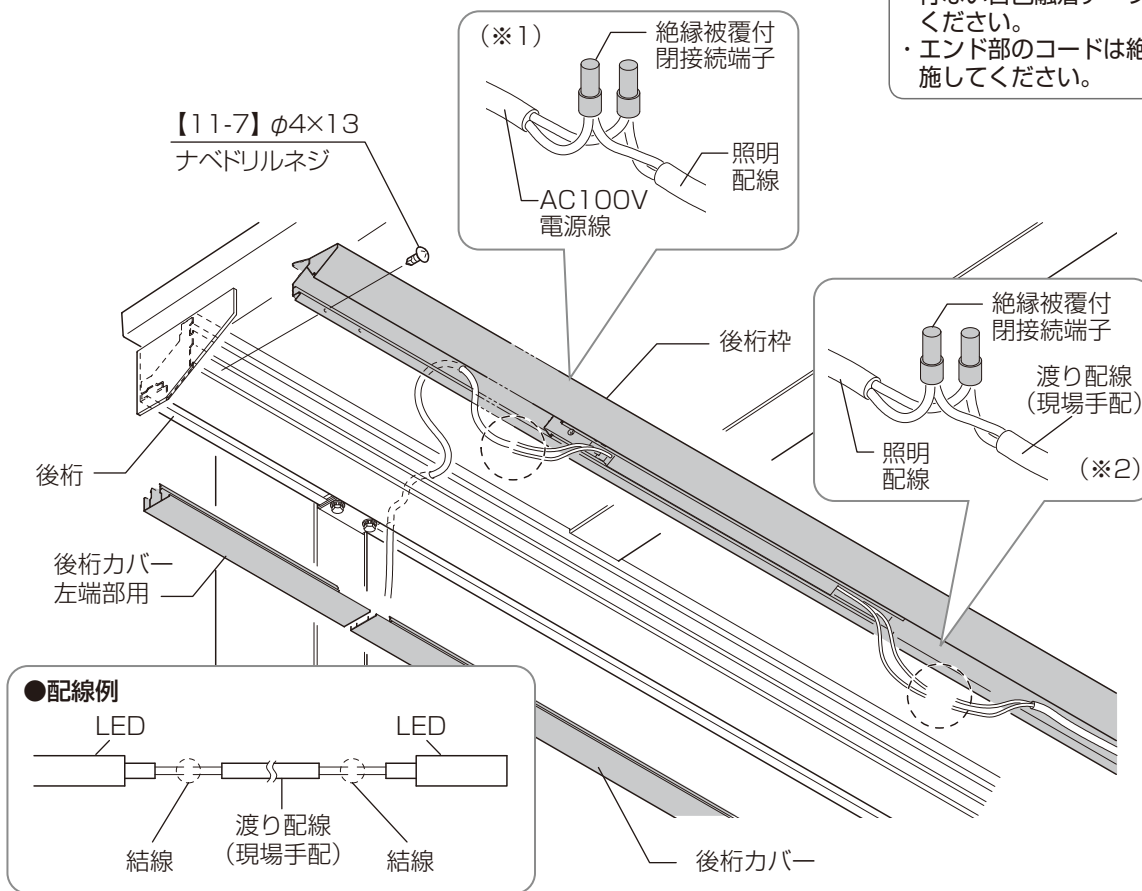
- ③電源線を①であけた電源線通し穴に通してください。



- ④LED照明の亚克力をスライドさせたのち、LED照明の取付穴と枠の取付穴をあわせ、後桁枠に【13-1】で取付けてください。



- ⑤後桁枠を後桁に【11-7】で取付けてください。
 ⑥電源線とLED照明を接続してください。(※1)
 ⑦照明を複数取付ける場合は、照明どうしを渡り配線で接続してください。(※2)
 ⑧後桁カバー、後桁枠カバーを取付けてください。



お願い

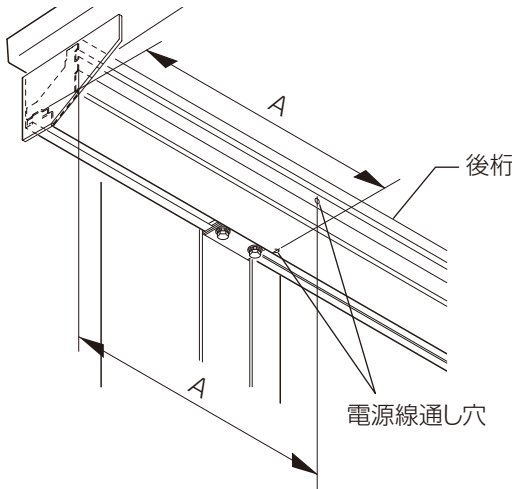
- ・配線接続部は、絶縁被覆付閉接続端子で確実にしない自己融着テープなどで防水処理を施してください。
- ・エンド部のコードは絶縁処理と防水処理を施してください。

- ⑨配線を挟まないように注意して配線カバーを取付けてください。

P.36
 「堅韌カバー・配線カバー 施工イメージ」の項目も併せて参照ください。

3 間接照明の場合

- ①後桁にφ10mmの電源線通し穴を2か所あけてください。
下記イラストは、左端部での加工イメージです。



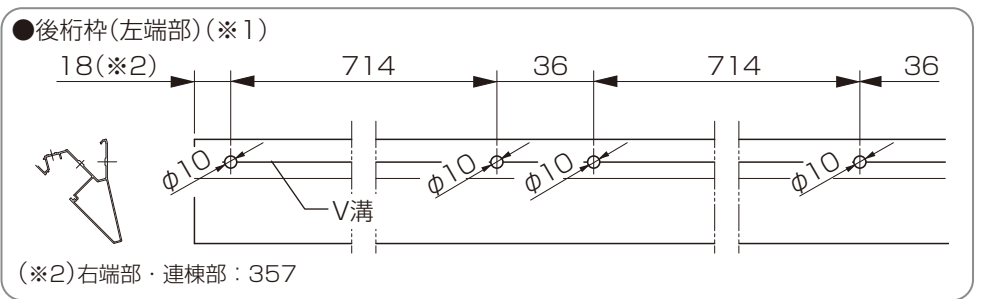
補足

照明の最大連結数は5本です。

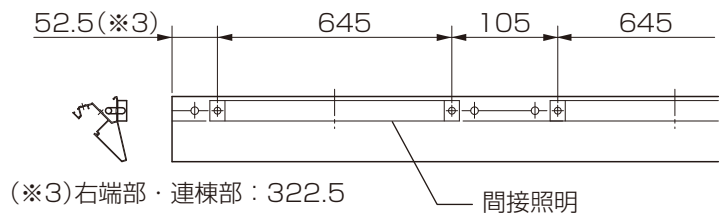
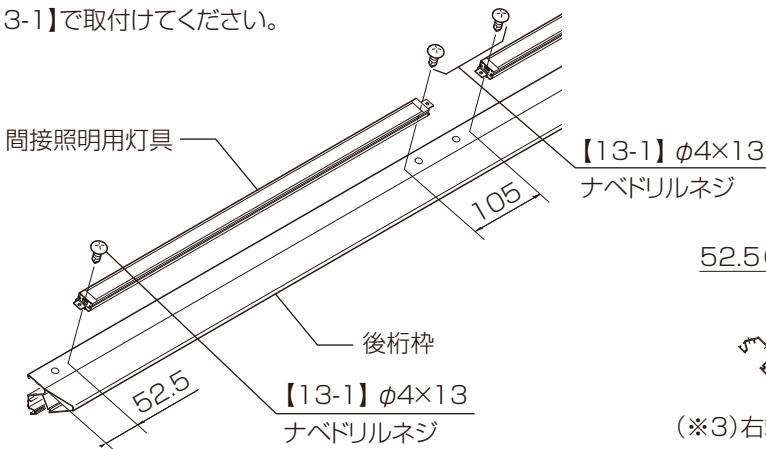
A：電源線を通す穴位置

A寸法	左右端部	連棟部
600用	446	71
700用	446	71
1500用	456	81

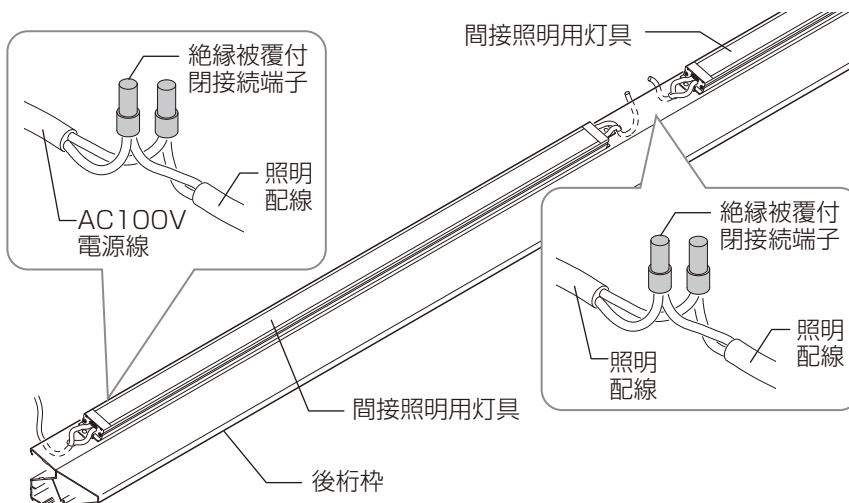
- ②電源線を①であけた電源線通し穴に通してください。
③後桁枠に配線を通す穴加工をしてください。(※1)



- ④間接照明用灯具を後桁枠のV溝に【13-1】で取付けてください。



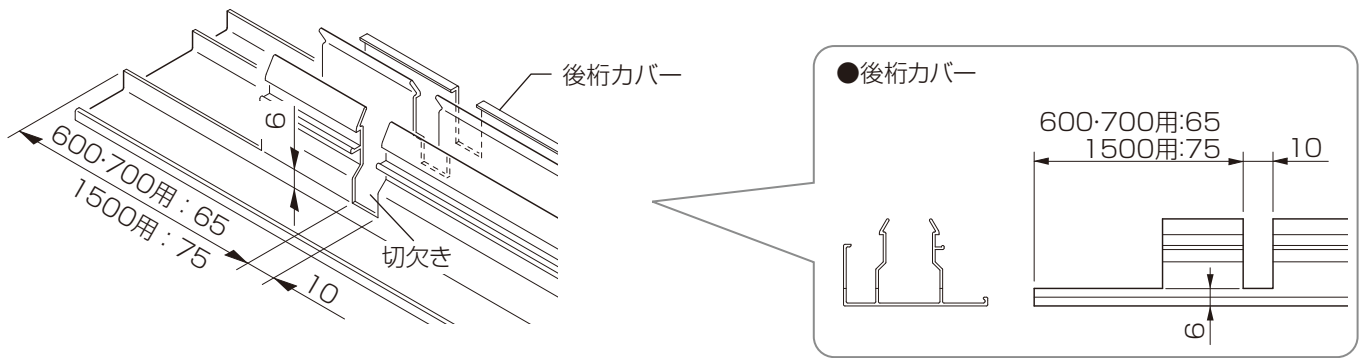
- ⑤③であけた穴に配線を通し照明の配線どうしを接続してください。
⑥電源線と照明配線を接続してください。




お願い

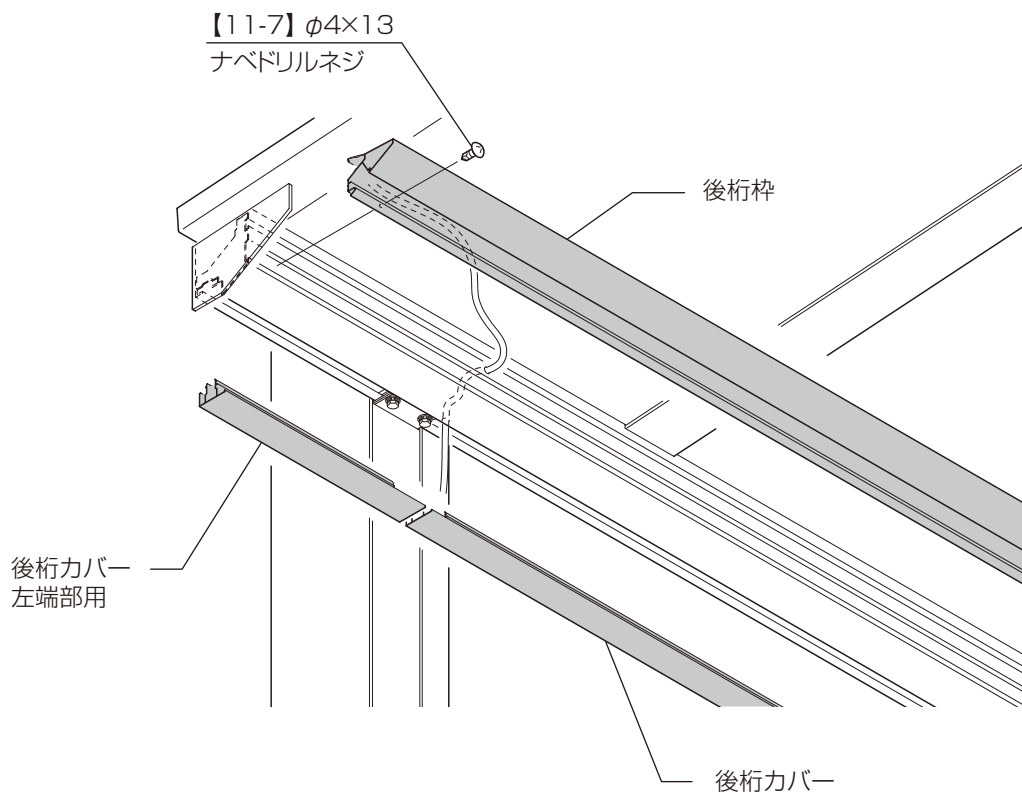
- ・配線接続部は、絶縁被覆付閉接続端子で確実にしない自己融着テープなどで防水処理を施してください。
- ・エンド部のコードは絶縁処理と防水処理を施してください。
- ・接地端子ネジからD種接地工事を行なってください。

- ⑦電源線通し穴をあけたところに取り付ける後桁カバーの端部から65mmまたは75mmのところに、10mmの切欠きを追加してください。

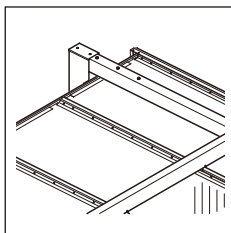


- ⑧後桁枠を後桁に【11-7】で取付けてください。
 ⑨後桁カバー、後桁枠カバーを取付けてください。
 ⑩配線を挟まないように注意して配線カバーを取付けてください。

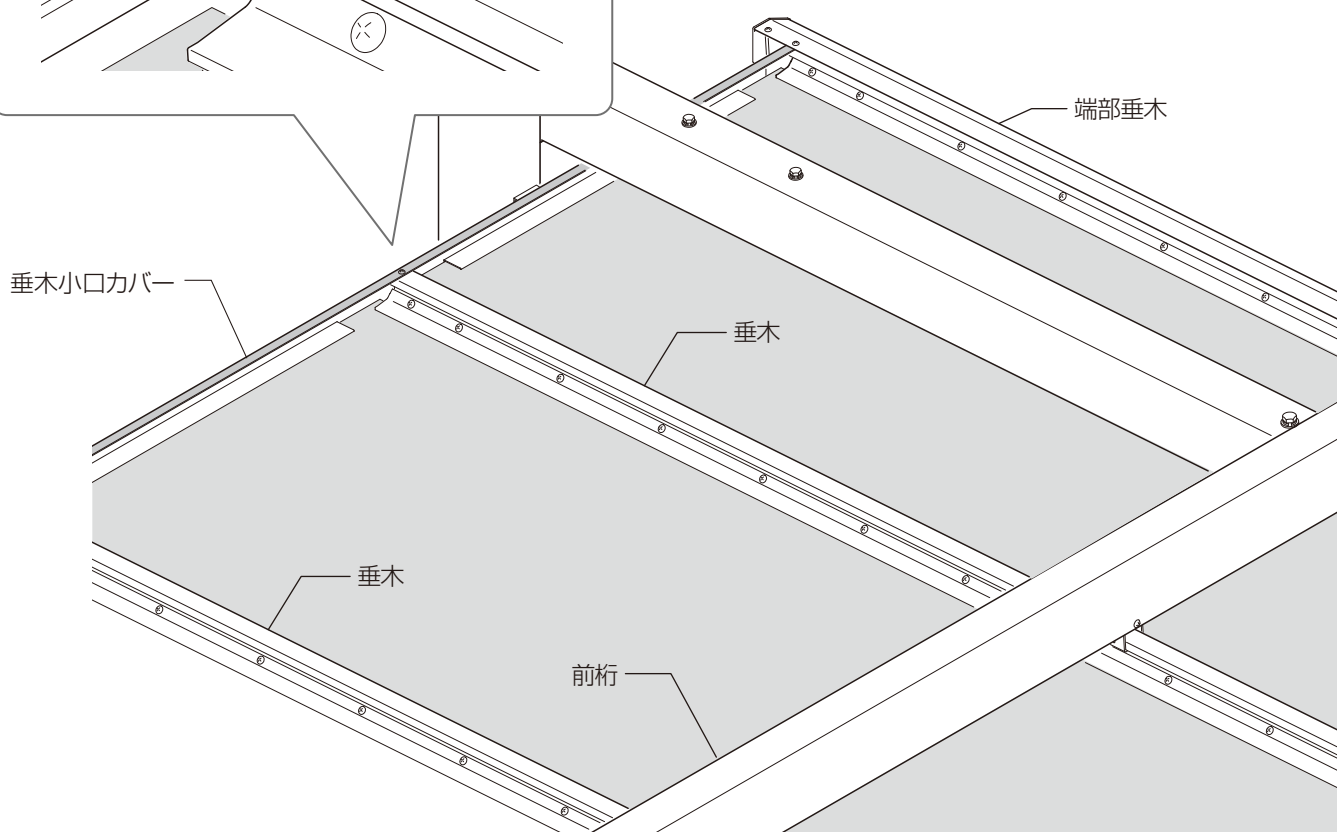
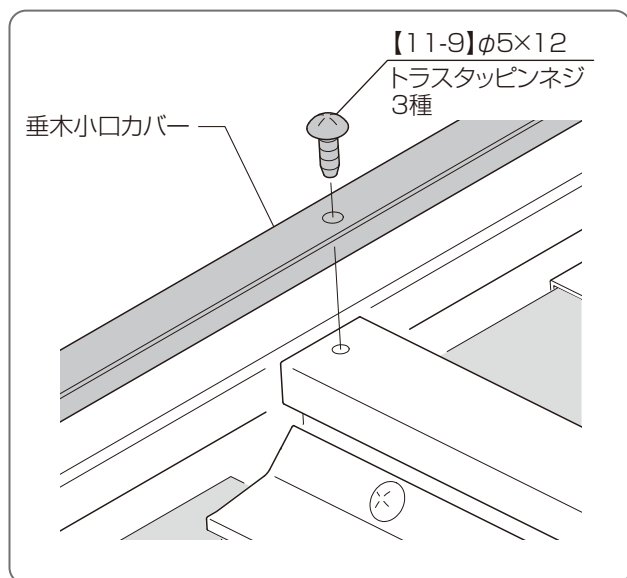
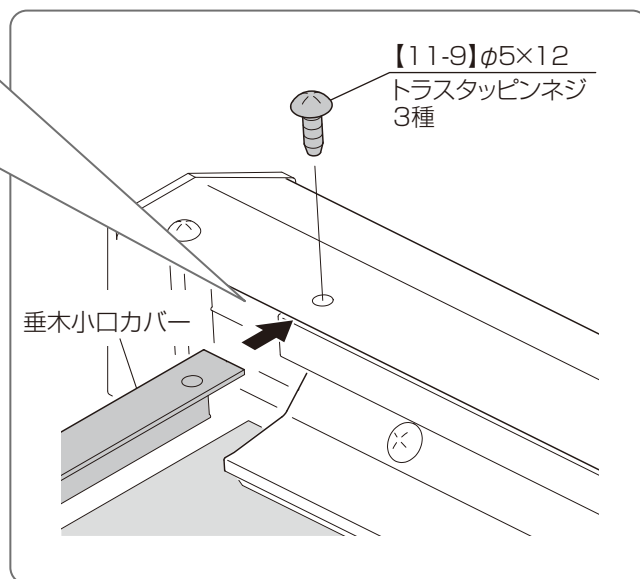
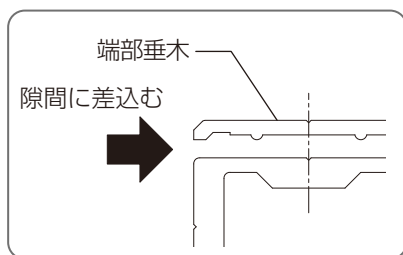
P.36

 「竖樋カバー・配線カバー 施工イメージ」
 の項目も併せて参照ください。



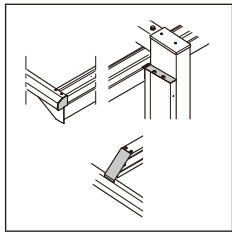
10 垂木小口カバーの取付け



- ①垂木小口カバーを端部垂木に【11-9】で取付けてください。
- ②垂木小口カバーを垂木に【11-9】で取付けてください。



11 キャップの取付け・シーリング



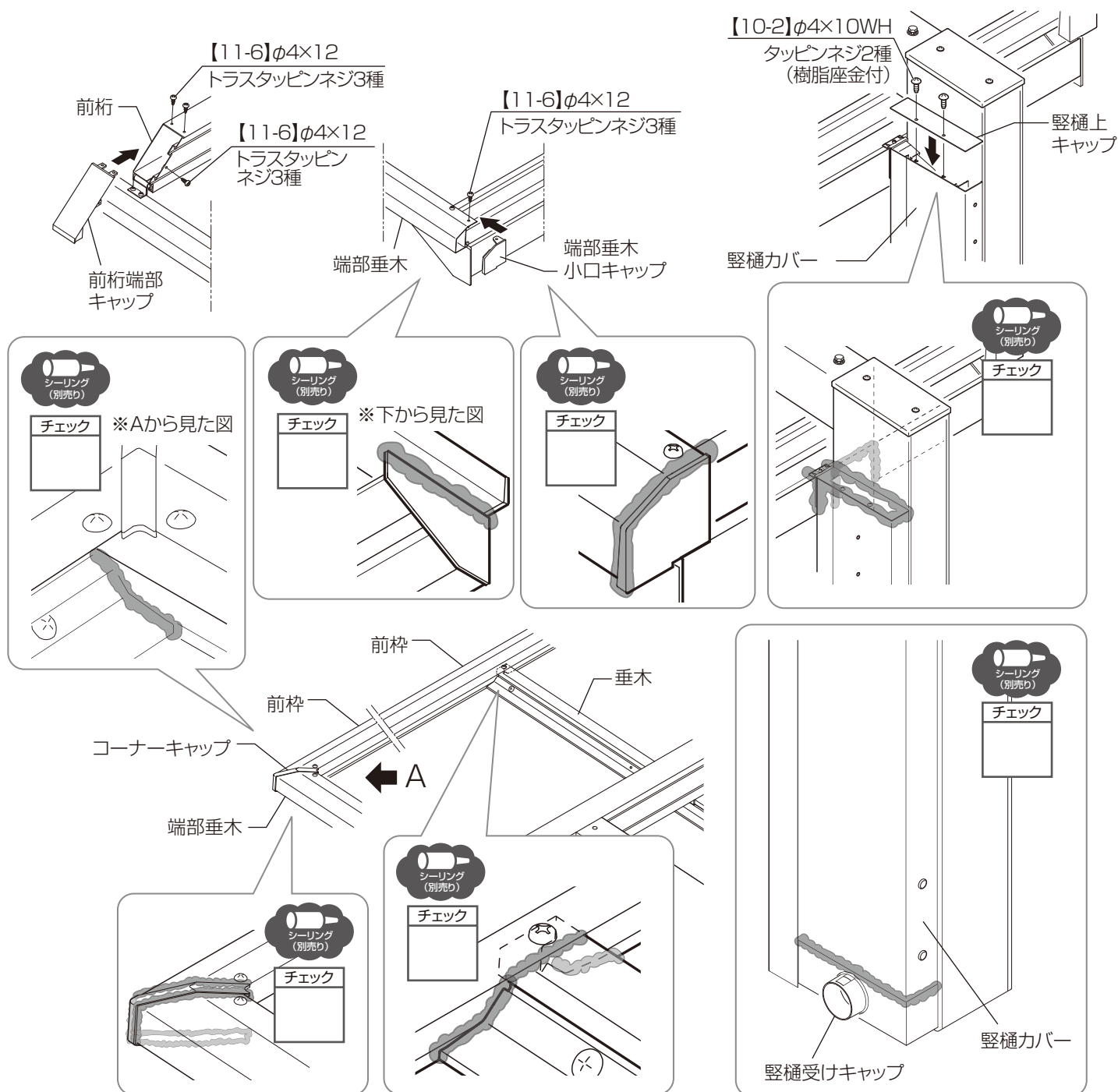
- ① 縦樋上キャップを縦樋カバーに【10-2】で取付けて、シーリングをしてください。
- ② 前桁端部キャップを前桁に【11-6】で取付けてください。
- ③ 端部垂木小口キャップを端部垂木に【11-6】で取付けて、シーリングをしてください。
- ④ 前枠と垂木、端部垂木の接合部にシーリングをしてください。
- ⑤ コーナーキャップと端部垂木、前枠の接合部にシーリングをしてください。
- ⑥ 柱と後桁のすき間にシーリングをしてください。
- ⑦ 縦樋カバーと縦樋受けキャップの接合部にシーリングをしてください。

補足

不要な箇所にシーリングがつかないようにマスキングしてください。

お願い

シーリングが完了した箇所は、にチェックを入れてシーリング漏れがないようにしてください。雨漏れの原因になります。



Y合掌の施工



【Y合掌】の場合の作業です。

お願い

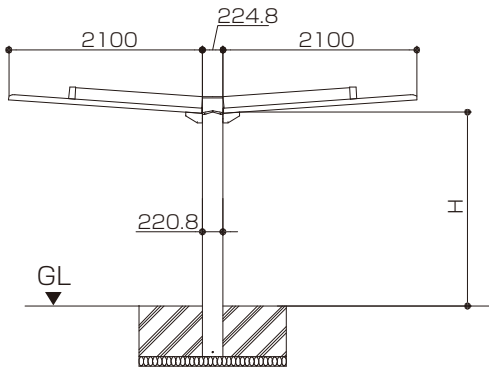
・柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。

注意

・Y合掌の場合は柱移動できません。

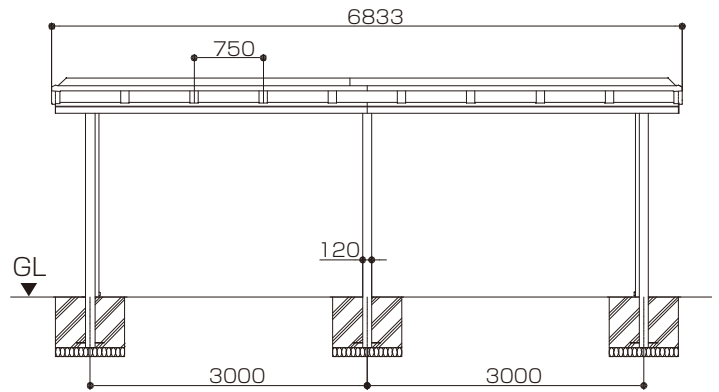
姿図

【側面図】

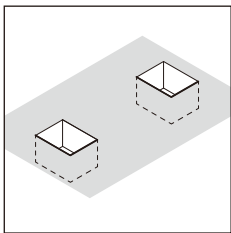


	高さ(H)	
	H21	H26
600・700用	2100	2620

【単体68型正面図】



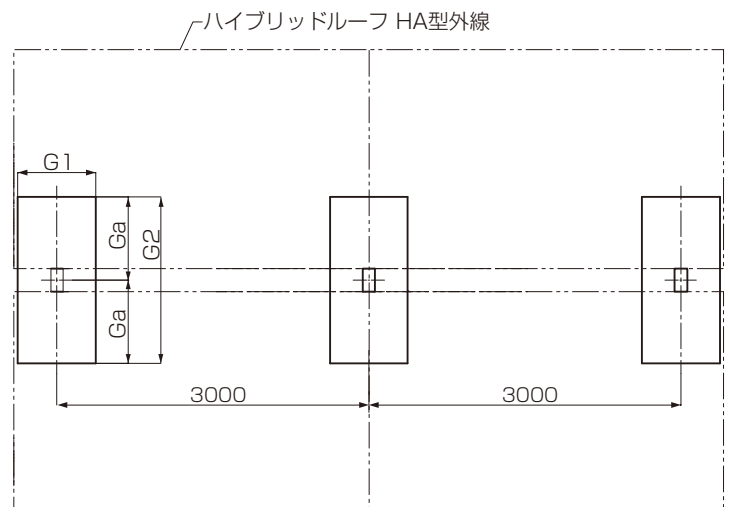
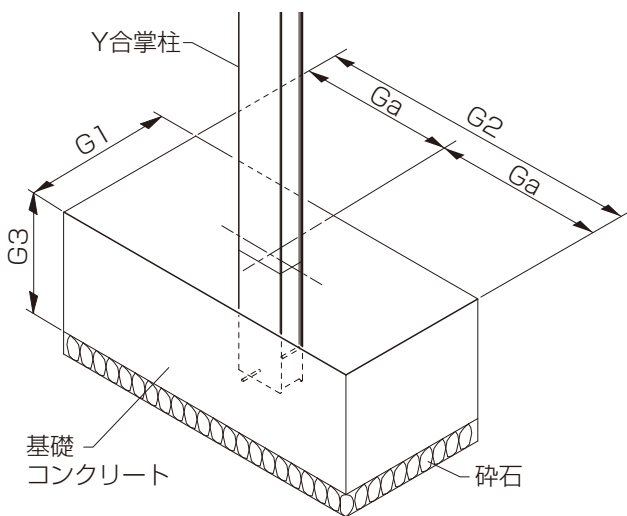
1 基礎の施工



- ①柱の埋込み位置を出して、基礎寸法表の寸法で基礎を掘ってください。
※屋根を切り詰めた場合は、柱ピッチが変わります。
- ②基礎コンクリートを打設してください。

補足

基礎は基準風速34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度50kN/m²の時の参考寸法です。



基礎寸法表

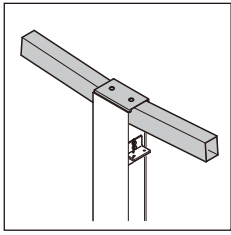
Y合掌	高さ	奥行	G1	G2	G3	Ga
600	H21	D21	700	1500	550	750
	H26	D21	700	1600	550	800

Y合掌	高さ	奥行	G1	G2	G3	Ga
700	H21	D21	500	1300	550	650
	H26	D21	500	1400	550	700

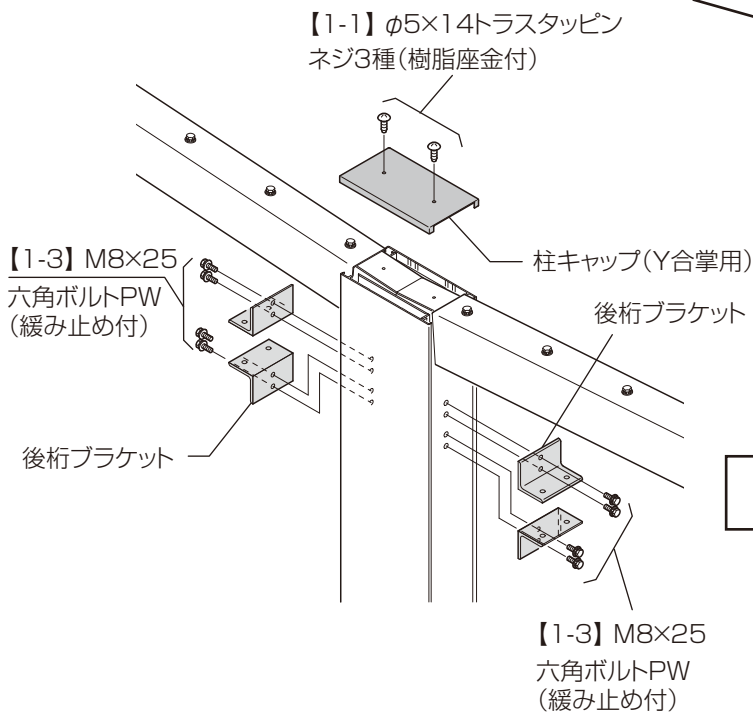
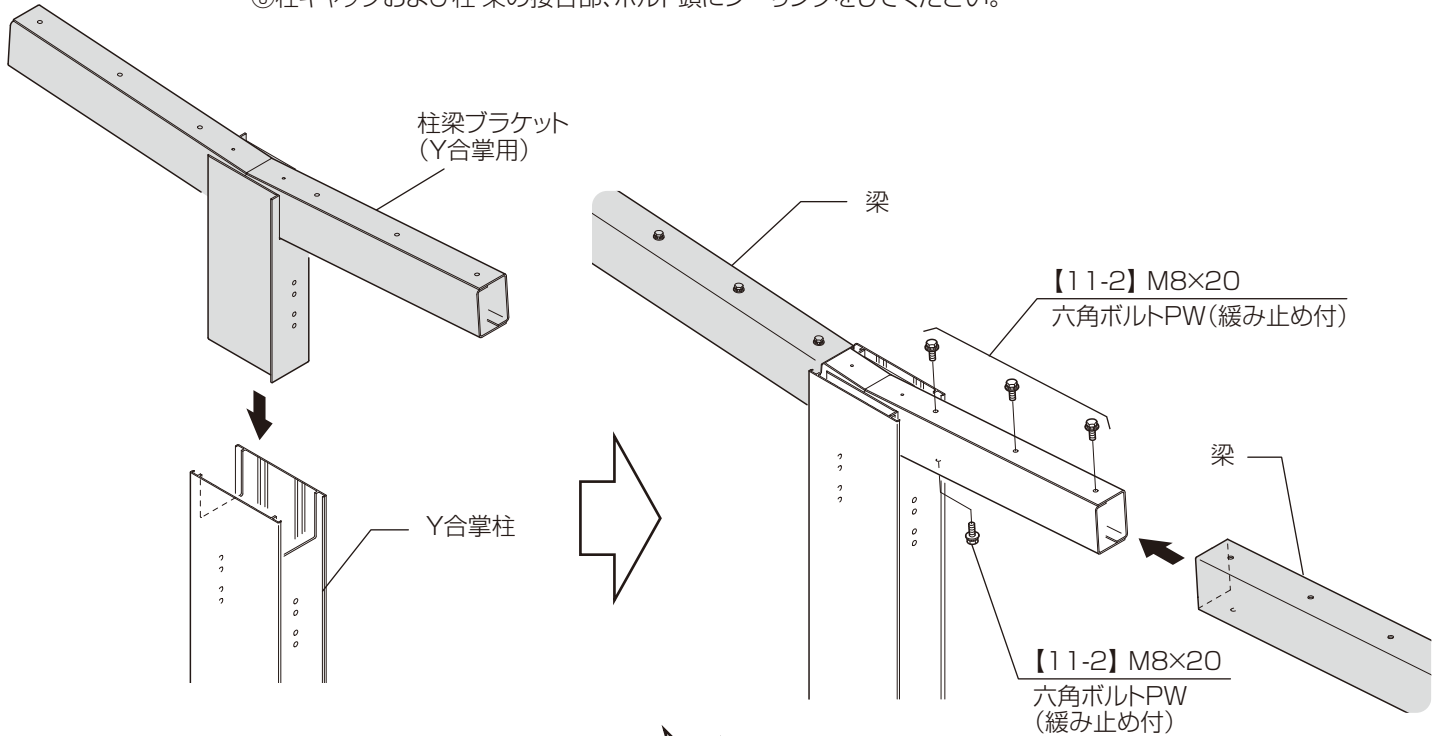
2 柱・梁の組立て

P.18

⑥、⑦、⑧については、基本の施工、18ページを参照してください。

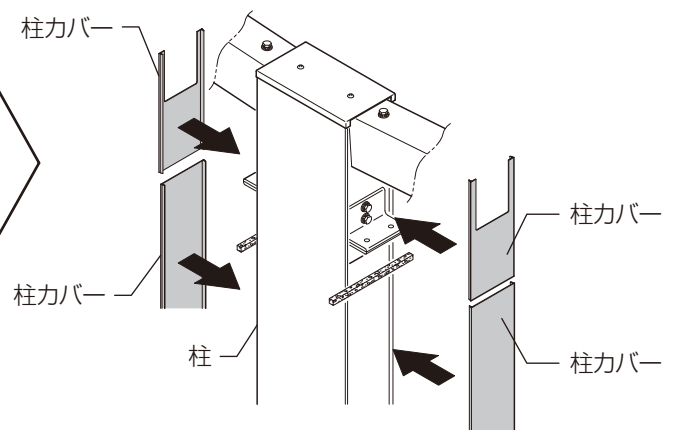


- ① 柱梁ブラケット(Y合掌用)を柱に差込んでください。
- ② 梁をブラケットに挿入して【11-2】で仮締めしてください。
- ③ 後桁ブラケットと柱梁ブラケット(Y合掌用)を【1-3】で仮締めしてください。
- ④ 柱キャップ(Y合掌用)を柱梁ブラケット(Y合掌用)に【1-1】で取付けてください。
- ⑤ 仮締めのボルトを本締めしてください。
- ⑥ クッション材を200mmの長さにカットして、柱に貼り付けてください。
- ⑦ 柱カバーを柱に取付け、クッション材を柱カバーに合わせてカットしてください。
- ⑧ 柱キャップおよび柱・梁の接合部、ボルト頭にシーリングをしてください。



お願い

柱へのクッション材貼り付けおよび柱キャップ、柱・梁の接合部、ボルト頭へのシーリングについては、18ページ「[2] 柱キャップ・柱カバーの取付け」を参照してください。

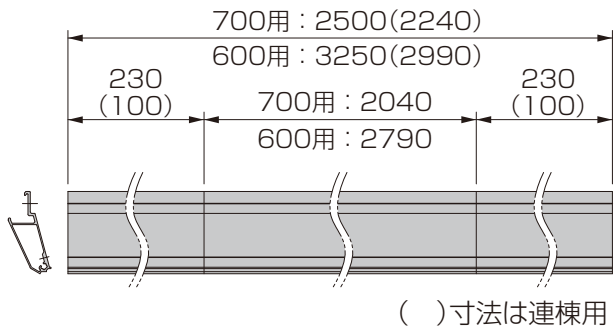


3 Y合掌棟木の取付け

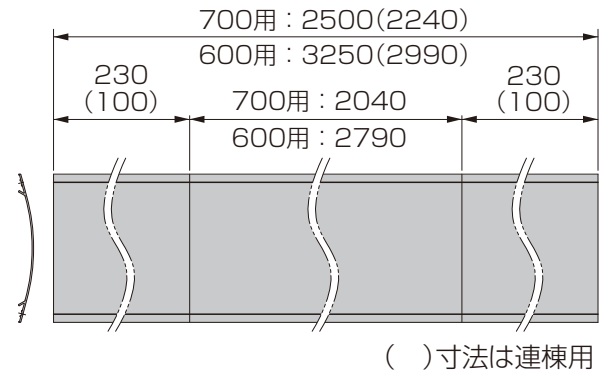
1 Y合掌棟木の準備

① Y合掌棟木A・Bを下記寸法で切断してください。

●Y合掌棟木A

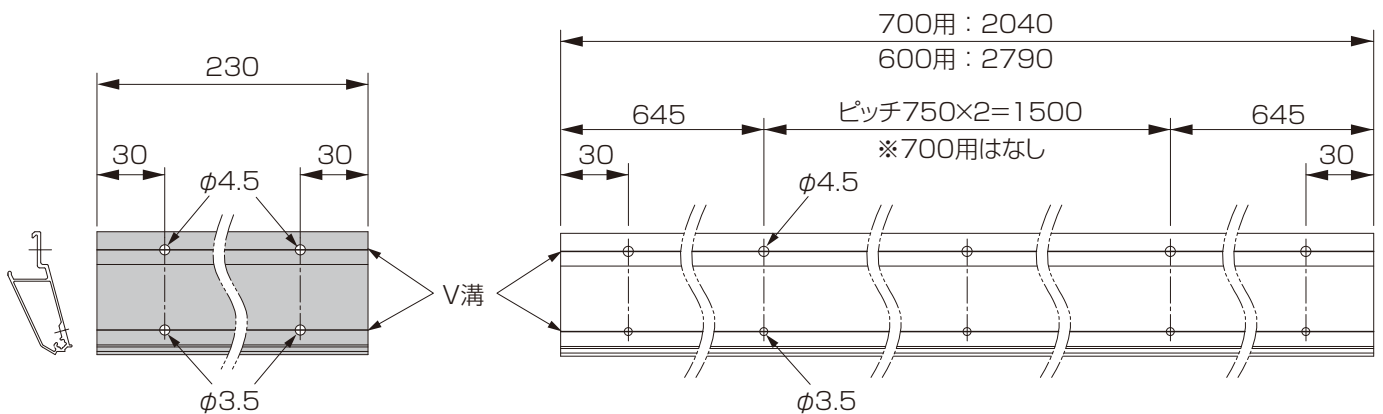


●Y合掌棟木B

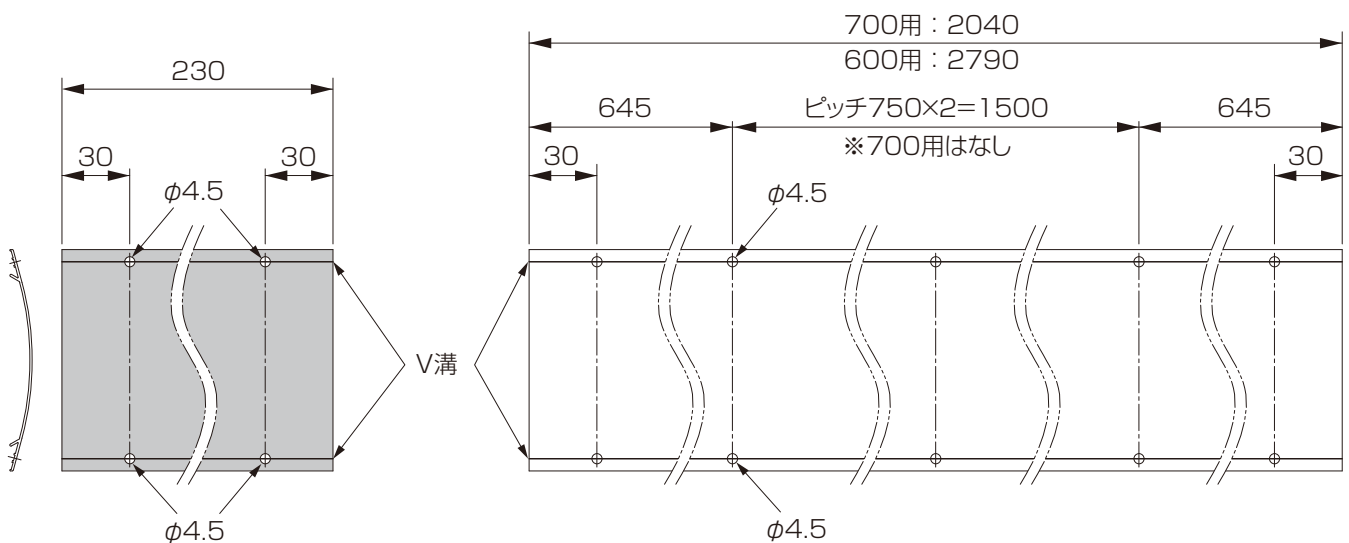


② 切断した各Y合掌棟木A・Bに下記の穴加工を行なってください。

●Y合掌棟木A



●Y合掌棟木B

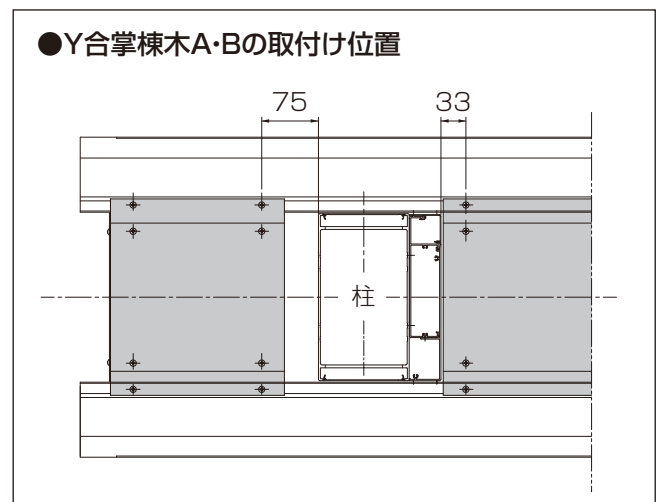
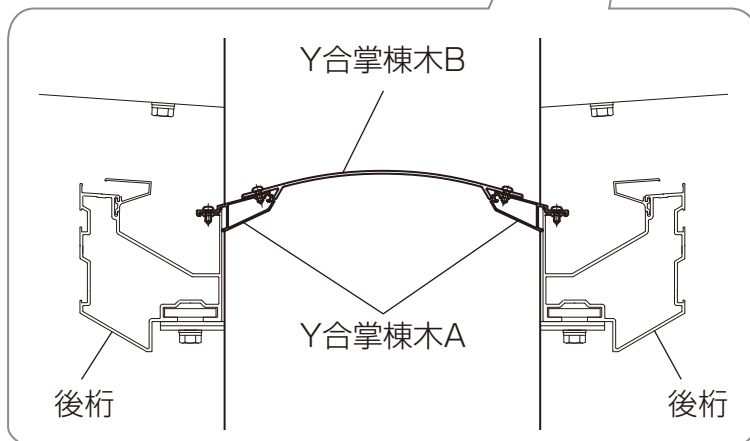
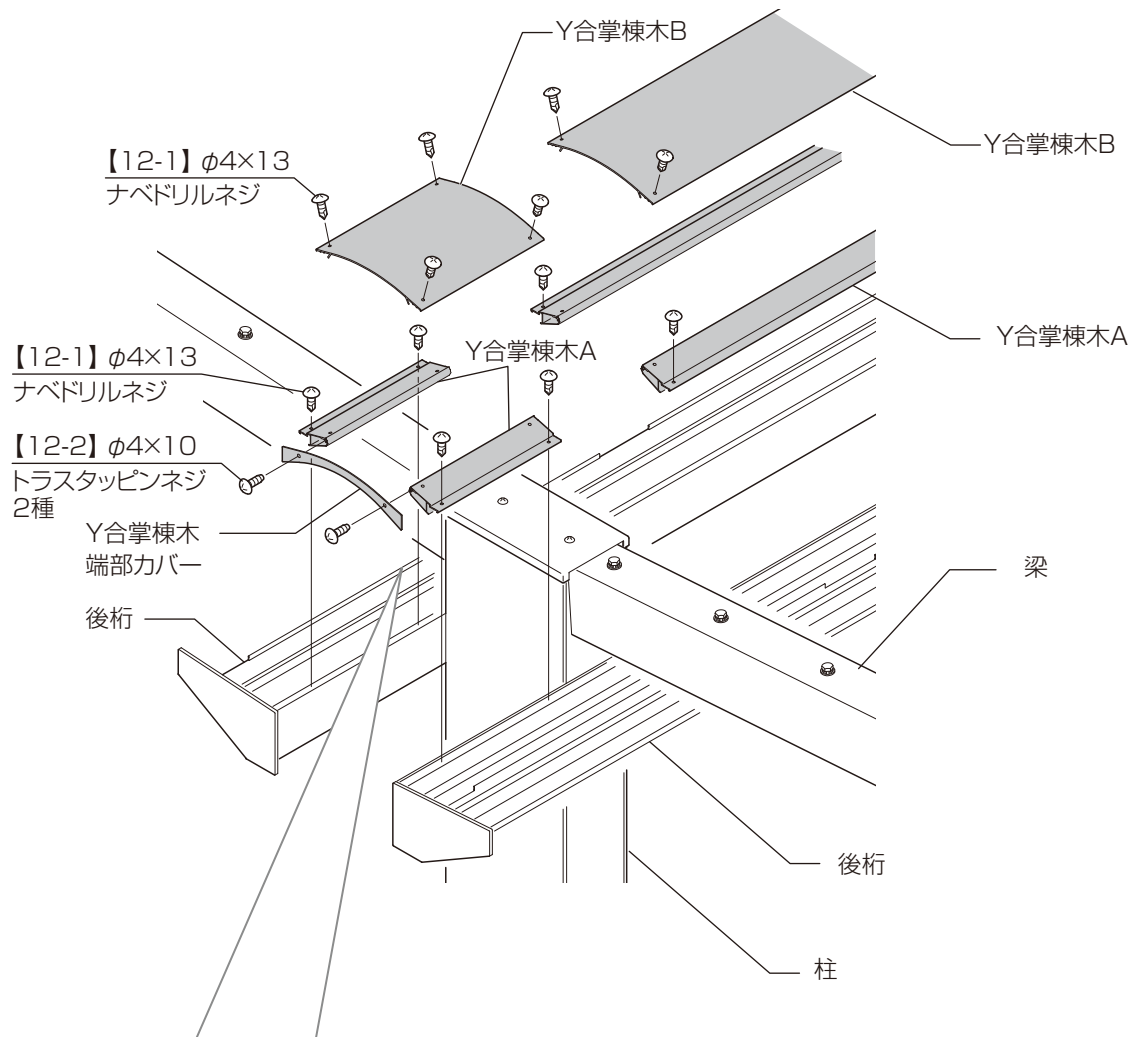


2 Y合掌棟木の取付け

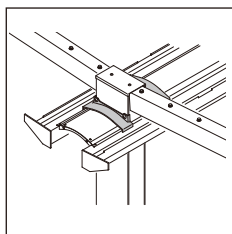
- ① Y合掌棟木Aを【12-1】で後桁に取付けてください。
- ② Y合掌棟木端部カバーをY合掌棟木Aに【12-2】で取付けてください。
- ③ Y合掌棟木BをY合掌棟木Aに【12-1】で取付けてください。

補 足

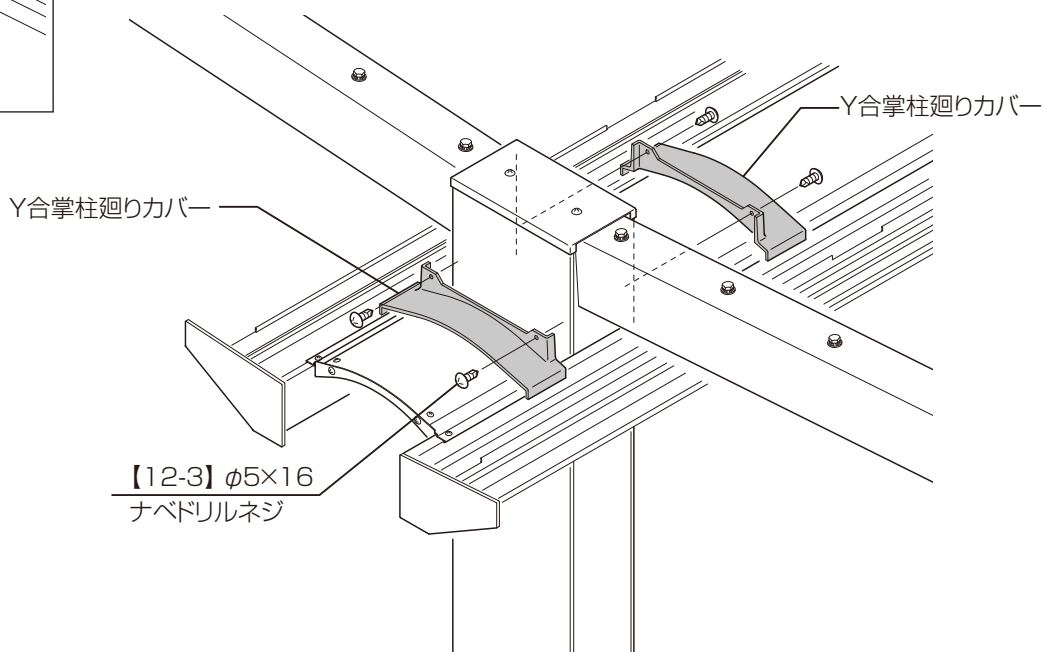
「基本タイプの施工: 5 後桁・前桁の取付け」の後に本手順を行ってください。



4 Y合掌柱廻りカバーの取付け



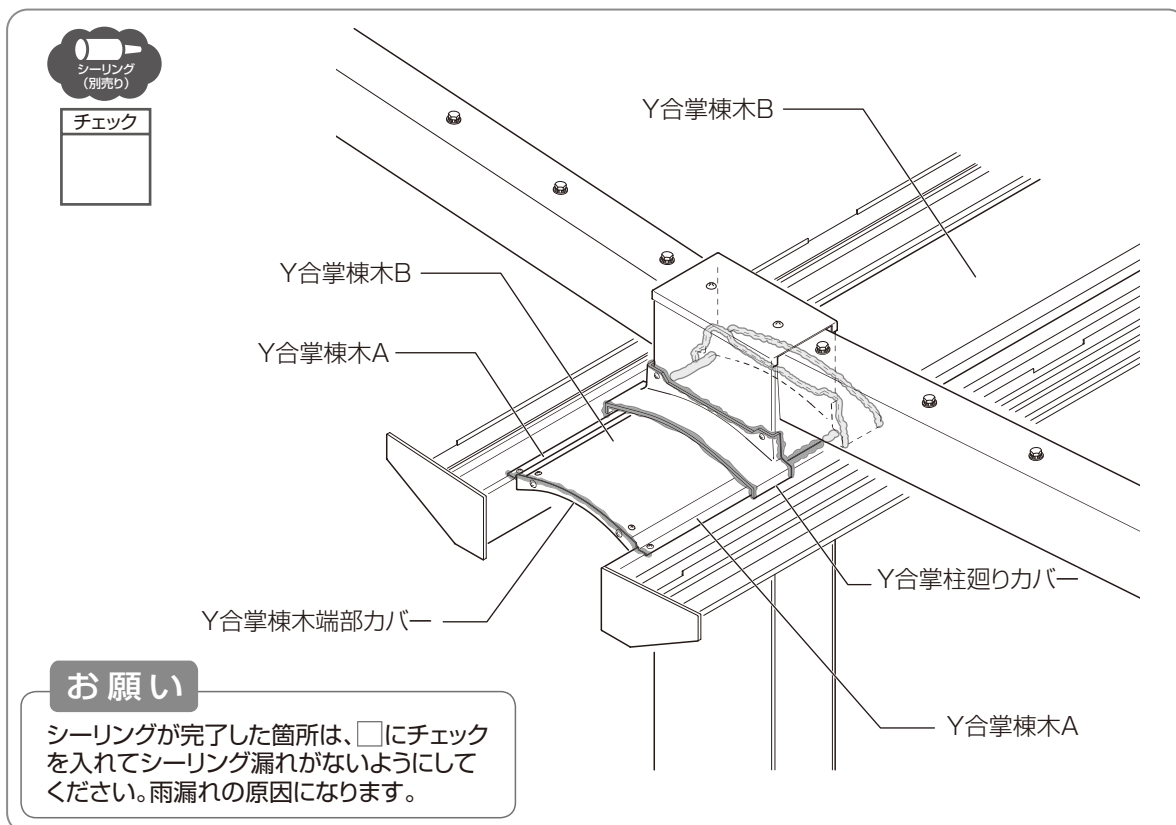
①Y合掌柱廻りカバーを【12-3】で取付けてください。



5 シーリング

①Y合掌棟木端部カバーとY合掌棟木A、Bの接合部にシーリングをしてください。

②Y合掌柱とY合掌柱廻りカバーの接合部にシーリングをしてください。



取説コード

E445

JZZ633819C
201705A_1048
202312D_1047